

# 平成27年度 倉吉市民意識調査・報告書

## <目次>

I	調査の概要	1
II	集計分析結果	
1	調査回答者の属性（問1～問7）	2～4
2	集計結果	
	（1）あなたの日常生活について（問8～問22）	5～32
	（2）子育てについて（問23～問27）	34～37
	（3）地域における暮らしや人権について（問28～問38）	39～52
	（4）あなたの生活環境について（問39～問46）	54～69
	（5）市役所が提供している情報並びに行政サービスについて（問47～問50）	71～74
	（6）地域の活動について（問51～問54）	75～80
	（7）倉吉市の地方創生に関する取組について（問55～問62）	82～98
III	倉吉市で行う地方創生に関する意見等（自由記述）	101～115
IV	地方創生に関すること以外の意見等（自由記述）	116～127

平成27年10月  
倉吉市



調査回答者の属性		
問 1	あなたの性別について	2
問 2	あなたの年齢について	2
問 3	あなたの職業について	2
問 4	どこで仕事をしていますか。	3
問 5	あなたのご家族の構成について	3
問 6	あなたのお住まいの形態について	3
問 7	あなたのお住まいの地区について	4
(1) あなたの日常生活について		
問 8		
	①あなたは日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいますか。	5
	②あなたは日頃から読書、映画、音楽、スポーツや趣味など、何か学ぶことに取り組んでいますか。	6
	③あなたは日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら活動を行ったりすることがありますか。	7
	④あなたは情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡を取ることがありますか。	9
	⑤65歳以上の方にお伺いします。あなたは、地域において何か活動（老人クラブ、公民館活動、趣味のサークル等）をしていますか。	10
	⑥65歳以上の方にお伺いします。あなたは、過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがありますか。	11
問 9	あなたは、お住まいの地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがありますか。	12
問 10	あなたは、ご自身が心身ともに健康だと思えますか。	14
問 11	倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと思えますか。	15
問 12	あなたは、普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいますか。	16
問 13	あなたは、日頃から利用している「かかりつけ医」を持っていますか。	18
問 14	あなたは、年に1回は健康診査を受診していますか。	19
問 15	あなたは、身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると思えますか。	20
問 16	あなたは、日頃から利用している市内の医療機関やそのサービスに満足していますか。	22
問 17	あなたは、日頃から買い物等をする際に、倉吉駅を中心とした上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用していますか。	23
問 18	あなたは、倉吉駅を中心とした上井地区や成徳・明倫地区の商店街は買い物しやすく魅力があると思えますか。	25
問 19	あなたは、スーパー等で農産物を買う際に倉吉産のものを選ぶようにしていますか。	26
問 20	あなたは、ご自身や家族が悪質商法などの消費者被害にあわないように正しい知識を身につけ、注意を払っていますか。	28
問 21	あなたは、消費者トラブルや消費者問題など消費生活に関する情報が、適切に得られていると思えますか。	29
問 22		
	①あなたのお住まいの地域では、いつどこで起きるかわからない、災害に備えた防災体制が整っていると思えますか。	31
	②あなたのお住まいの地域では、犯罪の危険を感じることなく、安全・安心に暮らせていると思えますか。	32
(2) 子育てについて		
問 23	お子さんの年齢について伺います。すべてのお子さんについて該当の番号に○印をつけてください。	34
問 24	あなたの世帯では、子育てと仕事がうまく両立できていますか。	34
問 25	倉吉市は、子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると思えますか。	35
問 26	あなたは、子育てに不安を感じますか。	36
問 27	問 26 で「1. かなり不安である」「2. どちらかと言えば不安である」とお答えの方にお伺いします。あなたが感じている不安の内容はどのようなものですか。	37
(3) 地域における暮らしや人権について		
問 28	あなたは、倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を知っていますか。	39
問 29	あなたは、倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を大切にしたいと思えますか。	40
問 30	あなたは、倉吉市が行っている国際交流や地域間交流の取組について、どう思いますか。	41
問 31	あなたは、男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであるという考え方をどのように思いますか。	42
問 32	あなたの身の回りでは、社会における男女の機会均等がはかられていると思えますか。	44
問 33	あなたの家庭では、男女の区別なく家事、子育て、介護を分担して行っていますか。	45

問 34	国や地方自治体では、障がいのある人も共に生活できるための環境づくりを進めていますが、あなたは、障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思いますか。	47
問 35	あなたは、普段からご自身や家族の人権が適切に守られていると思いますか。	48
問 36	あなたは、過去1年間に身の回りで、ご自身の人権が侵害されたと思ったことはありますか。	49
問 37	問36で「1. ある」という方にお伺いします。どこであなたが人権侵害を受けたと思ったことがおきましたか。	51
問 38	引き続き問36で「1. ある」という方にお伺いします。それはどのような場合ですか。	52
<b>(4) あなたの生活環境について</b>		
問 39	あなたの主な移動手段は何ですか。	54
問 40	問39で、主に「3. 鉄道、バス、タクシーなどの公共交通」を移動手段としている方にお伺いします。日常的に市内の公共交通の便に不便を感じますか。	55
問 41	あなたは、過去1年間のうちに路線バスを利用したことがありますか。	56
問 42		
	①あなたは、国道、県道など市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると思いますか。	58
	②あなたのお住まいの地域の生活道路は、通行しやすく、歩行しやすい道路となっていますか。	59
	③あなたのお住まいの地域は、ゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思いますか。	60
	④あなたは、倉吉市は市全体が、自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思いますか。	61
	⑤あなたのお住まいの地域は、市街地の景観や街並みが優れていると思いますか。	62
問 43	あなたのお住まいの地域では、水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思いますか。	63
問 44		
	①あなたのお住まいの地域は、公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思いますか。	65
	②倉吉市では、景観の保全や緑化の推進を行っていますが、それらの取組が進んでいると思いますか。	66
問 45	あなたは、市内の森林が保全されることを大切だと思いますか。	67
問 46	あなたは、日々の暮らしの中で、ごみの分別、資源回収、節電など、地球環境にやさしい取組を心掛けていますか。	69
<b>(5) 市役所が提供している情報並びに行政サービスについて</b>		
問 47	あなたは、倉吉市の情報を得るために、日頃から市役所のホームページや市報くらよしを見たりしていますか。	71
問 48	あなたは、市役所の窓口や電話など、職員の対応についてどう思いますか。	72
問 49	倉吉市では、総合計画に基づいてまちづくりを進めていますが、その目標を達成するために予算（市税、地方交付税、国県支出金など）が効果的・効率的に使われていると思いますか。	73
問 50	あなたは、倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思いますか。	74
<b>(6) 地域の活動について</b>		
問 51	あなたは、過去1年間にお住まいの地域の自治公民館活動に参加したことがありますか。	75
問 52	あなたは、お住まいの地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したりしていますか。	76
問 53	あなたは、地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動にも参加したいと思いますか。	77
問 54		
	①あなたのお住まいの地域では、自治公民館活動等を通じ、市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思いますか。	79
	②あなたのお住まいの地域では、市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思いますか。	80
<b>(7) 倉吉市の地方創生に関する取組について</b>		
問 55	本市の人口が減少していくことについて、あなたの考えに最も近いものは何ですか。	82
問 56	人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、影響が大きいと考えること・不安に感じることは何ですか。	84
問 57	人口減少を克服し活力ある社会を目指して、本市が今後取り組むべきことについて、最も重視すべきことは何だと思いますか。	86
問 58	本市がこれから地域経済の活性化を行う際に、どのような取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。	88
問 59	本市がこれから人口の社会減対策を行う際に、どのような取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。	90
問 60	本市がこれから少子化対策を行う際に、どのような取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。	93

問 61 本市がこれから人口減の中でも安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。	95
問 62 本市がこれから地域の活性化、にぎわいが創出される社会を目指した取組を行う際に、どういった取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。	98
★倉吉市の行う地方創生に関する取組み、倉吉市のまちづくりや倉吉市が行う行政サービスについて、ご意見・ご提案等がありましたらご記入ください。	101
★地方創生に関すること以外のご意見・ご提案等についてご記入ください。	116

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

倉吉市では、より効率的で質の高い行政サービスの実現をめざし、各施策に成果指標を設定しています。このアンケートは、その達成度を測定するためのものです。また、アンケートを実施することにより、皆さんの生活実態、問題意識や行動実態などの現状値を把握し、今後の市政運営の参考とするものです。

## 2 調査の期間

調査の期間は、平成27年5月1日（金）から5月31日（日）まで

## 3 調査の内容

(1) 調査回答者の属性（問1～問7）

(2) 調査項目

- ①あなたの日常生活について（問8～問22）
- ②子育てについて（問23～27）
- ③地域における暮らしや人権について（問28～問38）
- ④あなたの生活環境について（問39～問46）
- ⑤市役所が提供している情報並びに行政サービスについて（問47～問50）
- ⑥地域の活動について（問51～問54）
- ⑦倉吉市の地方創生に関する取組について（問55～問62）

## 4 調査の方法

調査にあたっては、平成27年4月24日現在、本市に住所を有し、かつ平成27年4月24日現在で20歳以上の方（準世帯は除く）から2,500人を年齢層ごとの人口比率に応じて無作為に抽出し、郵送等によるアンケート調査票の配布・回収の方法で実施しました。

## 5 回収結果

全体

対象者数	有効回答数	有効回収率
2,500人	1,093人	43.72%

※平成26年度：45.20%（対象者数：2,000人） ※平成22年度：51.60%（対象者数：2,000人）  
 ※平成25年度：46.25%（対象者数：2,000人） ※平成21年度：52.75%（対象者数：2,000人）  
 ※平成24年度：47.60%（対象者数：2,000人） ※平成20年度：49.25%（対象者数：2,000人）  
 ※平成23年度：49.30%（対象者数：2,000人） ※平成19年度：47.00%（対象者数：2,000人）

性別

	男	女	不明
対象者数	1,194人	1,306人	—
有効回答数	471人	606人	16人
構成比	43.1%	55.4%	1.5%

年代別

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明
対象者数	279人	371人	384人	400人	515人	551人	—
有効回答数	68人	103人	136人	201人	291人	288人	6人
構成比	6.2%	9.4%	12.4%	18.4%	26.6%	26.3%	0.5%

地区別

	上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	不明
対象者数	132人	354人	248人	286人	161人	198人	52人	273人	78人	113人	330人	88人	187人	—
有効回答数	64人	163人	77人	116人	70人	81人	23人	111人	30人	45人	135人	35人	93人	50人
構成比	5.9%	14.9%	7.0%	10.6%	6.4%	7.4%	2.1%	10.2%	2.7%	4.1%	12.4%	3.2%	8.5%	4.6%

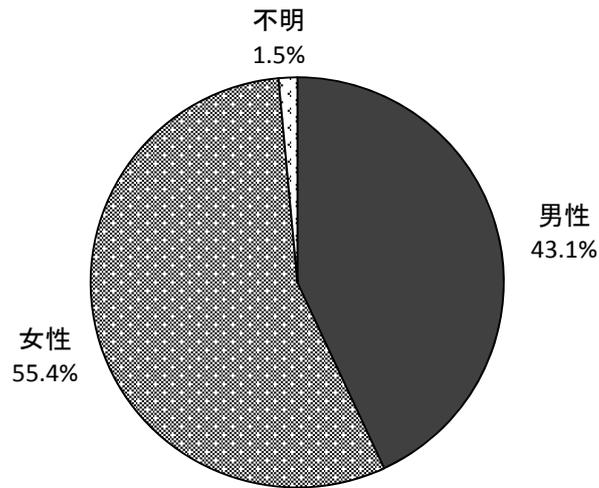
## 6 その他

- (1) 集計分析結果は、「1. 調査回答者の属性」については、有効回答数の1,093人（性別不明含む）を分母として全体の構成比とし、「2. 集計結果」については、各設問ごとに回答が不明なものを除いた実回答数を分母とした構成比としています。
- (2) 各設問においては、基本的に「性別」「年代別」「地区別」の3項目のクロス集計を記載していますが、特に差が見られなかった項目などは、省略している場合があります。また、集計は小数点第2位を四捨五入しています。従って、集計表の内訳の合計が100%と一致していないことがあります。
- (3) 各設問において、集計結果のうち〔全体〕の結果については、今年集計数値の後に昨年の集計数値を（ ）で記載しています。

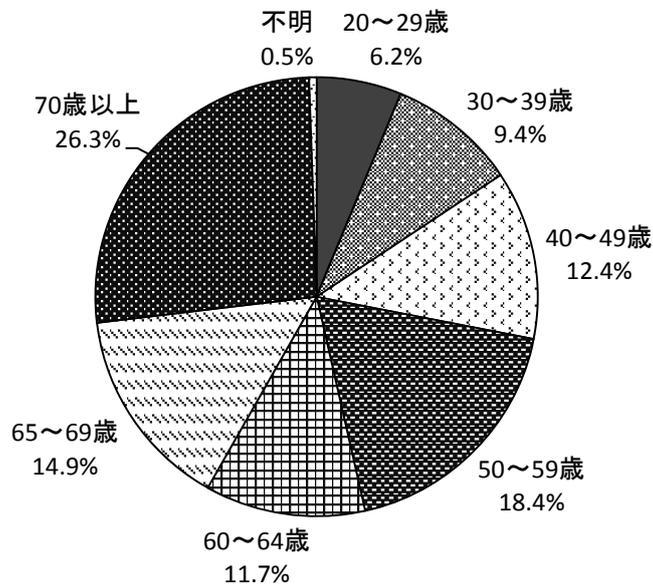
## Ⅱ 集計分析結果

### 1 調査回答者の属性

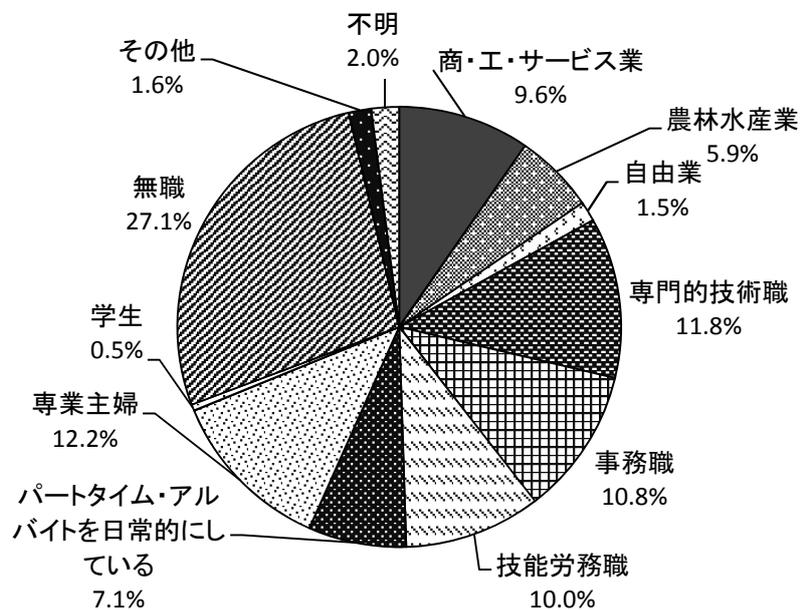
#### 問1 性別構成



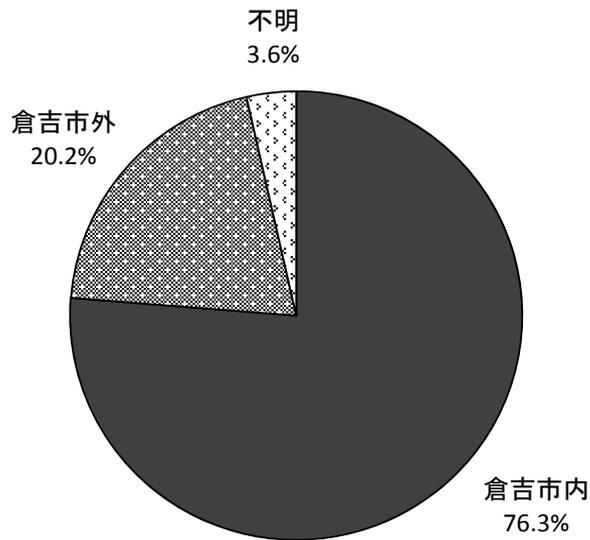
#### 問2 年齢構成



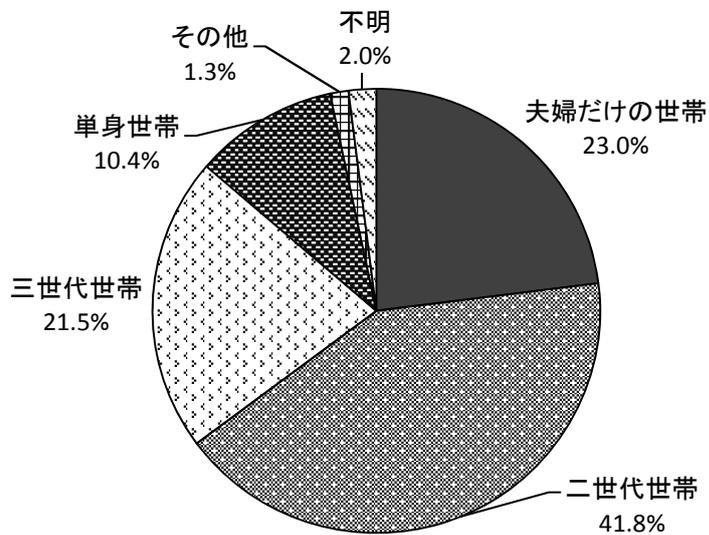
#### 問3 職業構成



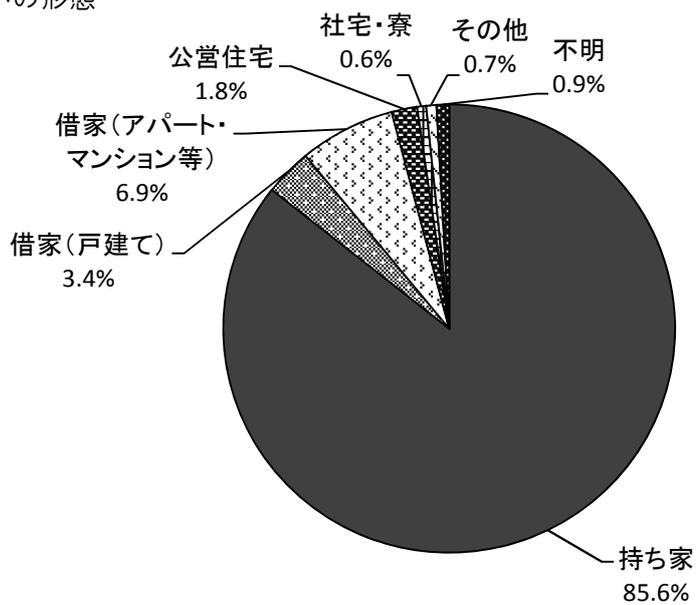
問4 勤務地



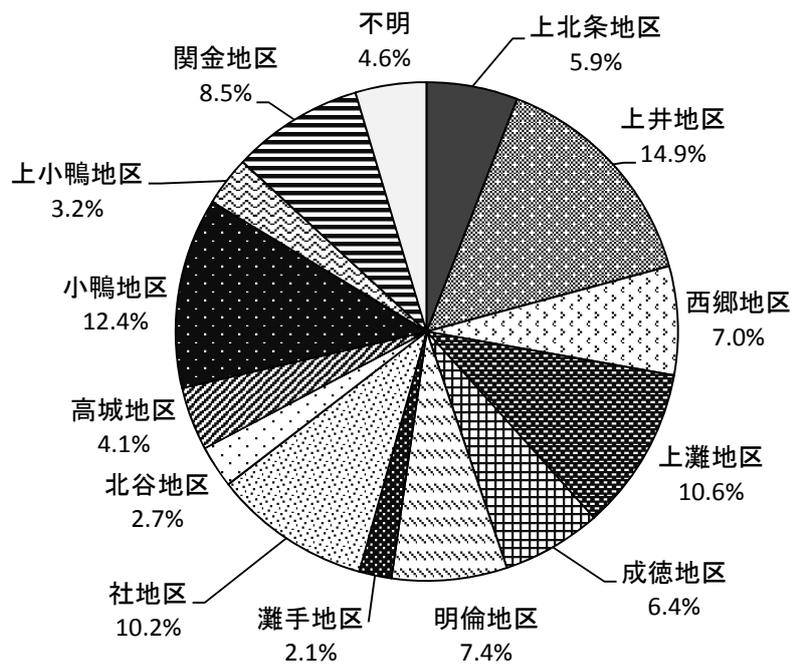
問5 家族構成



問6 住まいの形態



問7 地区構成



## 2 集計結果

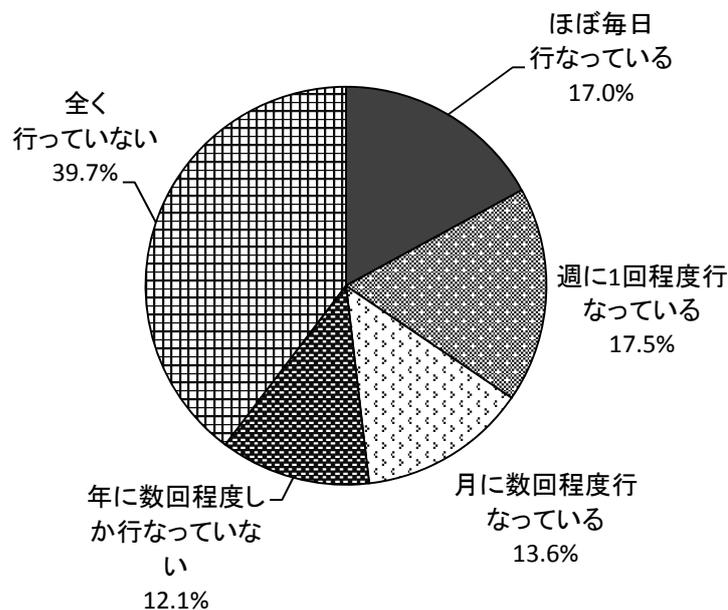
### (1) あなたの日常生活について

問8① あなたは日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

#### [全体]

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は48.1%（昨年44.9%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は51.8%（昨年55.1%）という結果になっています。



#### [性別]

日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいると答えた人は、男性が52.9%、女性が44.0%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	計
男	19.7%	17.7%	15.5%	12.6%	34.5%	446人
女	14.3%	17.4%	12.3%	11.9%	44.1%	546人

#### [年代別]

日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では56.9%という結果になっています。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	計
20～29	9.1%	15.2%	16.7%	18.2%	40.9%	66人
30～39	8.9%	17.8%	10.9%	18.8%	43.6%	101人
40～49	9.2%	16.9%	13.8%	12.3%	47.7%	130人
50～59	14.9%	17.9%	12.3%	13.8%	41.0%	195人
60～64	16.4%	15.6%	17.2%	10.7%	40.2%	122人
65～69	21.3%	20.6%	12.9%	11.6%	33.5%	155人
70～	26.7%	16.8%	13.4%	7.3%	35.8%	232人

[地区別]

日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいると答えた人は、多くの地区で40～50%台という結果となっています。

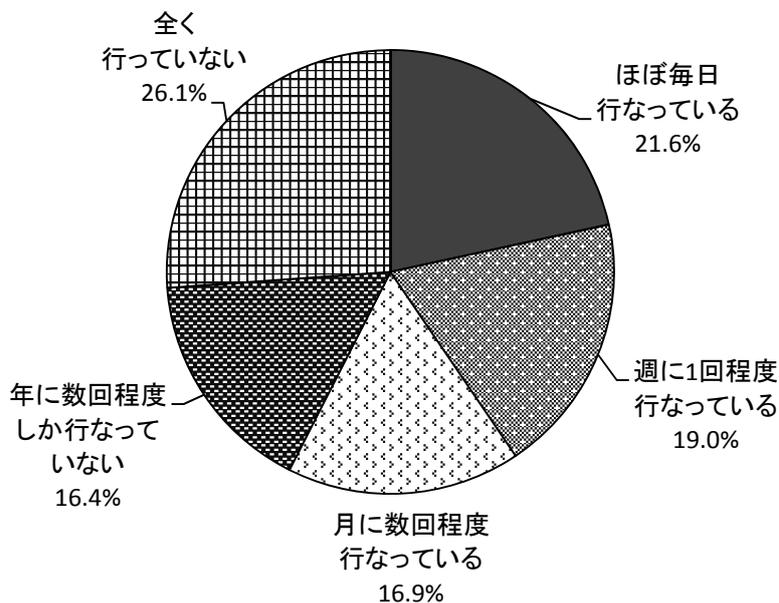
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	
上北条	20.3%	20.3%	12.5%	7.8%	39.1%	計985人 64人
上井	19.1%	16.7%	16.7%	10.5%	37.0%	162人
西郷	18.4%	14.5%	15.8%	13.2%	38.2%	76人
上灘	20.2%	17.4%	13.8%	14.7%	33.9%	109人
成徳	13.2%	22.1%	13.2%	11.8%	39.7%	68人
明倫	18.4%	7.9%	11.8%	17.1%	44.7%	76人
灘手	18.2%	9.1%	13.6%	27.3%	31.8%	22人
社	15.5%	27.2%	12.6%	8.7%	35.9%	103人
北谷	10.0%	16.7%	13.3%	13.3%	46.7%	30人
高城	11.6%	18.6%	9.3%	14.0%	46.5%	43人
小鴨	20.2%	14.5%	15.3%	11.3%	38.7%	124人
上小鴨	12.5%	18.8%	9.4%	9.4%	50.0%	32人
関金	9.2%	18.4%	11.8%	13.2%	47.4%	76人

問8② あなたは日頃から読書、映画、音楽、スポーツや趣味など、何か学ぶことに取り組んでいますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

[全体]

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は57.5%（昨年57.2%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は42.5%（昨年42.8%）という結果になっています。



〔性別〕

日頃から何か学ぶことに取り組んでいると答えた人は、男性が59.4%、女性が55.6%と男女間に差は見られませんでした。

	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	
男	24.5%	18.2%	16.7%	16.0%	24.5%	計993人 444人
女	18.8%	19.9%	16.9%	17.1%	27.3%	549人

〔年代別〕

日頃から何か学ぶことに取り組んでいると答えた人は、いずれの年代も50～60%台という結果になっています。

	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	
20～29	27.3%	24.2%	15.2%	18.2%	15.2%	計1002人 66人
30～39	15.8%	27.7%	14.9%	17.8%	23.8%	101人
40～49	16.9%	23.1%	17.7%	19.2%	23.1%	130人
50～59	17.3%	18.3%	20.3%	20.8%	23.4%	197人
60～64	22.8%	17.1%	15.4%	15.4%	29.3%	123人
65～69	24.4%	19.9%	16.0%	14.1%	25.6%	156人
70～	26.2%	12.2%	16.6%	12.2%	32.8%	229人

〔地区別〕

日頃から何か学ぶことに取り組んでいると答えた人は、多くの地区で50～60%台であるのに対し、北谷・関金地区は40%前後という結果になっています。

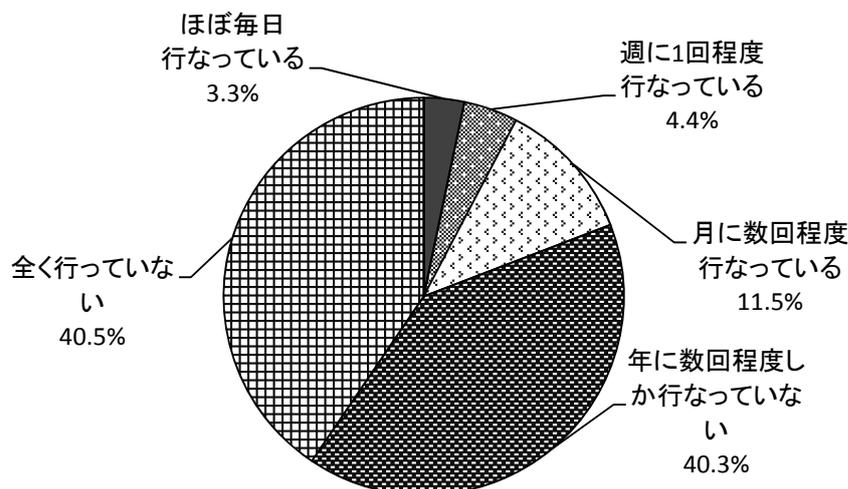
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	
上北条	26.6%	10.9%	26.6%	14.1%	21.9%	計986人 64人
上井	24.8%	24.8%	14.3%	16.8%	19.3%	161人
西郷	20.0%	20.0%	17.3%	13.3%	29.3%	75人
上灘	20.2%	22.0%	20.2%	18.3%	19.3%	109人
成徳	22.1%	17.6%	16.2%	20.6%	23.5%	68人
明倫	26.0%	11.7%	14.3%	16.9%	31.2%	77人
灘手	13.0%	21.7%	30.4%	13.0%	21.7%	23人
社	23.8%	12.4%	16.2%	17.1%	30.5%	105人
北谷	10.0%	16.7%	10.0%	13.3%	50.0%	30人
高城	14.3%	19.0%	23.8%	26.2%	16.7%	42人
小鴨	21.0%	25.8%	16.1%	11.3%	25.8%	124人
上小鴨	21.9%	21.9%	9.4%	15.6%	31.3%	32人
関金	15.8%	14.5%	13.2%	17.1%	39.5%	76人

問8③ あなたは日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら活動を行ったりすることがありますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

〔全体〕

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は19.2%（昨年21.8%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は80.8%（昨年78.2%）という結果になっています。



〔性別〕

日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら行ったりすることがあると答えた人は、男性が17.4%、女性が20.0%と男女間に差は見られませんでした。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	
男	4.1%	4.3%	9.0%	36.3%	46.4%	計996人 444人
女	2.5%	4.3%	13.2%	43.8%	36.1%	552人

〔年代別〕

日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら行ったりすることがあると答えた人は、いずれの年代も20%前後という結果になっています。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	
20～29	1.5%	6.1%	16.7%	27.3%	48.5%	計1005人 66人
30～39	5.9%	3.0%	12.9%	38.6%	39.6%	101人
40～49	3.1%	3.8%	8.5%	41.5%	43.1%	130人
50～59	2.0%	5.1%	11.2%	45.7%	36.0%	197人
60～64	2.4%	4.1%	12.2%	42.3%	39.0%	123人
65～69	1.9%	5.1%	11.5%	42.7%	38.9%	157人
70～	5.2%	3.9%	10.4%	37.7%	42.9%	231人

〔地区別〕

日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら行ったりすることがあると答えた人は、成徳地区は29.4%であるのに対し、社・北谷地区は10.0%程度という結果になっています。

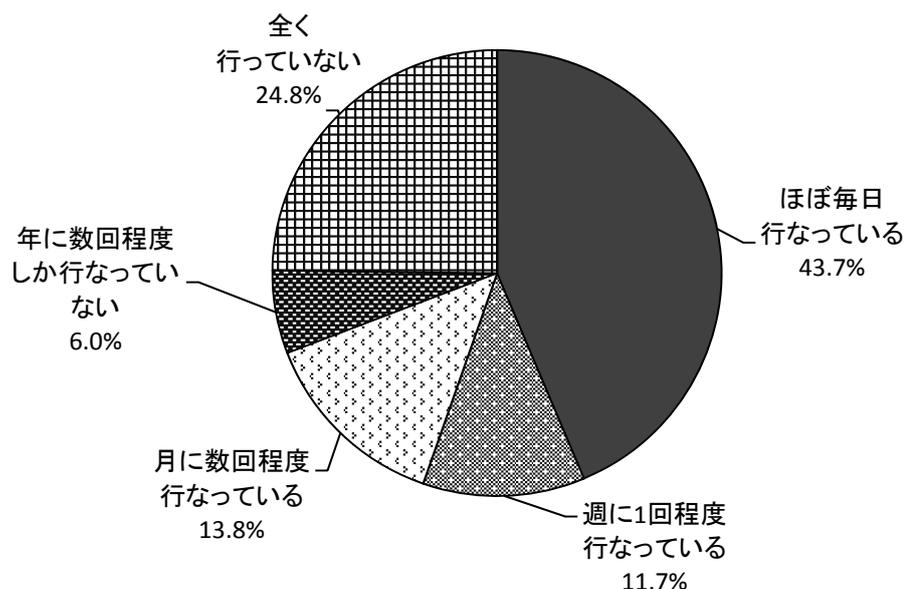
	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	
上北条	0.0%	1.6%	12.5%	50.0%	35.9%	計989人 64人
上井	3.8%	6.9%	14.4%	35.6%	39.4%	160人
西郷	2.6%	1.3%	10.5%	43.4%	42.1%	76人
上灘	2.7%	7.2%	13.5%	44.1%	32.4%	111人
成徳	4.4%	7.4%	17.6%	33.8%	36.8%	68人
明倫	6.5%	2.6%	14.3%	29.9%	46.8%	77人
灘手	0.0%	4.5%	9.1%	50.0%	36.4%	22人
社	2.9%	1.9%	5.7%	44.8%	44.8%	105人
北谷	3.3%	3.3%	3.3%	30.0%	60.0%	30人
高城	2.4%	4.8%	9.5%	52.4%	31.0%	42人
小鴨	3.2%	4.0%	12.8%	38.4%	41.6%	125人
上小鴨	0.0%	12.5%	12.5%	46.9%	28.1%	32人
関金	6.5%	1.3%	3.9%	37.7%	50.6%	77人

問8④ あなたは情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡を取ることがありますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

[全体]

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は69.2%（昨年70.0%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は30.8%（昨年30.0%）という結果になっています。



[性別]

情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡をとることがあると答えた人は、男性が67.2%、女性が71.3%と男女間に差は見られませんでした。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	計
男	40.3%	11.9%	15.0%	6.5%	26.4%	447人
女	46.6%	11.8%	12.9%	5.6%	23.2%	552人

[年代別]

情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡をとることがあると答えた人は、年代が低くなるほど高くなる傾向があり、20歳代で93.9%と最も高い結果になっています。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	計
20～29	81.8%	4.5%	7.6%	1.5%	4.5%	66人
30～39	69.6%	11.8%	8.8%	3.9%	5.9%	102人
40～49	67.9%	8.4%	14.5%	3.8%	5.3%	131人
50～59	48.7%	16.8%	13.7%	7.1%	13.7%	197人
60～64	37.4%	13.8%	14.6%	8.9%	25.2%	123人
65～69	30.6%	13.4%	14.0%	7.0%	35.0%	157人
70～	16.4%	9.1%	16.8%	6.5%	51.3%	232人

[地区別]

情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡をとることがあると答えた人は、多くの地区で60～70%台であるのに対し、北谷地区は43.3%という結果になっています。

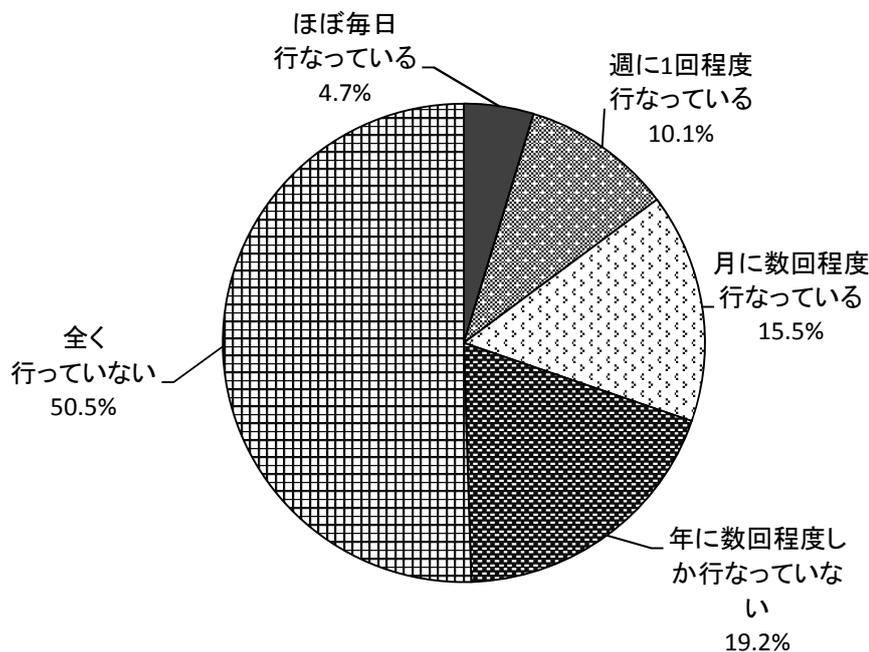
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計992人
上北条	43.8%	7.8%	15.6%	6.3%	26.6%	64人
上井	46.6%	11.2%	17.4%	6.2%	18.6%	161人
西郷	48.7%	10.5%	7.9%	6.6%	26.3%	76人
上灘	59.1%	10.9%	9.1%	0.9%	20.0%	110人
成徳	46.3%	11.9%	13.4%	3.0%	25.4%	67人
明倫	45.5%	6.5%	11.7%	13.0%	23.4%	77人
灘手	45.5%	13.6%	9.1%	9.1%	22.7%	22人
社	40.6%	14.2%	9.4%	7.5%	28.3%	106人
北谷	20.0%	13.3%	10.0%	0.0%	56.7%	30人
高城	35.7%	14.3%	31.0%	2.4%	16.7%	42人
小鴨	39.4%	11.0%	18.1%	7.1%	24.4%	127人
上小鴨	25.0%	18.8%	12.5%	18.8%	25.0%	32人
関金	43.6%	14.1%	11.5%	1.3%	29.5%	78人

問8⑤ 65歳以上の方にお伺いします。あなたは地域において何か活動（老人クラブ、公民館活動、趣味のサークル等）をしていますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

[全体]

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は30.3%（昨年32.0%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は69.7%（昨年68.0%）という結果になっています。



〔性別〕

地域において何か活動していると答えた人は、男性が38.5%であるのに対し、女性が24.1%という結果になっています。

	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	
男	8.5%	10.2%	19.8%	19.2%	42.4%	計396人 177人
女	1.8%	10.0%	12.3%	19.2%	56.6%	219人

〔地区別〕

地域において何か活動していると答えた人は、多くの地区で20~30%台であるのに対し、灘手地区は70.0%、成徳地区は11.1%という結果になっています。

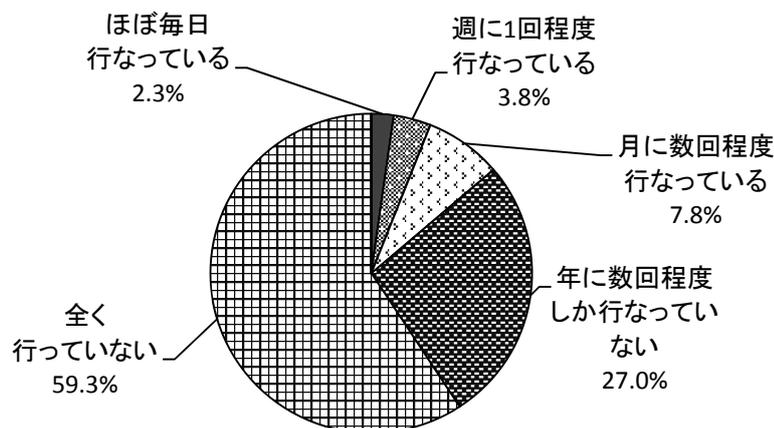
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	
上北条	0.0%	12.5%	25.0%	16.7%	45.8%	計393人 24人
上井	8.8%	14.0%	10.5%	17.5%	49.1%	57人
西郷	13.0%	8.7%	4.3%	30.4%	43.5%	23人
上灘	12.8%	5.1%	23.1%	20.5%	38.5%	39人
成徳	0.0%	2.8%	8.3%	19.4%	69.4%	36人
明倫	5.1%	12.8%	12.8%	17.9%	51.3%	39人
灘手	0.0%	10.0%	60.0%	0.0%	30.0%	10人
社	2.5%	7.5%	20.0%	17.5%	52.5%	40人
北谷	0.0%	21.4%	14.3%	7.1%	57.1%	14人
高城	0.0%	13.3%	13.3%	26.7%	46.7%	15人
小鴨	1.9%	9.6%	19.2%	17.3%	51.9%	52人
上小鴨	0.0%	6.7%	13.3%	40.0%	40.0%	15人
関金	3.4%	17.2%	6.9%	24.1%	48.3%	29人

問8⑥ 65歳以上の方にお伺いします。あなたは過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがありますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

〔全体〕

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は13.9%（昨年15.8%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は86.3%（昨年84.2%）という結果になっています。



〔性別〕

過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがあると答えた人は、男性が15.5%、女性が11.5%と男女間に差は見られませんでした。

	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	
男	5.2%	4.0%	6.3%	36.8%	47.7%	計390人 174人
女	0.0%	3.2%	8.3%	19.0%	69.4%	216人

〔地区別〕

過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがあると答えた人は、灘手地区が20.0%に対し、成徳地区は2.9%という結果になっています。

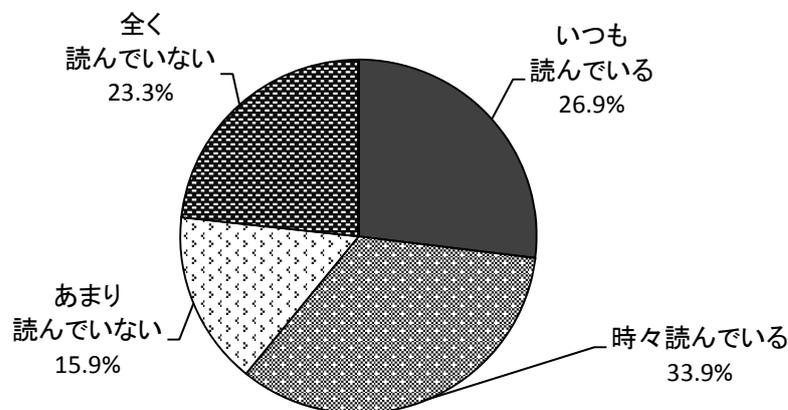
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	
上北条	4.2%	4.2%	8.3%	16.7%	66.7%	計387人 24人
上井	1.8%	3.5%	8.8%	24.6%	61.4%	57人
西郷	4.3%	4.3%	8.7%	26.1%	56.5%	23人
上灘	7.7%	2.6%	2.6%	38.5%	48.7%	39人
成徳	0.0%	0.0%	2.9%	26.5%	70.6%	34人
明倫	0.0%	10.3%	5.1%	30.8%	53.8%	39人
灘手	0.0%	10.0%	10.0%	50.0%	30.0%	10人
社	2.6%	0.0%	12.8%	15.4%	69.2%	39人
北谷	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	71.4%	14人
高城	0.0%	0.0%	15.4%	38.5%	46.2%	13人
小鴨	3.8%	5.7%	9.4%	20.8%	60.4%	53人
上小鴨	0.0%	0.0%	6.7%	40.0%	53.3%	15人
関金	0.0%	7.4%	7.4%	33.3%	51.9%	27人

問9 あなたは、お住まいの地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがありますか。

1. いつも読んでいる
2. 時々読んでいる
3. あまり読んでいない
4. 全く読んでいない

〔全体〕

「1. いつも読んでいる」「2. 時々読んでいる」と答えた人は60.8%（昨年61.1%）で、「3. あまり読んでいない」「4. 全く読んでいない」と答えた人は39.2%（昨年38.8%）という結果になっています。



〔性別〕

地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがあると答えた人は、男性は54.0%であるのに対し、女性が65.9%という結果になっています。

	いつも 読んでいる	時々 読んでいる	あまり 読んでいない	全く 読んでいない	
					計1044人
男	22.1%	31.9%	17.7%	28.4%	458人
女	30.9%	35.0%	14.5%	19.6%	586人

〔年代別〕

地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがあると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上は70.3%であるのに対し、20歳代は22.8%という結果になっています。

	いつも 読んでいる	時々 読んでいる	あまり 読んでいない	全く 読んでいない	
					計1053人
20～29	6.1%	16.7%	21.2%	56.1%	66人
30～39	22.5%	28.4%	7.8%	41.2%	102人
40～49	34.1%	25.8%	13.6%	26.5%	132人
50～59	23.4%	34.5%	19.3%	22.8%	197人
60～64	25.8%	37.9%	17.7%	18.5%	124人
65～69	28.9%	40.9%	16.4%	13.8%	159人
70～	32.6%	37.7%	14.3%	15.4%	273人

〔地区別〕

地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがあると答えた人は、高城地区は84.4%であるのに対し、上井地区は51.0%という結果になっています。

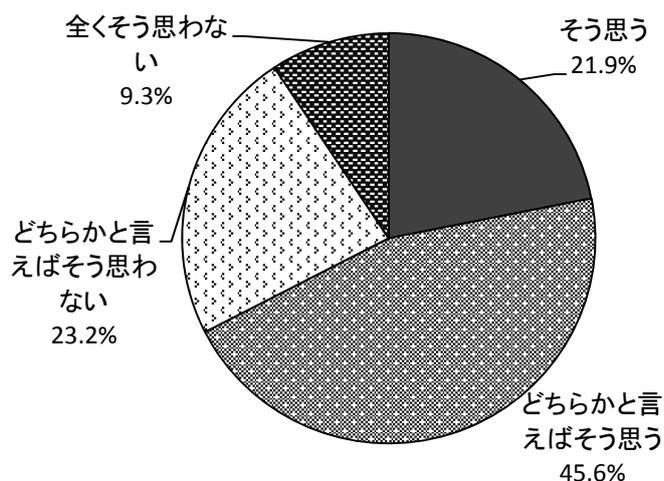
	いつも 読んでいる	時々 読んでいる	あまり 読んでいない	全く 読んでいない	
					計1034人
上北条	26.6%	25.0%	23.4%	25.0%	64人
上井	15.8%	35.2%	15.2%	33.9%	165人
西郷	39.0%	23.4%	20.8%	16.9%	77人
上灘	27.0%	31.3%	14.8%	27.0%	115人
成徳	30.0%	27.1%	12.9%	30.0%	70人
明倫	24.7%	29.6%	23.5%	22.2%	81人
灘手	41.7%	33.3%	8.3%	16.7%	24人
社	35.1%	28.8%	18.0%	18.0%	111人
北谷	26.7%	46.7%	16.7%	10.0%	30人
高城	31.1%	53.3%	4.4%	11.1%	45人
小鴨	18.0%	40.6%	18.0%	23.3%	133人
上小鴨	31.4%	45.7%	11.4%	11.4%	35人
関金	34.5%	35.7%	9.5%	20.2%	84人

問10 あなたは、ご自身が心身ともに健康だと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は67.5%（昨年69.2%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は32.5%（昨年30.7%）という結果になっています。



[性別]

自分自身が心身ともに健康だと答えた人は、男性は66.0%、女性は68.6%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計1045人
男	19.2%	46.8%	24.8%	9.2%	459人
女	23.5%	45.1%	22.0%	9.4%	586人

[年代別]

自分自身が心身ともに健康だと答えた人は、いずれの年代も60~70%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計1055人
20~29	30.3%	37.9%	27.3%	4.5%	66人
30~39	23.5%	49.0%	17.6%	9.8%	102人
40~49	29.5%	41.7%	19.7%	9.1%	132人
50~59	19.9%	49.5%	22.4%	8.2%	196人
60~64	22.4%	45.6%	28.0%	4.0%	125人
65~69	16.9%	53.8%	22.5%	6.9%	160人
70~	20.1%	40.1%	24.5%	15.3%	274人

【地区別】

自分自身が心身ともに健康だと答えた人は、高城地区が77.8%と高いのに対し、上小鴨地区は54.3%という結果になっています。

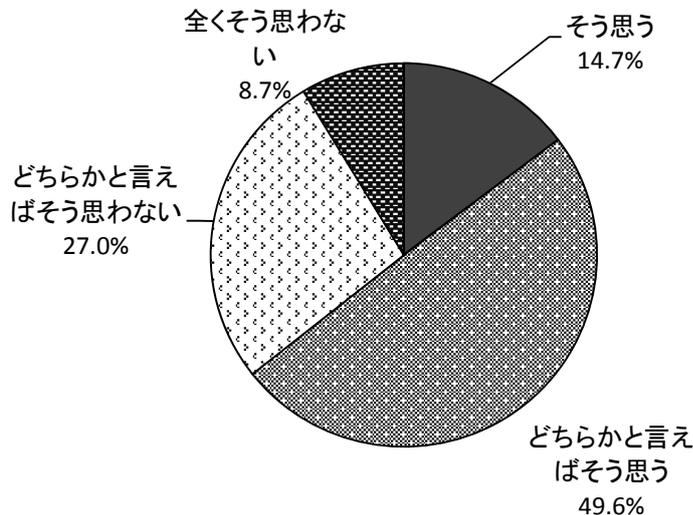
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計1035人
上北条	21.9%	43.8%	23.4%	10.9%	64人
上井	27.3%	44.8%	18.8%	9.1%	165人
西郷	26.0%	36.4%	33.8%	3.9%	77人
上灘	21.7%	47.8%	22.6%	7.8%	115人
成徳	25.7%	42.9%	22.9%	8.6%	70人
明倫	16.3%	52.5%	21.3%	10.0%	80人
灘手	20.8%	37.5%	25.0%	16.7%	24人
社	20.7%	53.2%	20.7%	5.4%	111人
北谷	20.7%	41.4%	24.1%	13.8%	29人
高城	11.1%	66.7%	17.8%	4.4%	45人
小鴨	21.8%	39.8%	26.3%	12.0%	133人
上小鴨	8.6%	45.7%	25.7%	20.0%	35人
関金	21.8%	43.7%	25.3%	9.2%	87人

問11 倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は64.3%（昨年63.7%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は35.7%（昨年36.3%）という結果になっています。



【性別】

倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと答えた人は、男性が62.2%、女性が66.2%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計1031人
男	14.1%	48.1%	27.9%	9.9%	455人
女	15.3%	50.9%	26.2%	7.6%	576人

〔年代別〕

倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上は74.7%、30歳代は52.5%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	計1041人
20～29	13.6%	42.4%	33.3%	10.6%	66人
30～39	9.9%	42.6%	34.7%	12.9%	101人
40～49	16.9%	43.1%	29.2%	10.8%	130人
50～59	7.3%	52.3%	32.1%	8.3%	193人
60～64	15.3%	53.2%	23.4%	8.1%	124人
65～69	12.7%	51.9%	26.6%	8.9%	158人
70～	21.9%	52.8%	19.3%	5.9%	269人

〔地区別〕

倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと答えた人は、多くの地区で50～70%台という結果になっています。

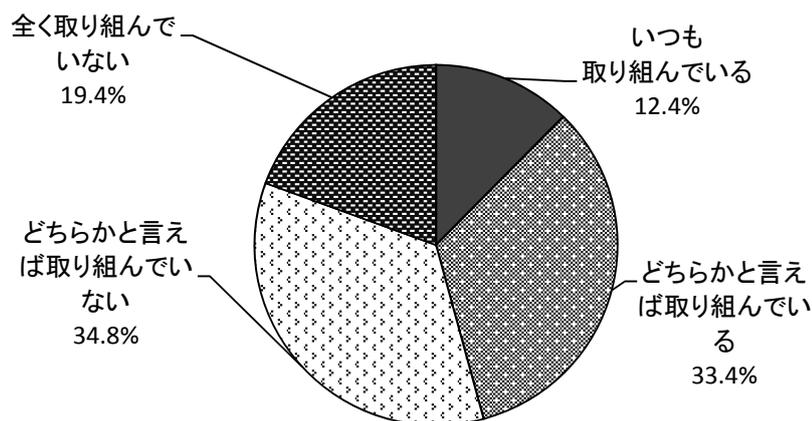
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	計1021人
上北条	6.3%	42.2%	46.9%	4.7%	64人
上井	18.1%	46.9%	28.1%	6.9%	160人
西郷	14.5%	57.9%	21.1%	6.6%	76人
上灘	14.3%	50.9%	26.8%	8.0%	112人
成徳	24.6%	47.8%	17.4%	10.1%	69人
明倫	17.5%	57.5%	17.5%	7.5%	80人
灘手	20.8%	41.7%	20.8%	16.7%	24人
社	13.9%	52.8%	23.1%	10.2%	108人
北谷	16.7%	46.7%	23.3%	13.3%	30人
高城	2.2%	53.3%	33.3%	11.1%	45人
小鴨	15.3%	48.1%	31.3%	5.3%	131人
上小鴨	5.7%	54.3%	25.7%	14.3%	35人
関金	10.3%	44.8%	28.7%	16.1%	87人

問12 あなたは、普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいますか。

1. いつも取り組んでいる
2. どちらかと言えば取り組んでいる
3. どちらかと言えば取り組んでいない
4. 全く取り組んでいない

〔全体〕

「1. いつも取り組んでいる」「2. どちらかと言えば取り組んでいる」と答えた人は45.8%（昨年47.0%）で、「3. どちらかと言えば取り組んでいない」「4. 全く取り組んでいない」と答えた人は54.2%（昨年53.1%）という結果になっています。



### [性別]

普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいると答えた人は、男性が47.9%、女性が43.7%と男女間に差は見られませんでした。

	取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいない	全く取り組んでいない	計
男	14.3%	33.6%	34.4%	17.8%	1037人
女	10.5%	33.2%	35.5%	20.8%	456人
					581人

### [年代別]

普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいると答えた人は、30歳代が24.8%と低いのに対し、70歳以上が57.6%という結果になっています。

	取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいない	全く取り組んでいない	計
20~29	1.5%	43.9%	34.8%	19.7%	1046人
30~39	5.0%	19.8%	49.5%	25.7%	66人
40~49	6.8%	27.3%	35.6%	30.3%	101人
50~59	11.7%	33.5%	38.1%	16.8%	132人
60~64	9.7%	33.1%	33.1%	24.2%	197人
65~69	16.6%	35.7%	35.0%	12.7%	124人
70~	19.7%	37.9%	27.5%	14.9%	157人
					269人

### [地区別]

普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいると答えた人は、いずれの地区も30~50%台という結果になっています。

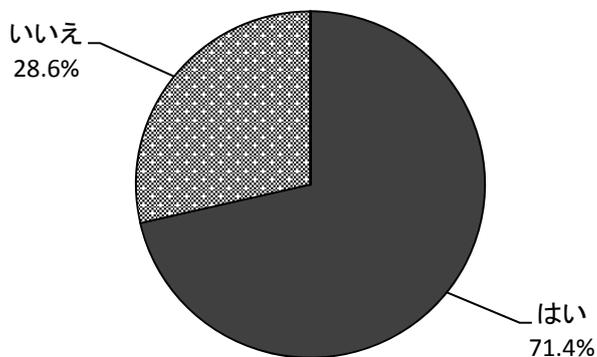
	取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいない	全く取り組んでいない	計
上北条	12.5%	35.9%	39.1%	12.5%	1027人
上井	12.4%	31.1%	35.4%	21.1%	64人
西郷	10.4%	33.8%	36.4%	19.5%	161人
上灘	12.9%	35.3%	31.9%	19.8%	77人
成徳	13.0%	39.1%	39.1%	8.7%	116人
明倫	17.3%	34.6%	30.9%	17.3%	69人
灘手	25.0%	29.2%	33.3%	12.5%	81人
社	15.5%	29.1%	40.0%	15.5%	24人
北谷	3.4%	37.9%	31.0%	27.6%	110人
高城	8.9%	40.0%	33.3%	17.8%	29人
小鴨	9.8%	35.3%	34.6%	20.3%	45人
上小鴨	5.9%	35.3%	38.2%	20.6%	133人
関金	11.9%	26.2%	32.1%	29.8%	34人
					84人

問13 あなたは、日頃から利用している「かかりつけ医」を持っていますか。

1. はい
2. いいえ

[全体]

「かかりつけ医」を持っていると答えた人は71.4%（昨年69.6%）で、持っていないと答えた人は28.6%（昨年30.4%）という結果になっています。



[性別]

「かかりつけ医」を持っていると答えた人は、男性が68.8%、女性が73.1%と男女間に差は見られませんでした。

	はい	いいえ	計
男	68.8%	31.2%	459人
女	73.1%	26.9%	590人

[年代別]

「かかりつけ医」を持っていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上が90.6%と最も高い結果になっています。

年代	はい	いいえ	計
20~29	45.5%	54.5%	66人
30~39	51.0%	49.0%	102人
40~49	59.8%	40.2%	132人
50~59	59.2%	40.8%	196人
60~64	74.6%	25.4%	126人
65~69	83.8%	16.3%	160人
70~	90.6%	9.4%	277人

【地区別】

「かかりつけ医」を持っていると答えた人は、いずれの地区も60%～70%台と大きなバラつきは見られませんでした。

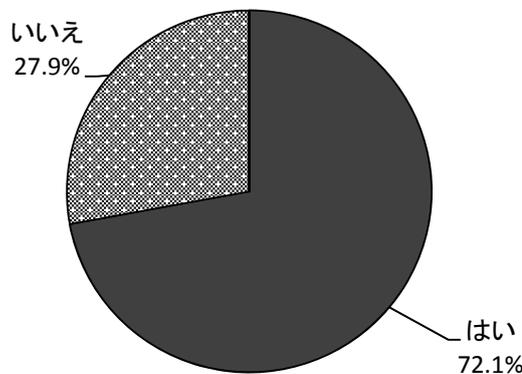
	はい	いいえ	
			計1039人
上北条	70.3%	29.7%	64人
上井	66.7%	33.3%	165人
西郷	74.0%	26.0%	77人
上灘	70.7%	29.3%	116人
成徳	71.4%	28.6%	70人
明倫	72.8%	27.2%	81人
灘手	66.7%	33.3%	24人
社	77.5%	22.5%	111人
北谷	66.7%	33.3%	30人
高城	71.1%	28.9%	45人
小鴨	72.4%	27.6%	134人
上小鴨	77.1%	22.9%	35人
関金	69.0%	31.0%	87人

問14 あなたは、年に1回は健康診査を受診していますか。

1. はい
2. いいえ

【全体】

年に1回は健康診査を受診していると答えた人は72.1%（昨年71.3%）、受診していないと答えた人は27.9%（昨年28.7%）という結果になっています。



【性別】

年に1回は健康診査を受診していると答えた人は、男性が75.4%、女性が69.7%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	はい	いいえ	
			計1043人
男	75.4%	24.6%	456人
女	69.7%	30.3%	587人

〔年代別〕

年に1回は健康診査を受診していると答えた人は、いずれの年代も60～70%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	はい	いいえ	
			計1053人
20～29	71.2%	28.8%	66人
30～39	73.5%	26.5%	102人
40～49	79.5%	20.5%	132人
50～59	78.2%	21.8%	197人
60～64	65.6%	34.4%	125人
65～69	66.3%	33.8%	160人
70～	70.8%	29.2%	271人

〔地区別〕

年に1回は健康診査を受診していると答えた人は、灘手地区が87.5%であるのに対し、北谷地区は63.3%という結果になっています。

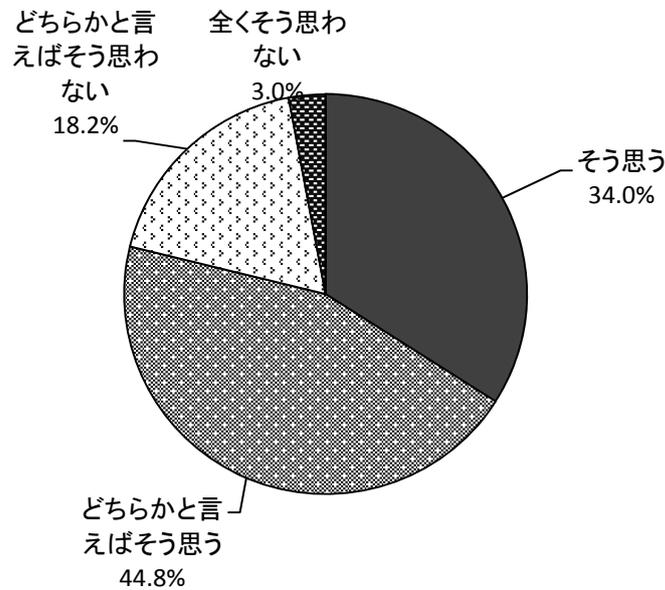
	はい	いいえ	
			計1033人
上北条	71.9%	28.1%	64人
上井	68.3%	31.7%	164人
西郷	71.4%	28.6%	77人
上灘	76.5%	23.5%	115人
成徳	64.8%	35.2%	71人
明倫	78.8%	21.3%	80人
灘手	87.5%	12.5%	24人
社	70.3%	29.7%	111人
北谷	63.3%	36.7%	30人
高城	80.0%	20.0%	45人
小鴨	71.2%	28.8%	132人
上小鴨	74.3%	25.7%	35人
関金	75.3%	24.7%	85人

問15 あなたは、身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は78.8%（昨年79.6%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は21.2%（昨年20.4%）という結果になっています。



〔性別〕

身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると答えた人は、男性が79.8%、女性が77.9%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	
男	37.5%	42.3%	17.1%	3.1%	計1034人 456人
女	30.8%	47.1%	19.4%	2.8%	578人

〔年代別〕

身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると答えた人は、40歳代以降年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上は84.0%、30歳代は76.3%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	
20～29	31.8%	48.5%	15.2%	4.5%	計1045人 66人
30～39	32.7%	43.6%	22.8%	1.0%	101人
40～49	28.8%	50.0%	19.7%	1.5%	132人
50～59	28.9%	47.2%	20.8%	3.0%	197人
60～64	27.4%	48.4%	17.7%	6.5%	124人
65～69	31.8%	45.9%	19.7%	2.5%	157人
70～	45.9%	38.1%	13.4%	2.6%	268人

[地区別]

身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると答えた人は、多くの地区で70～90%台という結果になっています。

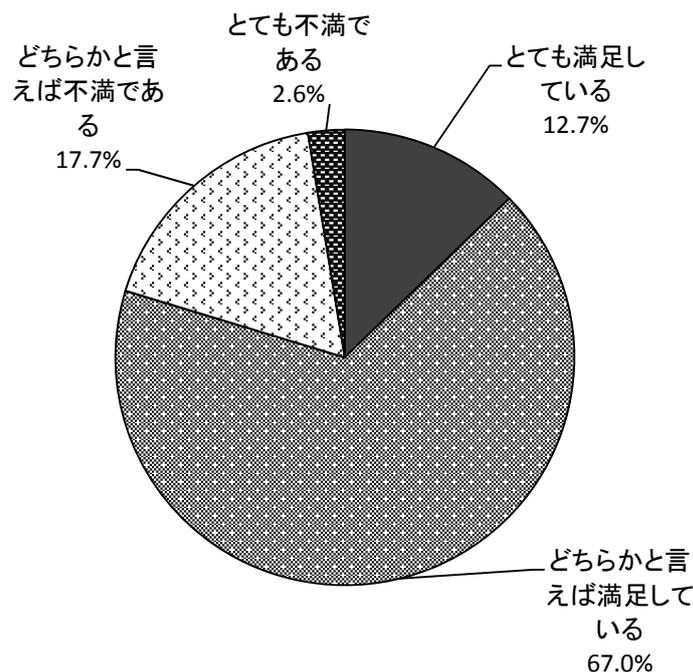
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	計1025人
上北条	31.7%	54.0%	12.7%	1.6%	63人
上井	35.2%	44.8%	16.4%	3.6%	165人
西郷	40.8%	39.5%	19.7%	0.0%	76人
上灘	34.5%	46.9%	15.9%	2.7%	113人
成徳	40.0%	47.1%	11.4%	1.4%	70人
明倫	30.8%	52.6%	15.4%	1.3%	78人
灘手	37.5%	45.8%	16.7%	0.0%	24人
社	35.2%	41.7%	19.4%	3.7%	108人
北谷	42.9%	28.6%	21.4%	7.1%	28人
高城	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	45人
小鴨	28.6%	45.1%	24.1%	2.3%	133人
上小鴨	40.0%	28.6%	28.6%	2.9%	35人
関金	29.9%	40.2%	20.7%	9.2%	87人

問16 あなたは、日頃から利用している市内の医療機関やそのサービスに満足していますか。

1. とても満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば不満である
4. とても不満である

[全体]

「1. とても満足している」「2. どちらかと言えば満足している」と答えた人は79.7%（昨年78.9%）で、「3. どちらかと言えば不満である」「4. とても不満である」と答えた人は20.3%（昨年21.1%）という結果になっています。



〔性別〕

市内の医療機関やサービスに満足していると答えた人は、男女とも79.6%と男女間に差は見られませんでした。

	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	
男	14.6%	65.0%	17.3%	3.1%	計1031人 451人
女	11.0%	68.6%	18.1%	2.2%	580人

〔年代別〕

市内の医療機関やサービスに満足していると答えた人は、いずれの年代も60%~80%台という結果になっています。

	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	
20~29	13.6%	63.6%	19.7%	3.0%	計1041人 66人
30~39	6.9%	55.4%	30.7%	6.9%	101人
40~49	8.5%	65.4%	23.8%	2.3%	130人
50~59	8.8%	68.6%	17.5%	5.2%	194人
60~64	9.7%	70.2%	19.4%	0.8%	124人
65~69	8.3%	76.9%	14.1%	0.6%	156人
70~	23.3%	65.2%	10.4%	1.1%	270人

〔地区別〕

市内の医療機関やサービスに満足していると答えた人は、いずれの地区も70~80%台と大きなバラつきは見られませんでした。

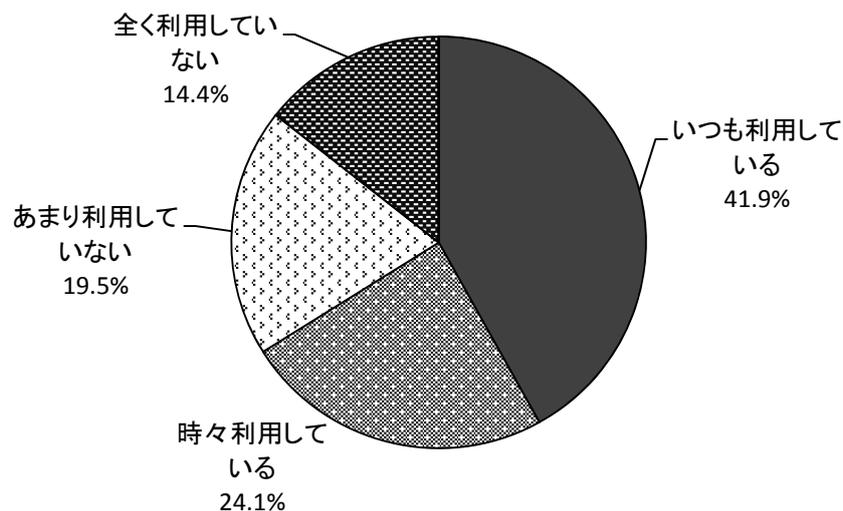
	取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいない	全く取り組んでいない	
上北条	14.1%	68.8%	17.2%	0.0%	計1021人 64人
上井	11.6%	68.3%	16.5%	3.7%	164人
西郷	17.3%	68.0%	12.0%	2.7%	75人
上灘	10.8%	67.6%	19.8%	1.8%	111人
成徳	14.5%	63.8%	20.3%	1.4%	69人
明倫	17.7%	65.8%	15.2%	1.3%	79人
灘手	8.3%	79.2%	8.3%	4.2%	24人
社	11.0%	69.7%	13.8%	5.5%	109人
北谷	26.7%	56.7%	13.3%	3.3%	30人
高城	8.9%	73.3%	17.8%	0.0%	45人
小鴨	9.1%	63.6%	23.5%	3.8%	132人
上小鴨	11.4%	60.0%	28.6%	0.0%	35人
関金	10.7%	67.9%	20.2%	1.2%	84人

問17 あなたは、日頃から買い物等をする際に、倉吉駅を中心とした上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用していますか。

1. いつも利用している
2. 時々利用している
3. あまり利用していない
4. 全く利用していない

〔全体〕

「1. いつも利用している」「2. 時々利用している」と答えた人は66.0%（昨年63.6%）で、「3. あまり利用していない」「4. 全く利用していない」と答えた人は33.9%（昨年36.4%）という結果になっています。



[性別]

買い物をする際に上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用していると答えた人は、男性が63.8%、女性が68.0%と男女間に差は見られませんでした。

	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	
男	38.6%	25.2%	18.8%	17.5%	計1069人 469人
女	44.5%	23.5%	19.8%	12.2%	600人

[年代別]

買い物をする際に上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用していると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では78.9%と最も高い結果になっています。

	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	
20~29	17.6%	20.6%	26.5%	35.3%	計1080人 68人
30~39	23.1%	26.9%	19.2%	30.8%	104人
40~49	33.1%	22.1%	25.0%	19.9%	136人
50~59	35.5%	24.5%	24.0%	16.0%	200人
60~64	38.0%	34.9%	18.6%	8.5%	129人
65~69	51.5%	25.2%	14.7%	8.6%	163人
70~	59.3%	19.6%	15.7%	5.4%	280人

[地区別]

買い物をする際に上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用していると答えた人は、上井・西郷・成徳・明倫地区が70%以上、その他の地区が40~60%台という結果になっています。

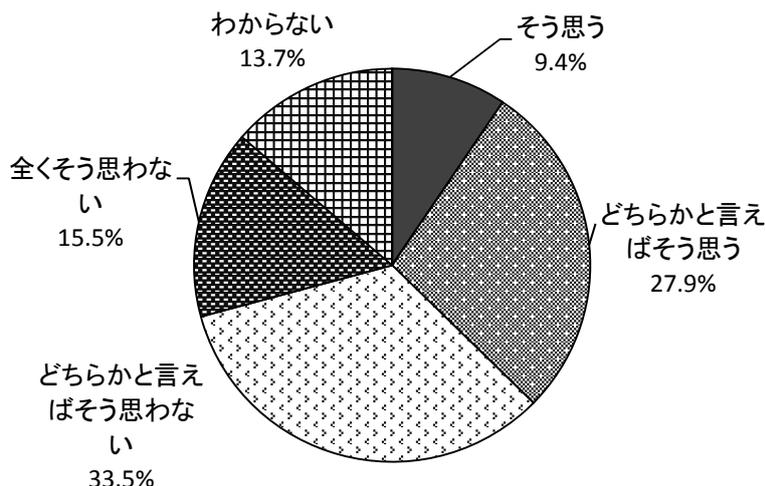
	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	
上北条	31.3%	26.6%	21.9%	20.3%	計1038人 64人
上井	60.7%	16.0%	9.8%	13.5%	163人
西郷	57.9%	19.7%	11.8%	10.5%	76人
上灘	26.1%	27.8%	30.4%	15.7%	115人
成徳	56.9%	16.7%	18.1%	8.3%	72人
明倫	63.0%	11.1%	14.8%	11.1%	81人
灘手	26.1%	21.7%	34.8%	17.4%	23人
社	36.9%	31.5%	15.3%	16.2%	111人
北谷	20.0%	36.7%	23.3%	20.0%	30人
高城	34.1%	25.0%	29.5%	11.4%	44人
小鴨	34.8%	25.0%	25.0%	15.2%	132人
上小鴨	31.4%	34.3%	25.7%	8.6%	35人
関金	21.7%	40.2%	18.5%	19.6%	92人

問18 あなたは、倉吉駅を中心とした上井地区や成徳・明倫地区の商店街は買い物しやすく魅力があると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は37.3%（昨年31.9%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は49.0%（昨年54.8%）という結果になっています。



【性別】

買い物しやすく魅力があると答えた人は、男性が34.7%、女性が39.1%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	わからない	
男	8.3%	26.4%	32.6%	18.5%	14.3%	計1066人 470人
女	10.2%	28.9%	34.6%	13.4%	12.9%	596人

【年代別】

買い物しやすく魅力があると答えた人は、20歳代～60歳代は20%～30%であるのに対し、70歳以上では54.7%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	わからない	
20～29	5.9%	19.1%	27.9%	23.5%	23.5%	計1077人 68人
30～39	5.8%	16.3%	38.5%	20.2%	19.2%	104人
40～49	5.9%	16.9%	44.9%	17.6%	14.7%	136人
50～59	6.5%	26.5%	42.5%	17.0%	7.5%	200人
60～64	7.8%	28.1%	34.4%	14.8%	14.8%	128人
65～69	8.0%	31.9%	31.9%	14.1%	14.1%	163人
70～	16.9%	37.8%	21.9%	10.8%	12.6%	278人

【地区別】

買い物しやすく魅力があると答えた人は、多くの地区で20～30%台であるのに対し、上井・西郷・成徳・北谷地区では40.0%台という結果になっています。

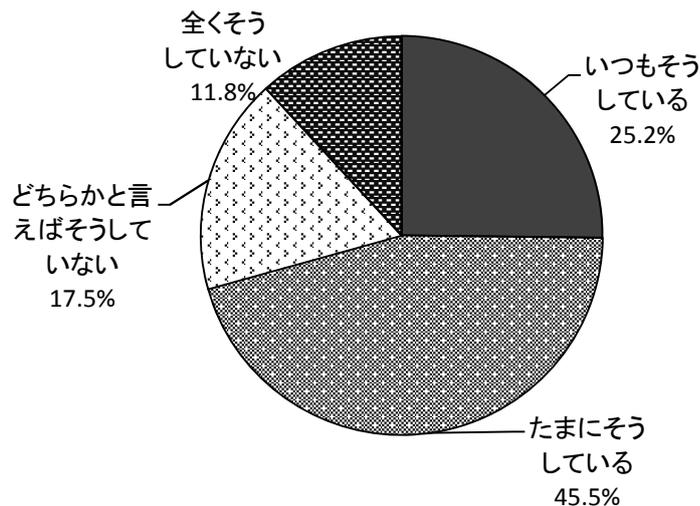
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
上北条	4.8%	21.0%	43.5%	16.1%	14.5%	計1034人 62人
上井	10.5%	33.3%	29.0%	15.4%	11.7%	162人
西郷	13.0%	36.4%	28.6%	10.4%	11.7%	77人
上灘	8.7%	27.0%	31.3%	20.9%	12.2%	115人
成徳	16.7%	29.2%	34.7%	9.7%	9.7%	72人
明倫	9.9%	29.6%	37.0%	11.1%	12.3%	81人
灘手	13.0%	26.1%	26.1%	21.7%	13.0%	23人
社	9.1%	28.2%	34.5%	11.8%	16.4%	110人
北谷	6.7%	33.3%	33.3%	13.3%	13.3%	30人
高城	2.3%	29.5%	43.2%	9.1%	15.9%	44人
小鴨	6.8%	20.5%	37.9%	16.7%	18.2%	132人
上小鴨	8.6%	20.0%	51.4%	11.4%	8.6%	35人
関金	8.8%	27.5%	23.1%	23.1%	17.6%	91人

問19 あなたは、スーパー等で農産物を買う際に倉吉産のものを選ぶようにしていますか。

1. いつもそうしている
2. たまにそうしている
3. どちらかと言えばそうしていない
4. 全くそうしていない

【全体】

「1. いつもそうしている」「2. たまにそうしている」と答えた人は70.7%（昨年72.0%）で、「3. どちらかと言えばそうしていない」「4. 全くそうしていない」と答えた人は29.3%（昨年28.1%）という結果になっています。



〔性別〕

倉吉産のものを選ぶようにしていると答えた人は、男性が59.6%であるのに対し、女性は79.4%という結果になっています。

	いつも そうしている	たまに そうしている	どちらかと言えば そうしていない	全く そうしていない	
男	15.2%	44.4%	23.7%	16.7%	計1068人 468人
女	32.7%	46.7%	12.5%	8.2%	600人

〔年代別〕

倉吉産のものを選ぶようにしていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では85.6%という結果になっています。

	いつも そうしている	たまに そうしている	どちらかと言えば そうしていない	全く そうしていない	
20～29	1.5%	41.2%	19.1%	38.2%	計1079人 68人
30～39	10.5%	37.1%	25.7%	26.7%	105人
40～49	19.1%	47.8%	18.4%	14.7%	136人
50～59	19.6%	51.3%	18.6%	10.6%	199人
60～64	24.8%	47.3%	18.6%	9.3%	129人
65～69	28.7%	44.5%	21.3%	5.5%	164人
70～	41.7%	43.9%	10.4%	4.0%	278人

〔地区別〕

倉吉産のものを選ぶようにしていると答えた人は、多くの地区で60～70%台という結果になっています。

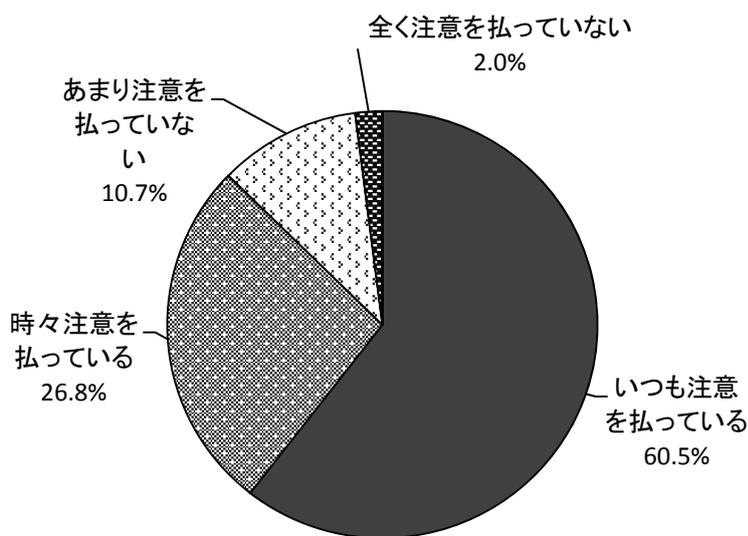
	いつも そうしている	たまに そうしている	どちらかと言えば そうしていない	全く そうしていない	
上北条	19.0%	47.6%	15.9%	17.5%	計1037人 63人
上井	26.2%	39.0%	19.5%	15.2%	164人
西郷	18.2%	48.1%	27.3%	6.5%	77人
上灘	25.9%	47.4%	15.5%	11.2%	116人
成徳	33.3%	40.3%	13.9%	12.5%	72人
明倫	32.5%	45.0%	15.0%	7.5%	80人
灘手	26.1%	39.1%	8.7%	26.1%	23人
社	23.6%	53.6%	10.9%	11.8%	110人
北谷	20.7%	37.9%	27.6%	13.8%	29人
高城	18.2%	50.0%	25.0%	6.8%	44人
小鴨	28.0%	47.0%	17.4%	7.6%	132人
上小鴨	25.7%	42.9%	22.9%	8.6%	35人
関金	22.8%	46.7%	17.4%	13.0%	92人

問20 あなたは、ご自身や家族が悪質商法などの消費者被害にあわないように正しい知識を身につけ、注意を払っていますか。

1. いつも注意を払っている
2. 時々注意を払っている
3. あまり注意を払っていない
4. 全く注意を払っていない

[全体]

「1. いつも注意を払っている」「2. 時々注意を払っている」と答えた人は87.3%（昨年88.4%）で、「3. あまり注意を払っていない」「4. 全く注意を払っていない」と答えた人は12.7%（昨年11.6%）という結果になっています。



[性別]

消費者被害にあわないように注意を払っていると答えた人は、男性が82.9%、女性が90.3%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	いつも注意を払っている	時々注意を払っている	あまり注意を払っていない	全く注意を払っていない	
男	57.2%	25.7%	13.8%	3.2%	計1072人 470人
女	62.6%	27.7%	8.5%	1.2%	602人

[年代別]

消費者被害にあわないように注意を払っていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、65歳以上では90%以上と高い結果になっています。

	いつも注意を払っている	時々注意を払っている	あまり注意を払っていない	全く注意を払っていない	
20~29	33.8%	30.9%	23.5%	11.8%	計1082人 68人
30~39	45.2%	36.5%	17.3%	1.0%	104人
40~49	44.9%	42.6%	11.8%	0.7%	136人
50~59	56.0%	32.5%	11.0%	0.5%	200人
60~64	55.0%	28.7%	14.7%	1.6%	129人
65~69	71.2%	20.2%	6.7%	1.8%	163人
70~	80.1%	12.8%	5.0%	2.1%	282人

【地区別】

消費者被害にあわないように注意を払っていると答えた人は、いずれの地区も80～90%台という結果になっています。

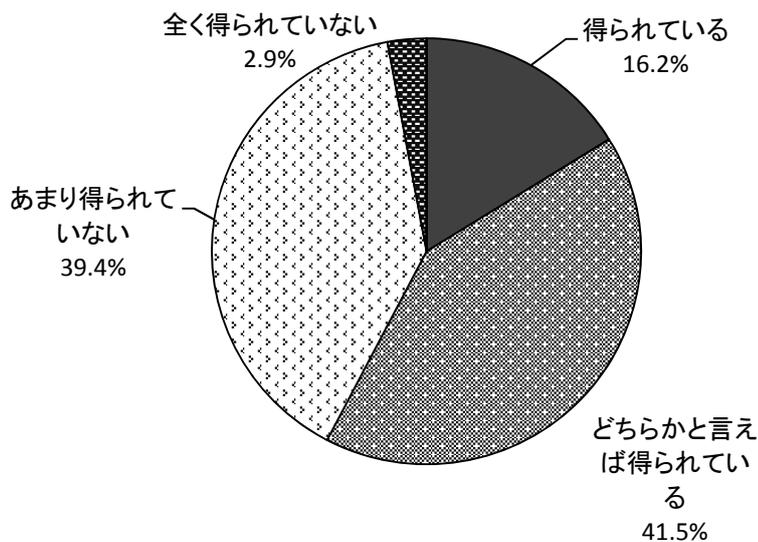
	いつも注意を払っている	時々注意を払っている	あまり注意を払っていない	全く注意を払っていない	計1041人
上北条	56.3%	28.1%	9.4%	6.3%	64人
上井	56.7%	29.9%	12.8%	0.6%	164人
西郷	64.9%	27.3%	6.5%	1.3%	77人
上灘	60.3%	26.7%	11.2%	1.7%	116人
成徳	68.1%	20.8%	8.3%	2.8%	72人
明倫	60.5%	29.6%	8.6%	1.2%	81人
灘手	65.2%	26.1%	8.7%	0.0%	23人
社	59.5%	26.1%	11.7%	2.7%	111人
北谷	56.7%	26.7%	16.7%	0.0%	30人
高城	65.9%	25.0%	9.1%	0.0%	44人
小鴨	58.3%	26.5%	12.9%	2.3%	132人
上小鴨	62.9%	22.9%	11.4%	2.9%	35人
関金	63.0%	22.8%	9.8%	4.3%	92人

問2 1 あなたは、消費者トラブルや消費者問題など消費生活に関する情報が、適切に得られていると思いますか。

1. 得られている
2. どちらかと言えば得られている
3. あまり得られていない
4. 全く得られていない

【全体】

「1. 得られている」「2. どちらかと言えば得られている」と答えた人は57.7%（昨年56.0%）で、「3. あまり得られていない」「4. 全く得られていない」と答えた人は42.3%（昨年43.9%）という結果になっています。



〔性別〕

消費生活に関する情報が適切に得られていると答えた人は、男性が54.7%、女性が59.5%と男女間に差は見られませんでした。

	得られている	どちらかと言えば得られている	あまり得られていない	全く得られていない	
					計1048人
男	14.4%	40.3%	41.6%	3.6%	466人
女	17.4%	42.1%	38.1%	2.4%	582人

〔年代別〕

消費生活に関する情報が適切に得られていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向にあり、70歳以上では71.5%となっています。

	得られている	どちらかと言えば得られている	あまり得られていない	全く得られていない	
					計1060人
20～29	4.4%	25.0%	55.9%	14.7%	68人
30～39	5.8%	39.4%	50.0%	4.8%	104人
40～49	7.4%	42.2%	47.4%	3.0%	135人
50～59	13.1%	41.4%	43.4%	2.0%	198人
60～64	14.3%	44.4%	38.1%	3.2%	126人
65～69	19.5%	44.0%	35.2%	1.3%	159人
70～	28.5%	43.0%	27.8%	0.7%	270人

〔地区別〕

消費生活に関する情報が適切に得られていると答えた人は、いずれの地区も40～60%台という結果になっています。

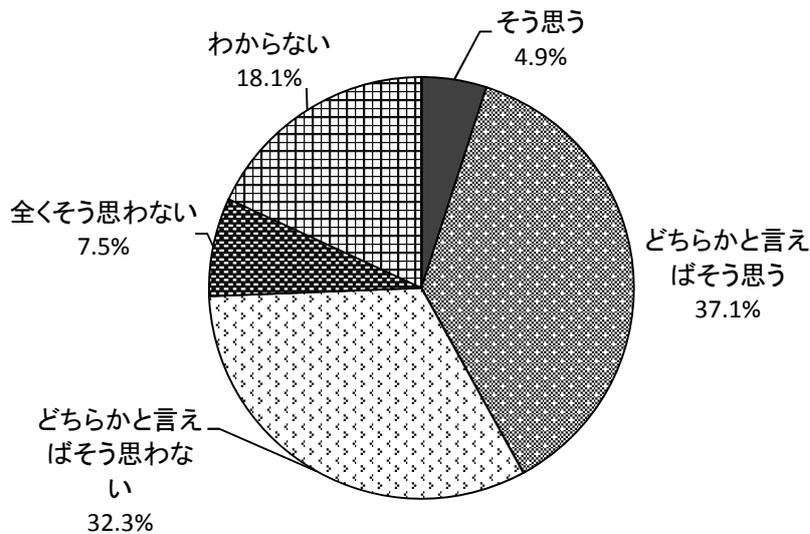
	得られている	どちらかと言えば得られている	あまり得られていない	全く得られていない	
					計1018人
上北条	17.5%	31.7%	47.6%	3.2%	63人
上井	11.7%	40.7%	45.7%	1.9%	162人
西郷	13.9%	48.6%	36.1%	1.4%	72人
上灘	15.8%	43.9%	39.5%	0.9%	114人
成徳	28.6%	28.6%	37.1%	5.7%	70人
明倫	21.3%	41.3%	36.3%	1.3%	80人
灘手	8.7%	39.1%	47.8%	4.3%	23人
社	18.3%	44.0%	33.9%	3.7%	109人
北谷	13.8%	31.0%	51.7%	3.4%	29人
高城	15.9%	47.7%	31.8%	4.5%	44人
小鴨	18.3%	39.7%	38.9%	3.2%	126人
上小鴨	11.4%	48.6%	37.1%	2.9%	35人
関金	12.1%	47.3%	34.1%	6.6%	91人

問2 2① あなたのお住まいの地域では、いつどこで起きるかわからない、災害に備えた防災体制が整っていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は42.0%（昨年36.5%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は39.8%（昨年43.8%）という結果になっています。



[性別]

災害に備えた防災体制が整っていると答えた人は、男性が42.7%、女性が41.8%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	わからない	
男	4.3%	38.4%	34.3%	7.9%	15.0%	計1059人 466人
女	5.4%	36.4%	30.4%	7.1%	20.7%	593人

[年代別]

災害に備えた防災体制が整っていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では48.3%となっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	わからない	
20～29	1.5%	22.1%	35.3%	5.9%	35.3%	計1068人 68人
30～39	3.8%	28.8%	35.6%	11.5%	20.2%	104人
40～49	2.2%	32.6%	35.6%	6.7%	23.0%	135人
50～59	4.0%	39.0%	33.5%	7.0%	16.5%	200人
60～64	4.7%	41.9%	26.4%	10.1%	17.1%	129人
65～69	2.5%	44.7%	35.4%	5.6%	11.8%	161人
70～	9.6%	38.7%	28.8%	7.0%	15.9%	271人

【地区別】

災害に備えた防災体制が整っていると答えた人は、いずれの地区も30～50%台という結果になっています。

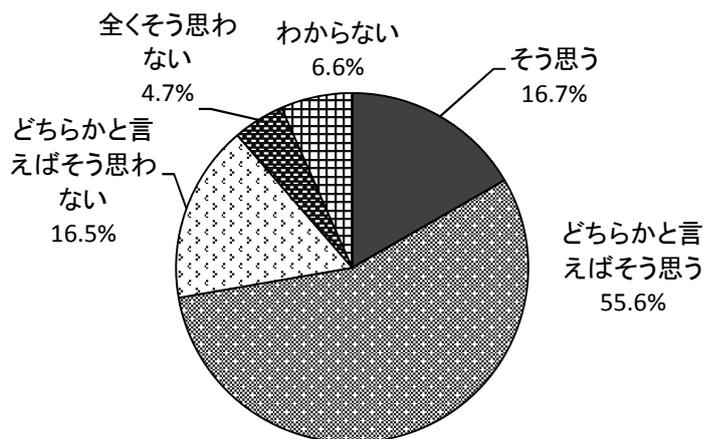
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
上北条	6.3%	36.5%	33.3%	9.5%	14.3%	計1026人 63人
上井	6.2%	27.8%	37.0%	9.3%	19.8%	162人
西郷	1.3%	29.9%	41.6%	6.5%	20.8%	77人
上灘	3.5%	45.6%	25.4%	2.6%	22.8%	114人
成徳	4.3%	27.1%	44.3%	11.4%	12.9%	70人
明倫	5.0%	50.0%	23.8%	7.5%	13.8%	80人
灘手	0.0%	43.5%	34.8%	13.0%	8.7%	23人
社	8.3%	34.3%	26.9%	8.3%	22.2%	108人
北谷	3.4%	48.3%	31.0%	6.9%	10.3%	29人
高城	9.3%	32.6%	39.5%	2.3%	16.3%	43人
小鴨	4.5%	38.3%	33.1%	6.8%	17.3%	133人
上小鴨	2.9%	31.4%	40.0%	5.7%	20.0%	35人
関金	3.4%	44.9%	21.3%	9.0%	21.3%	89人

問2 2② あなたのお住まいの地域では、犯罪の危険を感じることなく、安全・安心に暮らせていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は72.3%（昨年68.1%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は21.2%（昨年25.7%）という結果になっています。



【性別】

安全・安心に暮らせていると思うと答えた人は、男性が72.2%、女性が72.3%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
男	19.1%	53.1%	15.9%	6.2%	5.7%	計1067人 471人
女	15.1%	57.2%	16.8%	3.5%	7.4%	596人

[年代別]

安全・安心に暮らしていると思うと答えた人は、いずれの年代も60～70%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
20～29	23.5%	44.1%	16.2%	7.4%	8.8%	計1076人 68人
30～39	17.1%	52.4%	21.9%	1.9%	6.7%	105人
40～49	7.4%	62.5%	19.1%	5.9%	5.1%	136人
50～59	17.0%	57.0%	13.5%	6.0%	6.5%	200人
60～64	14.7%	63.6%	10.9%	3.9%	7.0%	129人
65～69	13.6%	59.9%	15.4%	5.6%	5.6%	162人
70～	21.7%	48.9%	18.5%	3.6%	7.2%	276人

[地区別]

安全・安心に暮らしていると思うと答えた人は、いずれの地区も60～80%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
上北条	15.9%	54.0%	19.0%	4.8%	6.3%	計1033人 63人
上井	14.6%	57.9%	17.7%	4.3%	5.5%	162人
西郷	7.8%	64.9%	18.2%	5.2%	3.9%	77人
上灘	15.5%	50.0%	21.6%	3.4%	9.5%	116人
成徳	16.9%	53.5%	14.1%	9.9%	5.6%	71人
明倫	21.0%	53.1%	14.8%	3.7%	7.4%	81人
灘手	13.0%	69.6%	0.0%	8.7%	8.7%	23人
社	17.6%	55.6%	15.7%	2.8%	8.3%	108人
北谷	31.0%	48.3%	17.2%	0.0%	3.4%	29人
高城	15.9%	56.8%	15.9%	0.0%	11.4%	44人
小鴨	12.9%	58.3%	18.9%	4.5%	5.3%	132人
上小鴨	11.4%	57.1%	17.1%	5.7%	8.6%	35人
関金	22.8%	50.0%	10.9%	10.9%	5.4%	92人

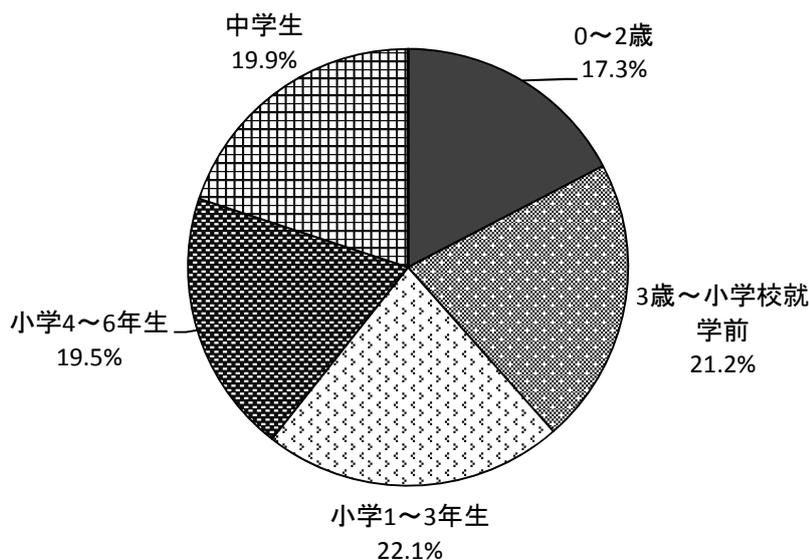
## (2) 子育てについて

問23 お子さんの年齢について伺います。すべてのお子さんについて該当の番号に○印をつけてください。

1. 0～2歳
2. 3歳～小学校就学前
3. 小学1～3年生
4. 小学4～6年生
5. 中学生

[全体]

お子さんがいると回答した人のお子さんの年齢構成は、いずれも大きな差は見られませんでした。

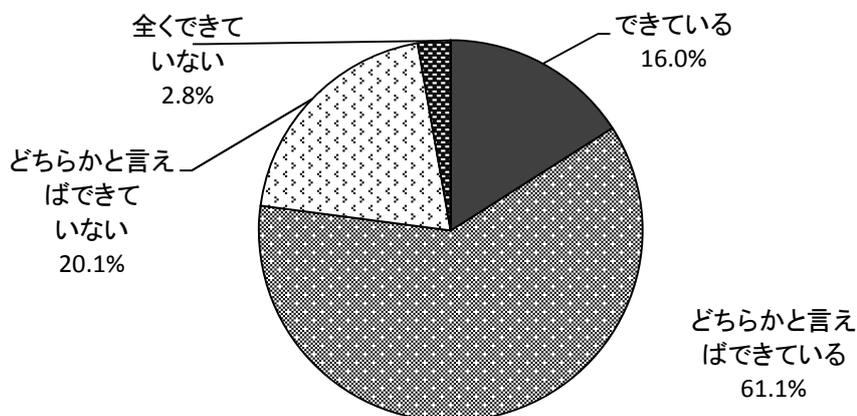


問24 あなたの世帯では、子育てと仕事がうまく両立できていますか。

1. できている
2. どちらかと言えばできている
3. どちらかと言えばできていない
4. 全くできていない

[全体]

「1. できている」「2. どちらかと言えばできている」と答えた人は77.1%（昨年72.9%）で、「3. どちらかと言えばできていない」「4. 全くできていない」と答えた人は22.9%（昨年27.1%）という結果になっています。



【性別】

子育てと仕事がうまく両立できていると答えた人は、男性が78.4%、女性が76.9%と男女間に差は見られませんでした。

	できている	どちらかと言えばできている	どちらかと言えばできていない	全くできていない	
					計143人
男	13.8%	64.6%	18.5%	3.1%	65人
女	17.9%	59.0%	20.5%	2.6%	78人

【年代別】

子育てと仕事がうまく両立できていると答えた人は、20歳代が90.9%であるのに対し、30歳代が65.3%という結果になっています。

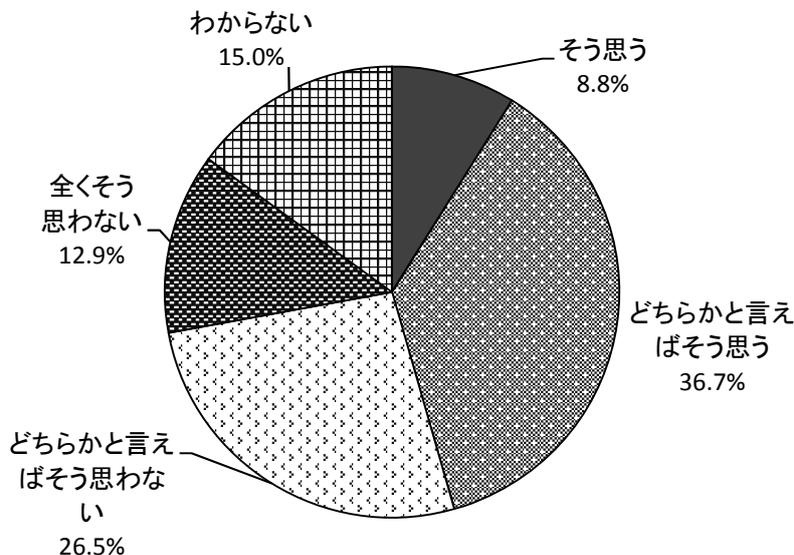
	できている	どちらかと言えばできている	どちらかと言えばできていない	全くできていない	
					計144人
20~29	27.3%	63.6%	0.0%	9.1%	11人
30~39	14.3%	51.0%	34.7%	0.0%	49人
40~49	17.7%	66.1%	12.9%	3.2%	62人
50~59	10.5%	68.4%	15.8%	5.3%	19人
60~64	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	3人
65~69	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人
70~	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人

問25 倉吉市は、子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は45.5%（昨年39.6%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は39.4%（昨年49.3%）という結果になっています。



【性別】

子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると答えた人は、男性が47.7%、女性が44.5%と男女間に差は見られませんでした。

	できている	どちらかと言えば できている	どちらかと言えば できていない	できていない	わからない	
						計146人
男	7.7%	40.0%	23.1%	15.4%	13.8%	65人
女	9.9%	34.6%	29.6%	11.1%	14.8%	81人

【年代別】

子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると答えた人は、多くの年代で30~40%台であるのに対し、40歳代は56.3%という結果になっています。

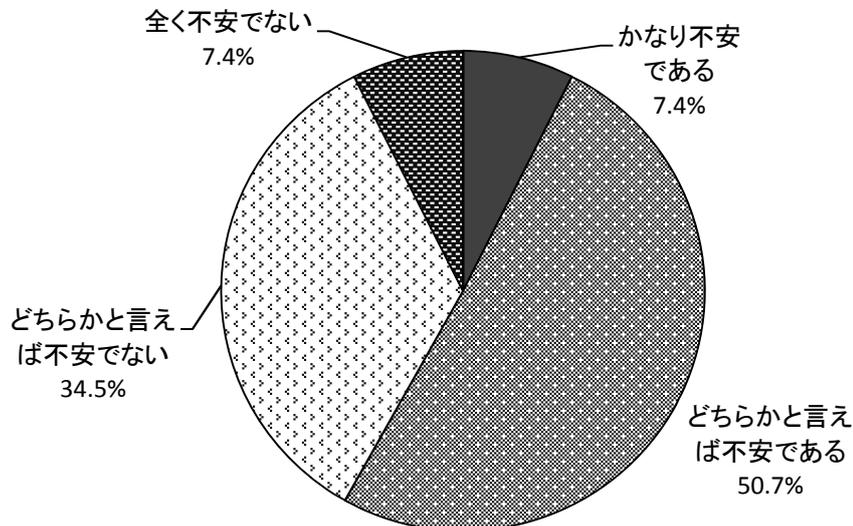
	できている	どちらかと言えば できている	どちらかと言えば できていない	できていない	わからない	
						計147人
20~29	0.0%	45.5%	18.2%	9.1%	27.3%	11人
30~39	10.0%	26.0%	28.0%	22.0%	14.0%	50人
40~49	12.5%	43.8%	23.4%	7.8%	12.5%	64人
50~59	0.0%	36.8%	31.6%	10.5%	21.1%	19人
60~64	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	3人
65~69	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人
70~	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人

問26 あなたは、子育てに不安を感じていますか。

1. かなり不安である
2. どちらかと言えば不安である
3. どちらかと言えば不安でない
4. 全く不安でない

【全体】

「1. かなり不安である」「2. どちらかと言えば不安である」と答えた人は58.1%（昨年60.8%）で、「3. どちらかと言えば不安でない」「4. 全く不安でない」と答えた人は41.9%（昨年39.3%）という結果になっています。



〔性別〕

子育てに不安を感じていると答えた人は、男性が61.6%、女性が54.9%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	かなり不安である	どちらかと言えば不安である	どちらかと言えば不安でない	全く不安でない	
男	6.2%	55.4%	32.3%	6.2%	計147人 65人
女	7.3%	47.6%	36.6%	8.5%	82人

〔年代別〕

子育てに不安を感じていると答えた人は、30歳代が72.0%であるのに対し、20歳代が45.5%という結果になっています。

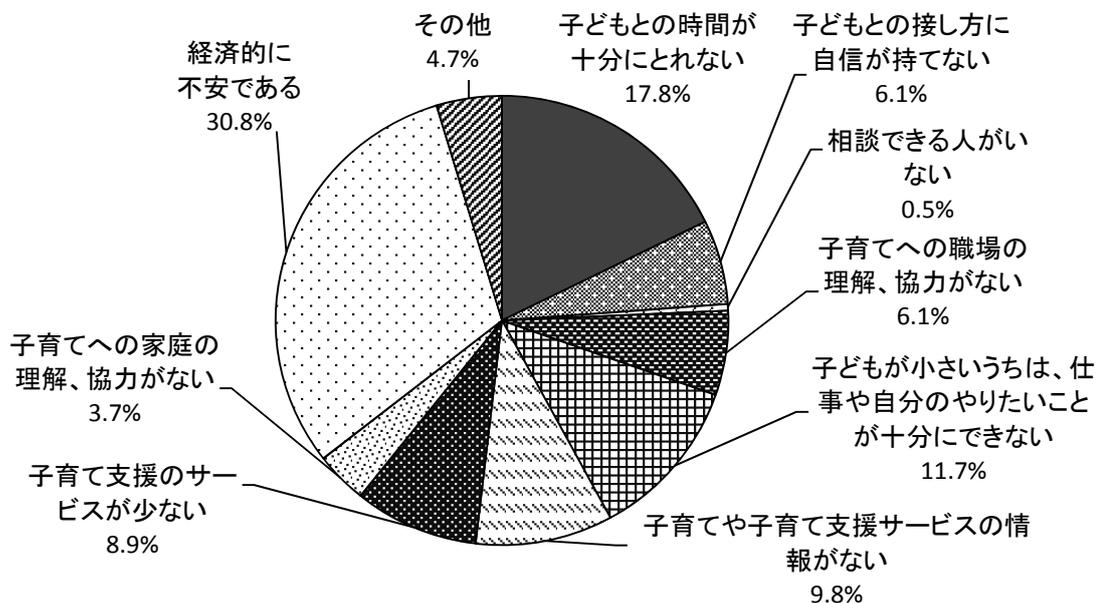
	かなり不安である	どちらかと言えば不安である	どちらかと言えば不安でない	全く不安でない	
20～29	9.1%	36.4%	45.5%	9.1%	計148人 11人
30～39	10.0%	62.0%	26.0%	2.0%	50人
40～49	6.3%	43.8%	37.5%	12.5%	64人
50～59	5.0%	50.0%	40.0%	5.0%	20人
60～64	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	3人
65～69	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人
70～	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人

問27 問26で「1. かなり不安である」「2. どちらかと言えば不安である」とお答えの方にお伺いします。あなたが感じている不安の内容はどのようなものですか。（複数回答可）

1. 子どもとの時間が十分にとれない
2. 子どもとの接し方に自信がもてない
3. 相談できる人がいない
4. 子育てへの職場の理解、協力がない
5. 子どもが小さいうちは、仕事や自分のやりたいことが十分にできない
6. 子育てや子育て支援サービスの情報が少ない
7. 子育て支援のサービスが少ない
8. 子育てへの家庭の理解、協力がない
9. 経済的に不安である
10. その他

〔全体〕

子育てに対する不安の内容としては、「経済的に不安である」が30.8%（昨年24.9%）、「子どもとの時間を十分にとれない」が17.8%（昨年16.3%）という結果になっています。



【性別】

子育てに対する不安の内容は、男女共に「経済的に不安である」「子どもとの時間を十分にとれない」が高くなっており、「子育てへの職場の理解、協力が無い」「仕事や自分のやりたいことが十分にできない」「子育てへの家庭の理解、協力が無い」が男性と比べ女性の方が高く、「相談出来る人がいない」「子育て支援のサービスが少ない」が女性と比べ男性の方が高い結果となっています。

	子どもとの時間を十分にとれない	子どもとの接し方に自信がもてない	相談出来る人がいない	子育てへの職場の理解、協力が無い	子どもが小さいうち、仕事や自分のやりたいことが十分にできない	子育てや子育て支援サービスの情報が少ない	子育て支援のサービスが少ない	子育てへの家庭の理解、協力が無い	経済的に不安である	その他
男	18.5%	5.4%	1.1%	3.3%	6.5%	12.0%	12.0%	2.2%	35.9%	3.3%
女	17.4%	6.6%	0.0%	8.3%	15.7%	8.3%	6.6%	5.0%	26.4%	5.8%

【年代別】

子育てに対する不安の内容は、ほとんどの年代で「経済的に不安である」「子どもとの時間を十分にとれない」が高い結果となっています。

	子どもとの時間を十分にとれない	子どもとの接し方に自信がもてない	相談出来る人がいない	子育てへの職場の理解、協力が無い	子どもが小さいうち、仕事や自分のやりたいことが十分にできない	子育てや子育て支援サービスの情報が少ない	子育て支援のサービスが少ない	子育てへの家庭の理解、協力が無い	経済的に不安である	その他
20～29	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	20.0%	20.0%	6.7%	20.0%	6.7%
30～39	21.1%	8.4%	0.0%	5.3%	13.7%	7.4%	5.3%	6.3%	29.5%	3.2%
40～49	15.1%	6.8%	0.0%	5.5%	12.3%	11.0%	9.6%	0.0%	34.2%	5.5%
50～59	16.0%	0.0%	4.0%	12.0%	8.0%	8.0%	12.0%	0.0%	36.0%	4.0%
60～64	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
65～69	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70～	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

～ その他に子育てに不安を感じていると答えた人の意見 ～

- ・子供の将来、仕事があるのか。
- ・公園等、近所の子供が遊べる場所がない。
- ・自分たち夫婦で子育てしたい。「助けてあげる」が窮屈。
- ・産前、産後のサポート
- ・核家族のため、病後保育的な施設が欲しい。障がい児を育てていく不安。
- ・孫であるが学童の通学路が良くない。
- ・学校の教育姿勢
- ・子育て中の親に合う仕事がない。

### (3) 地域におけるくらしや人権について

問28 あなたは、倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を知っていますか。

例) <国指定文化財>

【重要文化財】長谷寺本堂内厨子、木造阿弥陀如来坐像、伯耆国分寺古墳出土品、木造地藏菩薩半跏像

【重要伝統的建造物群】倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区

【重要民俗文化財】倉吉の鋳物師（斎江家）用具及び製品

【史跡】伯耆国府跡、伯耆国分寺跡、大御堂廃寺跡、三明寺古墳

【天然記念物】波波伎神社社叢

<国登録有形文化財>

協同組合倉吉大店会、小川酒造、旧高田酒造、旧倉吉町水源地、豊田家住宅、清水川・小鴨川堰堤、市庁舎

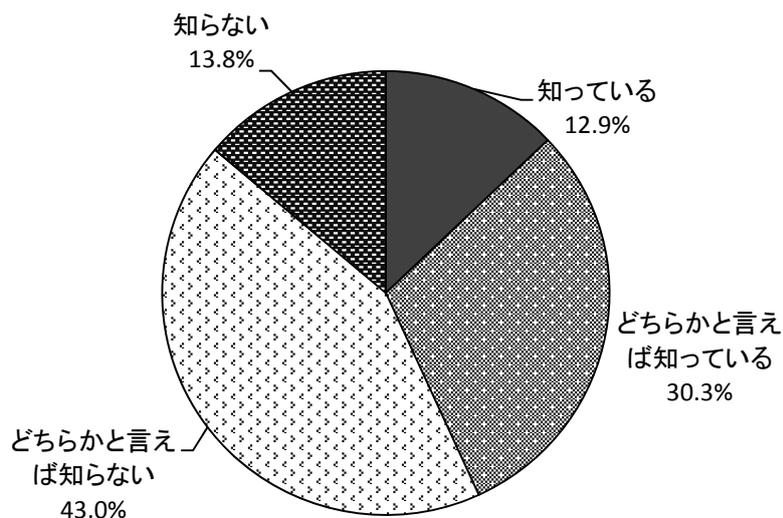
<県指定文化財>

【無形民俗文化財】さいとりさし、倉吉緋／【有形民俗文化財】長谷寺の絵馬群

1. 知っている
2. どちらかと言えば知っている
3. どちらかと言えば知らない
4. 知らない

[全体]

「1. 知っている」「2. どちらかと言えば知っている」と答えた人は43.2%（昨年46.6%）で、「3. どちらかと言えば知らない」「4. 知らない」と答えた人は56.8%（昨年53.4%）という結果になっています。



[年代別]

倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を知っていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では64.2%という結果になっています。

	知っている	どちらかと言えば知っている	どちらかと言えば知らない	知らない	
20～29	11.9%	3.0%	38.8%	46.3%	計1059人 67人
30～39	3.8%	18.3%	54.8%	23.1%	104人
40～49	5.2%	29.9%	46.3%	18.7%	134人
50～59	6.6%	27.8%	56.1%	9.6%	198人
60～64	11.0%	29.9%	45.7%	13.4%	127人
65～69	13.7%	39.1%	39.8%	7.5%	161人
70～	25.0%	39.2%	28.7%	7.1%	268人

[地区別]

倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を知っていると答えた人は、多くの地区で30～50%台であるのに対し、灘手地区は60.9%と高く、上北条地区では25.8%という結果になっています。

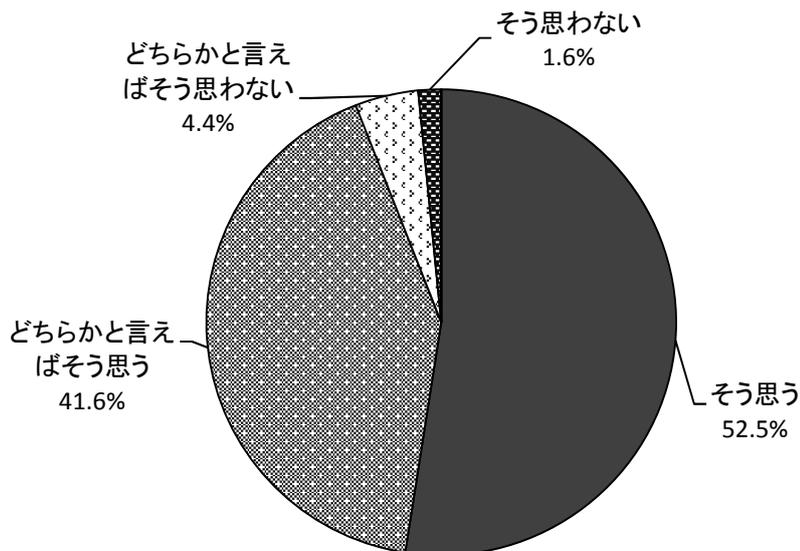
	知っている	どちらかと言えば知っている	どちらかと言えば知らない	知らない	計1016人
上北条	3.2%	22.6%	64.5%	9.7%	62人
上井	9.3%	26.5%	41.4%	22.8%	162人
西郷	16.9%	22.1%	48.1%	13.0%	77人
上灘	9.6%	29.8%	50.0%	10.5%	114人
成徳	33.3%	25.0%	29.2%	12.5%	72人
明倫	10.4%	44.2%	41.6%	3.9%	77人
灘手	17.4%	43.5%	30.4%	8.7%	23人
社	14.2%	34.9%	40.6%	10.4%	106人
北谷	7.1%	21.4%	60.7%	10.7%	28人
高城	4.5%	52.3%	31.8%	11.4%	44人
小鴨	13.1%	26.2%	41.5%	19.2%	130人
上小鴨	14.3%	31.4%	37.1%	17.1%	35人
関金	11.6%	31.4%	44.2%	12.8%	86人

問29 あなたは、倉吉市の歴史的文化遺産や伝統文化を大切にしたいと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は94.1%（昨年92.8%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は6.0%（昨年7.2%）という結果になっています。



[年代別]

倉吉市の歴史的文化遺産や伝統文化を大切にしたいと答えた人は、いずれの年代も85%以上という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
20～29	37.3%	49.3%	9.0%	4.5%	計1074人 67人
30～39	41.9%	51.4%	4.8%	1.9%	105人
40～49	34.3%	53.7%	8.2%	3.7%	134人
50～59	55.6%	39.4%	4.0%	1.0%	198人
60～64	49.6%	46.5%	2.3%	1.6%	129人
65～69	50.9%	43.6%	4.9%	0.6%	163人
70～	68.3%	28.8%	2.2%	0.7%	278人

[地区別]

倉吉市の歴史的文化遺産や伝統文化を大切にしたいと答えた人は、いずれの地区も85%以上という結果になっています。

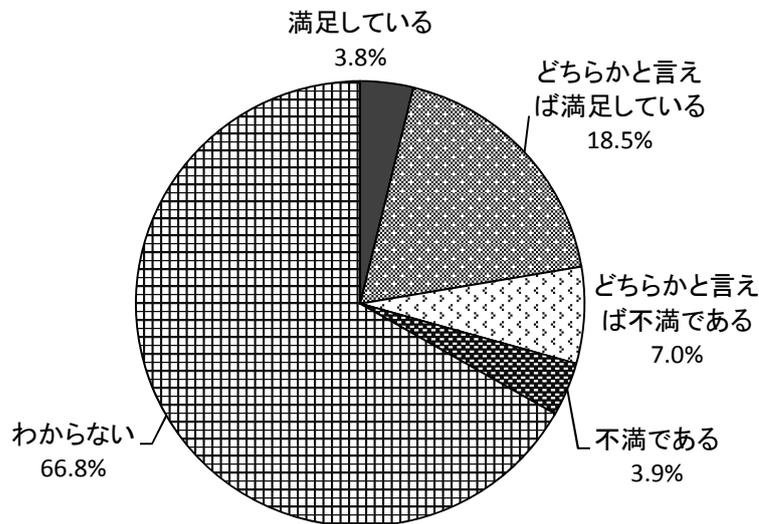
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
上北条	47.6%	46.0%	6.3%	0.0%	計1031人 62人
上井	44.5%	46.3%	6.1%	3.0%	164人
西郷	55.3%	32.9%	9.2%	2.6%	76人
上灘	49.1%	44.8%	5.2%	0.9%	116人
成徳	59.7%	34.7%	4.2%	1.4%	72人
明倫	58.8%	38.8%	2.5%	0.0%	80人
灘手	58.3%	37.5%	4.2%	0.0%	24人
社	61.7%	36.4%	0.0%	1.9%	107人
北谷	44.8%	51.7%	0.0%	3.4%	29人
高城	47.7%	50.0%	2.3%	0.0%	44人
小鴨	48.9%	42.1%	7.5%	1.5%	133人
上小鴨	51.4%	48.6%	0.0%	0.0%	35人
関金	50.6%	42.7%	3.4%	3.4%	89人

問30 あなたは、倉吉市が行っている国際交流や地域間交流の取組について、どう思いますか。

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば不満である
4. 不満である
5. わからない

[全体]

「1. 満足している」「2. どちらかと言えば満足している」と答えた人は22.3%（昨年20.8%）で、「3. どちらかと言えば不満である」「4. 不満である」と答えた人は10.9%（昨年11.1%）という結果になっています。



[性別]

国際交流や地域間交流の取組について満足していると答えた人は、男女とも22.4%と男女間に差は見られませんでした。

	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	わからない	
男	2.8%	19.6%	9.8%	6.2%	61.6%	計1058人 469人
女	4.6%	17.8%	4.6%	2.2%	70.8%	589人

[年代別]

国際交流や地域間交流の取組について満足していると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上は32.6%であるのに対し、20歳代は13.4%という結果になっています。

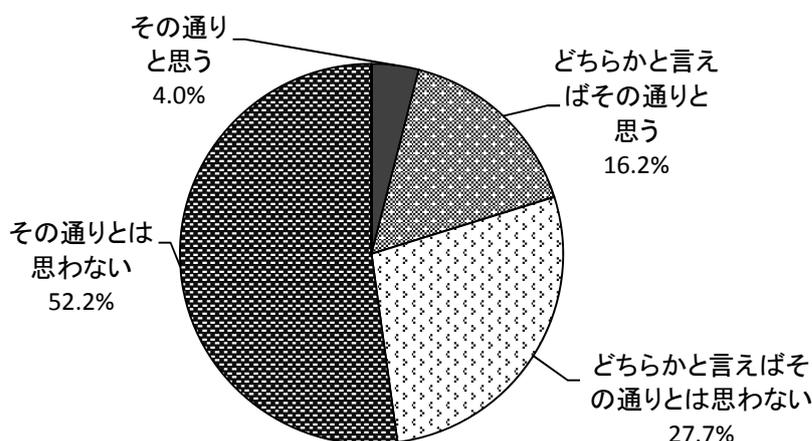
	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	わからない	
20～29	3.0%	10.4%	4.5%	10.4%	71.6%	計1069人 67人
30～39	1.9%	15.2%	3.8%	6.7%	72.4%	105人
40～49	3.0%	14.9%	4.5%	5.2%	72.4%	134人
50～59	4.5%	13.6%	8.6%	3.5%	69.7%	198人
60～64	3.9%	15.5%	9.3%	3.9%	67.4%	129人
65～69	3.1%	19.6%	9.2%	2.5%	65.6%	163人
70～	5.1%	27.5%	6.6%	1.8%	59.0%	273人

問31 あなたは、男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであるという考え方をどのように思いますか。

1. その通りと思う
2. どちらかと言えばその通りと思う
3. どちらかと言えばその通りとは思わない
4. その通りとは思わない

[全体]

「3. どちらかと言えばその通りとは思わない」「4. その通りとは思わない」と答えた人は79.9%（昨年80.1%）で、「1. その通りと思う」「2. どちらかと言えばその通りと思う」と答えた人は20.2%（昨年19.9%）という結果になっています。



〔性別〕

男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであると思わないと答えた人は、男性が77.7%、女性が81.9%と男女間に差は見られませんでした。

	その通りと思う	どちらかと言えばその通りと思う	どちらかと言えばその通りとは思わない	その通りとは思わない	
					計1065人
男	4.1%	18.2%	31.7%	46.0%	467人
女	3.8%	14.2%	24.7%	57.2%	598人

〔年代別〕

男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであると思わないと答えた人は、いずれの年代も70～80%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	その通りと思う	どちらかと言えばその通りと思う	どちらかと言えばその通りとは思わない	その通りとは思わない	
					計1076人
20～29	7.5%	14.9%	11.9%	65.7%	67人
30～39	4.8%	9.5%	27.6%	58.1%	105人
40～49	4.5%	11.9%	28.4%	55.2%	134人
50～59	2.0%	13.6%	19.2%	65.2%	198人
60～64	2.3%	10.9%	30.2%	56.6%	129人
65～69	3.7%	17.8%	36.2%	42.3%	163人
70～	4.6%	24.6%	31.1%	39.6%	280人

〔地区別〕

男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであると思わないと答えた人は、いずれの地区も70～90%台と大きなバラつきは見られませんでした。

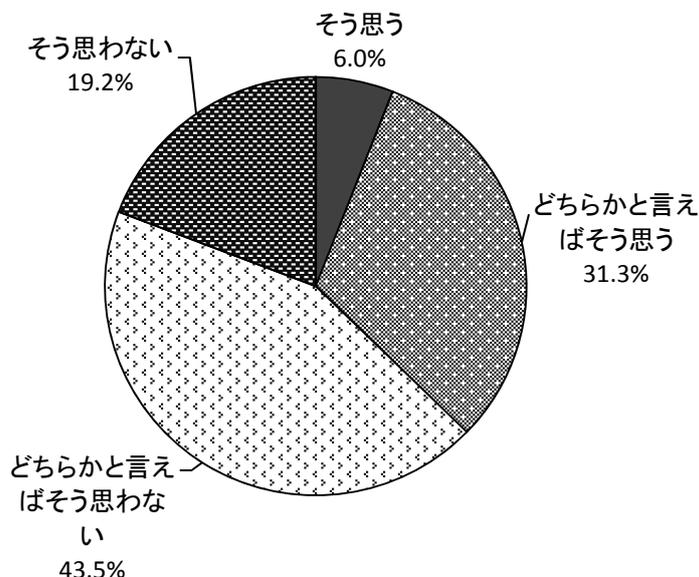
	その通りと思う	どちらかと言えばその通りと思う	どちらかと言えばその通りとは思わない	その通りとは思わない	
					計1033人
上北条	6.3%	14.3%	27.0%	52.4%	63人
上井	3.7%	23.2%	28.0%	45.1%	164人
西郷	3.9%	14.5%	25.0%	56.6%	76人
上灘	3.4%	13.8%	25.9%	56.9%	116人
成徳	5.6%	16.7%	40.3%	37.5%	72人
明倫	1.3%	18.8%	15.0%	65.0%	80人
灘手	4.2%	16.7%	25.0%	54.2%	24人
社	1.9%	14.8%	31.5%	51.9%	108人
北谷	10.0%	0.0%	30.0%	60.0%	30人
高城	0.0%	15.9%	29.5%	54.5%	44人
小鴨	3.8%	12.8%	34.6%	48.9%	133人
上小鴨	2.9%	20.0%	25.7%	51.4%	35人
関金	4.5%	13.6%	25.0%	56.8%	88人

問32 あなたの身の回りでは、社会における男女の機会均等がはかられていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は37.3%（昨年43.8%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は62.7%（昨年56.2%）という結果になっています。



[性別]

身の回りの社会における男女の機会均等がはかられていると答えた人は、男性が44.6%であるのに対し、女性が31.8%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
					計1043人
男	8.0%	36.6%	36.0%	19.4%	464人
女	4.5%	27.3%	48.7%	19.5%	579人

[年代別]

身の回りの社会における男女の機会均等がはかられていると答えた人は、いずれの年代も30~40%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
					計1053人
20~29	10.4%	32.8%	40.3%	16.4%	67人
30~39	1.9%	29.5%	41.0%	27.6%	105人
40~49	2.2%	34.3%	41.0%	22.4%	134人
50~59	6.6%	24.4%	50.8%	18.3%	197人
60~64	6.4%	25.6%	45.6%	22.4%	125人
65~69	5.0%	36.0%	40.4%	18.6%	161人
70~	8.0%	35.6%	42.4%	14.0%	264人

[地区別]

身の回りの社会における男女の機会均等がはかられていると答えた人は、多くの地区が30～40%台であるのに対し、灘手地区は50.0%という結果になっています。

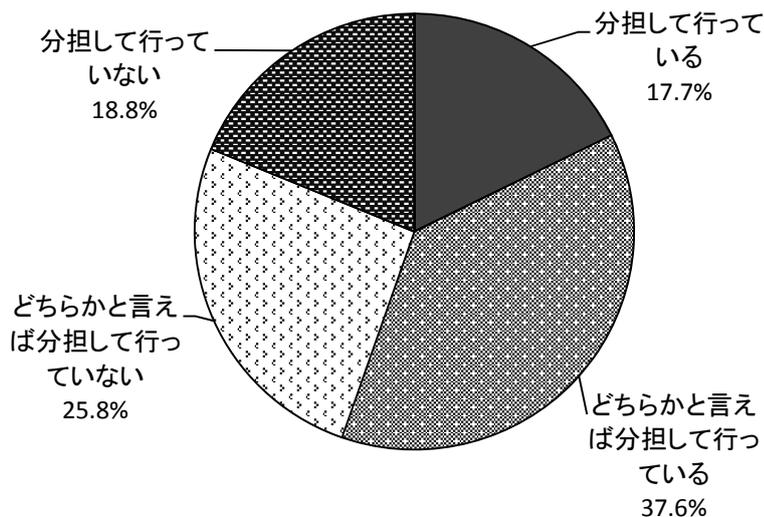
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	計1012人
上北条	4.8%	30.6%	38.7%	25.8%	62人
上井	5.7%	34.0%	42.1%	18.2%	159人
西郷	2.6%	32.9%	43.4%	21.1%	76人
上灘	4.3%	35.7%	39.1%	20.9%	115人
成徳	10.0%	27.1%	47.1%	15.7%	70人
明倫	10.5%	31.6%	38.2%	19.7%	76人
灘手	4.2%	45.8%	29.2%	20.8%	24人
社	6.5%	29.0%	48.6%	15.9%	107人
北谷	3.3%	40.0%	40.0%	16.7%	30人
高城	4.7%	32.6%	48.8%	14.0%	43人
小鴨	9.3%	21.7%	51.9%	17.1%	129人
上小鴨	5.9%	35.3%	44.1%	14.7%	34人
関金	2.3%	29.9%	41.4%	26.4%	87人

問33 あなたの家庭では、男女の区別なく家事、子育て、介護を分担して行っていますか。

1. 分担して行っている
2. どちらかと言えば分担して行っている
3. どちらかと言えば分担して行っていない
4. 分担して行っていない

[全体]

「1. 分担して行っている」「2. どちらかと言えば分担して行っている」と答えた人は55.3%（昨年55.4%）で、「3. どちらかと言えば分担して行っていない」「4. 分担して行っていない」と答えた人は44.6%（昨年44.6%）という結果になっています。



〔性別〕

男女の区別なく家事など分担して行っていると答えた人は、男性が58.0%、女性が53.6%と男女間に差は見られませんでした。

	分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っていない	分担して 行っていない	
男	18.7%	39.3%	25.7%	16.3%	計995人 443人
女	17.0%	36.6%	25.2%	21.2%	552人

〔年代別〕

男女の区別なく家事など分担して行っていると答えた人は、いずれの年代も50~60%と大きなバラつきは見られませんでした。

	分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っていない	分担して 行っていない	
20~29	20.9%	40.3%	22.4%	16.4%	計1007人 67人
30~39	24.0%	33.7%	24.0%	18.3%	104人
40~49	15.5%	40.3%	26.4%	17.8%	129人
50~59	19.8%	32.8%	26.0%	21.4%	192人
60~64	14.4%	42.4%	26.3%	16.9%	118人
65~69	13.3%	40.0%	24.7%	22.0%	150人
70~	18.2%	37.2%	27.5%	17.0%	247人

〔地区別〕

男女の区別なく家事など分担して行っていると答えた人は、多くの地区が50~60%台であるのに対し、北谷地区が31.0%という結果になっています。

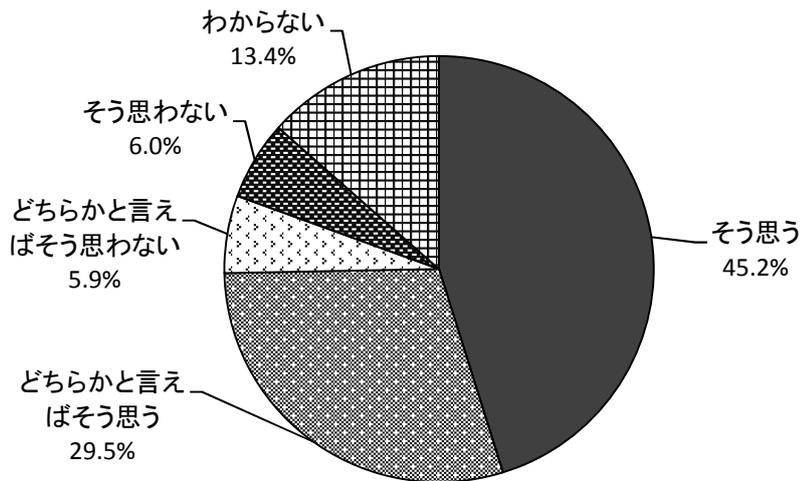
	分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っていない	分担して 行っていない	
上北条	16.1%	35.5%	25.8%	22.6%	計965人 62人
上井	19.6%	37.3%	23.5%	19.6%	153人
西郷	14.1%	45.1%	23.9%	16.9%	71人
上灘	22.5%	36.9%	22.5%	18.0%	111人
成徳	18.8%	32.8%	32.8%	15.6%	64人
明倫	23.2%	39.1%	24.6%	13.0%	69人
灘手	21.7%	39.1%	17.4%	21.7%	23人
社	15.7%	42.2%	25.5%	16.7%	102人
北谷	6.9%	24.1%	24.1%	44.8%	29人
高城	15.0%	35.0%	37.5%	12.5%	40人
小鴨	15.6%	39.8%	25.0%	19.5%	128人
上小鴨	22.6%	19.4%	48.4%	9.7%	31人
関金	11.0%	41.5%	24.4%	23.2%	82人

問34 国や地方自治体では、障がいのある人も共に生活するための環境づくりを進めています  
が、あなたは、障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は74.7%（昨年77.6%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は11.9%（昨年11.3%）という結果になっています。



[性別]

障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思うと答えた人は、男性が72.7%、女性が76.2%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	43.1%	29.6%	5.6%	8.8%	12.9%	計1056人 466人
女	46.9%	29.3%	6.1%	3.9%	13.7%	590人

[年代別]

障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思うと答えた人は、50歳代が80.3%であるのに対し、20歳代が61.2%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	37.3%	23.9%	4.5%	10.4%	23.9%	計1067人 67人
30～39	43.8%	28.6%	3.8%	6.7%	17.1%	105人
40～49	42.5%	29.9%	7.5%	5.2%	14.9%	134人
50～59	48.5%	31.8%	5.1%	4.5%	10.1%	198人
60～64	51.2%	28.3%	5.5%	3.9%	11.0%	127人
65～69	47.5%	30.9%	6.8%	6.2%	8.6%	162人
70～	42.0%	29.6%	6.6%	6.9%	15.0%	274人

[地区別]

障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思うと答えた人は、いずれの地区も60～80%台と大きなバラつきは見られませんでした。

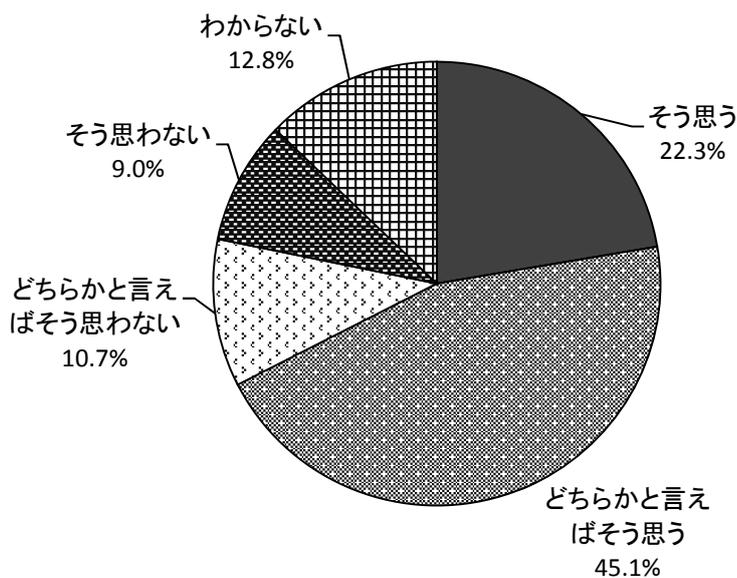
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	48.4%	30.6%	1.6%	4.8%	14.5%	計1025人 62人
上井	51.2%	29.6%	3.7%	5.6%	9.9%	162人
西郷	46.8%	35.1%	5.2%	6.5%	6.5%	77人
上灘	42.1%	25.4%	12.3%	3.5%	16.7%	114人
成徳	40.8%	38.0%	4.2%	7.0%	9.9%	71人
明倫	47.4%	26.9%	3.8%	5.1%	16.7%	78人
灘手	43.5%	21.7%	8.7%	8.7%	17.4%	23人
社	39.4%	29.4%	6.4%	8.3%	16.5%	109人
北谷	60.0%	23.3%	0.0%	3.3%	13.3%	30人
高城	40.9%	36.4%	9.1%	2.3%	11.4%	44人
小鴨	45.9%	24.1%	9.0%	7.5%	13.5%	133人
上小鴨	48.6%	40.0%	0.0%	5.7%	5.7%	35人
関金	43.7%	31.0%	5.7%	4.6%	14.9%	87人

問35 あなたは、普段からご自身や家族の人権が適切に守られていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は67.4%（昨年67.5%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は19.7%（昨年19.2%）という結果になっています。



【性別】

ご自身や家族の人権が適切に守られていると思うと答えた人は、男性が71.5%、女性が64.5%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	23.2%	48.3%	9.7%	9.2%	9.7%	計1054人 466人
女	21.3%	43.2%	11.4%	8.8%	15.3%	588人

【年代別】

ご自身や家族の人権が適切に守られていると思うと答えた人は、いずれの年代も50~70%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20~29	25.4%	34.3%	7.5%	11.9%	20.9%	計1066人 67人
30~39	17.1%	41.0%	9.5%	14.3%	18.1%	105人
40~49	13.4%	53.7%	9.0%	7.5%	16.4%	134人
50~59	16.6%	52.3%	9.5%	11.1%	10.6%	199人
60~64	19.5%	48.4%	11.7%	7.8%	12.5%	128人
65~69	28.2%	44.2%	11.7%	7.4%	8.6%	163人
70~	30.0%	39.6%	12.6%	6.7%	11.1%	270人

【地区別】

ご自身や家族の人権が適切に守られていると思うと答えた人は、いずれの地区も60~70%台と大きなバラつきは見られませんでした。

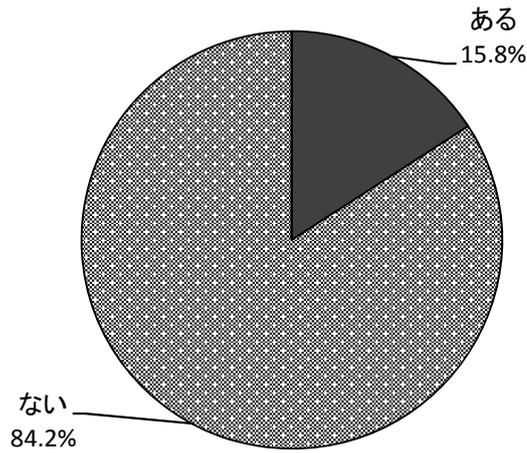
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	14.5%	50.0%	9.7%	9.7%	16.1%	計1023人 62人
上井	22.4%	46.6%	5.0%	10.6%	15.5%	161人
西郷	18.2%	54.5%	14.3%	5.2%	7.8%	77人
上灘	19.3%	43.0%	12.3%	10.5%	14.9%	114人
成徳	31.4%	40.0%	8.6%	10.0%	10.0%	70人
明倫	23.4%	41.6%	11.7%	9.1%	14.3%	77人
灘手	25.0%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%	24人
社	25.0%	44.4%	7.4%	5.6%	17.6%	108人
北谷	33.3%	36.7%	6.7%	13.3%	10.0%	30人
高城	15.9%	45.5%	15.9%	11.4%	11.4%	44人
小鴨	21.2%	42.4%	17.4%	7.6%	11.4%	132人
上小鴨	22.9%	40.0%	11.4%	8.6%	17.1%	35人
関金	21.3%	46.1%	10.1%	11.2%	11.2%	89人

問36 あなたは、過去1年間に身の回りで、ご自身の人権が侵害されたと思ったことはありますか。

1. ある
2. ない

【全体】

「1. ある」と答えた人は15.8%（昨年19.1%）で、「2. ない」と答えた人は84.2%（昨年80.9%）という結果になっています。



〔性別〕

過去1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあると答えた人は、男性が14.8%、女性が16.7%と男女間に差は見られませんでした。

	ある	ない	
			計1059人
男	14.8%	85.2%	466人
女	16.7%	83.3%	593人

〔年代別〕

過去1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあると答えた人は、どの年代も10%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	ある	ない	
			計1070人
20～29	16.4%	83.6%	67人
30～39	17.5%	82.5%	103人
40～49	19.4%	80.6%	134人
50～59	19.1%	80.9%	199人
60～64	12.5%	87.5%	128人
65～69	16.0%	84.0%	163人
70～	12.3%	87.7%	276人

〔地区別〕

過去1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあると答えた人は、多くの地区で8～20%台前半であるのに対し、北谷地区は30.0%という結果になっています。

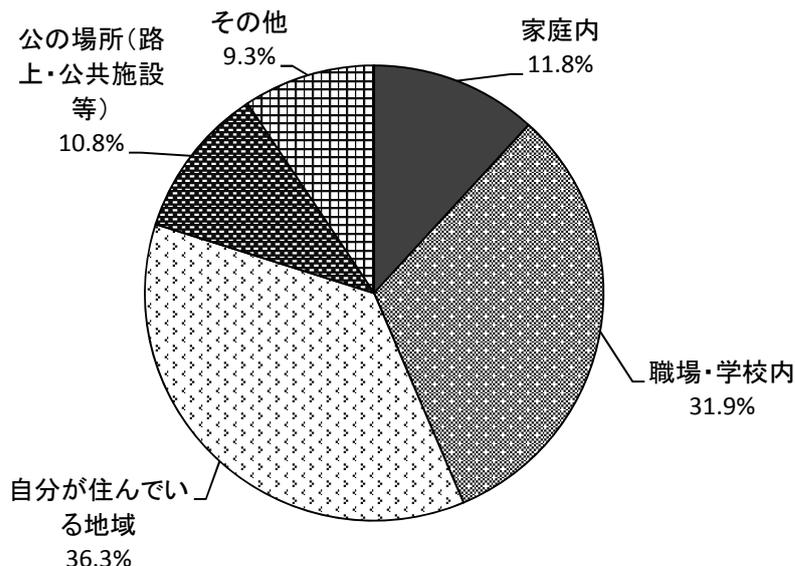
	ある	ない	
			計1029人
上北条	14.3%	85.7%	63人
上井	16.7%	83.3%	162人
西郷	13.0%	87.0%	77人
上灘	10.3%	89.7%	116人
成徳	15.5%	84.5%	71人
明倫	21.5%	78.5%	79人
灘手	8.3%	91.7%	24人
社	10.2%	89.8%	108人
北谷	30.0%	70.0%	30人
高城	22.7%	77.3%	44人
小鴨	22.9%	77.1%	131人
上小鴨	8.6%	91.4%	35人
関金	14.6%	85.4%	89人

問37 問36で「1.ある」という方にお伺いします。どこであなたが人権侵害を受けたと思ったことがおきましたか。差し支えなければお聞かせください。（複数回答可）

1. 家庭内
2. 職場・学校内
3. 自分が住んでいる地域
4. 公の場所（路上、公共施設等）
5. その他

〔全体〕

人権侵害を受けたと思った場所については、「自分が住んでいる地域」が36.3%（昨年40.5%）、「職場・学校内」が31.9%（昨年28.8%）という結果になっています。



〔性別〕

人権侵害を受けたと思った場所については、男性は「職場・学校内」と答えた人が女性より高く、女性は「家庭内」「自分が住んでいる地域」と答えた人が男性より高いという結果になっています。

	家庭内	職場・学校内	自分が住んでいる地域	公の場所（路上・公共施設等）	その他	
男	9.8%	35.4%	34.1%	11.0%	9.8%	計161人 66人
女	13.3%	29.2%	37.5%	10.8%	9.2%	95人

〔年代別〕

人権侵害を受けたと思った場所については、60歳代前半以下は「職場・学校内」が多く、60歳代後半以上は「自分の住んでいる地域」が多いという結果になっています。

	家庭内	職場・学校内	自分が住んでいる地域	公の場所（路上・公共施設等）	その他	
20～29	12.5%	75.0%	0.0%	12.5%	0.0%	計162人 8人
30～39	14.3%	42.9%	25.0%	10.7%	7.1%	18人
40～49	8.6%	48.6%	22.9%	11.4%	8.6%	26人
50～59	13.5%	40.4%	28.8%	7.7%	9.6%	38人
60～64	5.9%	41.2%	35.3%	11.8%	5.9%	14人
65～69	10.7%	3.6%	64.3%	10.7%	10.7%	26人
70～	14.7%	2.9%	58.8%	11.8%	11.8%	32人

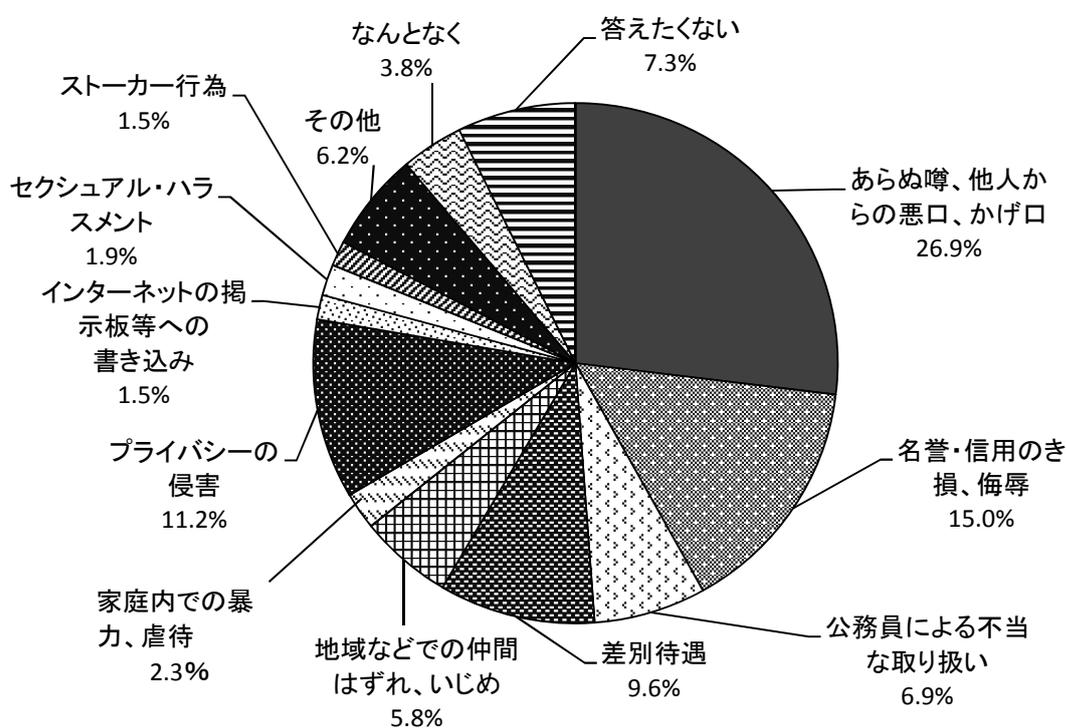
～ その他に人権侵害を受けた場所について ～  
・インターネット上

問38 引き続き問36で「1.ある」という方にお伺いします。それはどのような場合ですか。差し支えなければお聞かせください。

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口                          | 2. 名誉・信用のき損、侮辱        |
| 3. 公務員（国・自治体等の職員、警察官、教員等）による不当な取り扱い          |                       |
| 4. 差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分により不平等・不利益な取り扱いをされること） |                       |
| 5. 地域などで仲間はずれ、いじめ                            | 6. 家庭内での暴力、虐待         |
| 7. プライバシーの侵害                                 | 8. インターネットの掲示板等への書き込み |
| 9. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）                    |                       |
| 10. ストーカー行為                                  | 11. その他               |
| 12. なんとなく                                    | 13. 答えたくない            |

[全体]

人権侵害を受けた内容については、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が26.9%（昨年24.5%）、「名誉・信用のき損、侮辱」が15.0%（昨年18.2%）という結果となっています。



【性別】

人権侵害を受けた内容については、男性は女性に比べて「名誉・信用のき損、侮辱」「公務員による不当な取り扱い」と答えた割合が高く、女性は男性に比べて「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」「家庭内での暴力」と答えた割合が高いという結果になっています。

	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員による不当な取り扱い	差別待遇	地域などでの仲間はずれ、いじめ	家庭内での暴力、虐待	プライバシーの侵害
男	20.8%	21.7%	9.4%	10.4%	4.7%	0.9%	13.2%
女	30.9%	10.5%	5.3%	9.2%	6.6%	3.3%	9.9%

	インターネットの掲示板等への書き込み	セクシュアル・ハラスメント	ストーカー行為	その他	なんとなく	答えたくない
男	3.8%	2.8%	0.9%	4.7%	2.8%	3.8%
女	0.0%	1.3%	2.0%	7.2%	4.6%	9.2%

【年代別】

人権侵害を受けた内容については、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」「名誉・信用のき損、侮辱」と答えた人がいずれの年代も多く、また20歳代で「インターネットの掲示板等への書き込み」、30歳代で「差別待遇」と答えた人は他の年代と比べ若干高いという結果になっています。

	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員による不当な取り扱い	差別待遇	地域などでの仲間はずれ、いじめ	家庭内での暴力、虐待	プライバシーの侵害
20～29	14.3%	14.3%	21.4%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%
30～39	19.4%	19.4%	8.3%	16.7%	5.6%	5.6%	13.9%
40～49	25.5%	15.7%	7.8%	9.8%	3.9%	0.0%	11.8%
50～59	30.5%	11.9%	5.1%	10.2%	6.8%	3.4%	11.9%
60～64	28.6%	14.3%	9.5%	9.5%	9.5%	0.0%	4.8%
65～69	24.3%	21.6%	5.4%	2.7%	2.7%	2.7%	10.8%
70～	36.6%	9.8%	2.4%	7.3%	7.3%	0.0%	14.6%

	インターネットの掲示板等への書き込み	セクシュアル・ハラスメント	ストーカー行為	その他	なんとなく	答えたくない
20～29	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
30～39	0.0%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	0.0%
40～49	2.0%	2.0%	5.9%	7.8%	2.0%	5.9%
50～59	3.4%	1.7%	0.0%	10.2%	1.7%	3.4%
60～64	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	14.3%
65～69	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	5.4%	16.2%
70～	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	12.2%

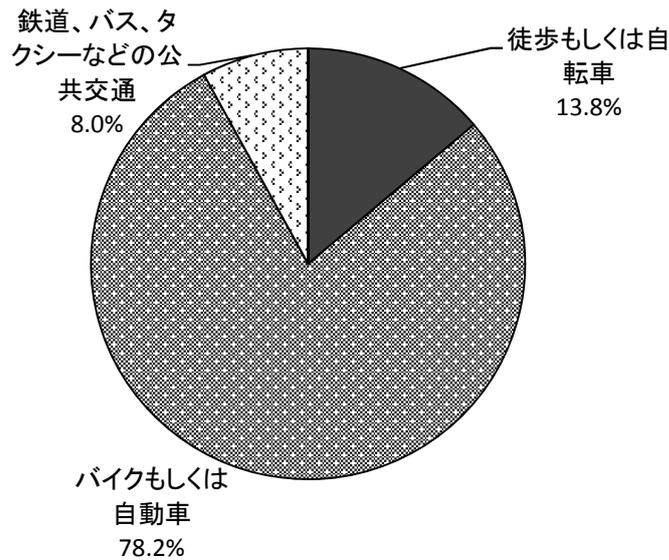
#### (4) あなたの生活環境について

問39 あなたの主な移動手段は何ですか。

1. 徒歩もしくは自転車
2. バイクもしくは自動車
3. 鉄道、バス、タクシーなどの公共交通

[全体]

「2. バイクもしくは自動車」と答えた人は78.2%（昨年79.2%）、「1. 徒歩もしくは自転車」と答えた人は13.8%（昨年13.4%）、「3. 鉄道、バス、タクシーなどの公共交通」と答えた人は8.0%（昨年7.4%）という結果になっています。



[性別]

主な移動手段の内容については、女性は男性に比べて「徒歩もしくは自転車」、「鉄道、バス、タクシーなどの公共交通」と答えた人の割合が高いという結果になっています。

	徒歩もしくは自転車	バイクもしくは自動車	鉄道、バス、タクシーなどの公共交通	
				計1042人
男	10.9%	85.4%	3.7%	459人
女	16.3%	72.6%	11.1%	583人

[年代別]

主な移動手段の内容については、「徒歩もしくは自転車」と答えた人は20～30歳代、65歳代後半以上で20%前後となっており、「バイクもしくは自動車」と答えた人は40～60歳代前半で90.0%前後となっています。また、「鉄道・バス、タクシーなどの公共交通」と答えた人は70歳以上で20.9%という結果になっています。

	徒歩もしくは自転車	バイクもしくは自動車	鉄道、バス、タクシーなどの公共交通	
				計1051人
20～29	17.9%	73.1%	9.0%	67人
30～39	14.1%	83.8%	2.0%	99人
40～49	7.5%	91.0%	1.5%	133人
50～59	8.1%	89.3%	2.5%	197人
60～64	7.4%	89.3%	3.3%	121人
65～69	16.1%	79.5%	4.3%	161人
70～	21.6%	57.5%	20.9%	273人

【地区別】

主な移動手段は、いずれの地区も「バイクもしくは自動車」と答えた人が最も多かったですが、成徳地区は他の地区に比べそう答えた人は少なく、「徒歩もしくは自転車」と答えた人が他の地区より多いという結果になっています。

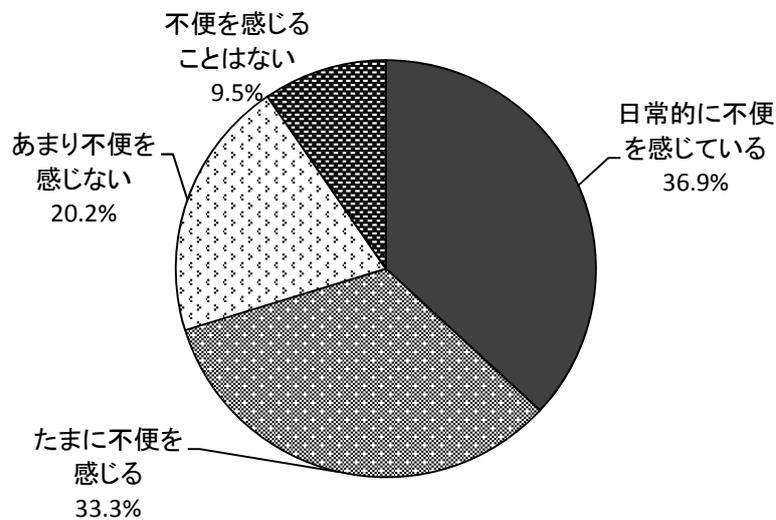
	徒歩もしくは自転車	バイクもしくは自動車	鉄道、バス、タクシーなどの公共交通	計1013人
上北条	7.8%	87.5%	4.7%	64人
上井	20.0%	73.8%	6.3%	160人
西郷	5.3%	90.8%	3.9%	76人
上灘	17.7%	76.1%	6.2%	113人
成徳	34.8%	58.0%	7.2%	69人
明倫	20.0%	69.3%	10.7%	75人
灘手	0.0%	91.3%	8.7%	23人
社	8.3%	86.1%	5.6%	108人
北谷	6.7%	86.7%	6.7%	30人
高城	4.8%	88.1%	7.1%	42人
小鴨	9.9%	78.6%	11.5%	131人
上小鴨	8.8%	82.4%	8.8%	34人
関金	9.1%	80.7%	10.2%	88人

問40 問39で、主に「3. 鉄道、バス、タクシーなどの公共交通」を移動手段としている方にお聞きします。日常的に市内の公共交通の便に不便を感じますか。

1. 日常的に不便を感じている
2. たまに不便を感じる
3. あまり不便を感じない
4. 不便を感じることはない

【全体】

移動手段に公共交通を利用している人のうち、「1. 日常的に不便を感じている」「2. たまに不便を感じる」と答えた人は70.2%（昨年82.5%）、「3. あまり不便を感じない」「4. 不便を感じることはない」と答えた人は29.7%（昨年17.5%）という結果になっています。



〔年代別〕

移動手段に公共交通を利用している人のうち、不便を感じていると答えた人は、いずれの年代でも50%以上という結果になっています。

	日常的に不便を感じている	たまに不便を感じる	あまり不便を感じない	不便を感じることはない	計83人
20～29	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	6人
30～39	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2人
40～49	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	2人
50～59	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5人
60～64	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	4人
65～69	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	7人
70～	33.3%	33.3%	24.6%	8.8%	57人

〔地区別〕

移動手段に公共交通を利用している人のうち、不便を感じていると答えた人は、多くの地区で60%以上とであるのに対し、高城・成徳地区では30～40%という結果になっています。

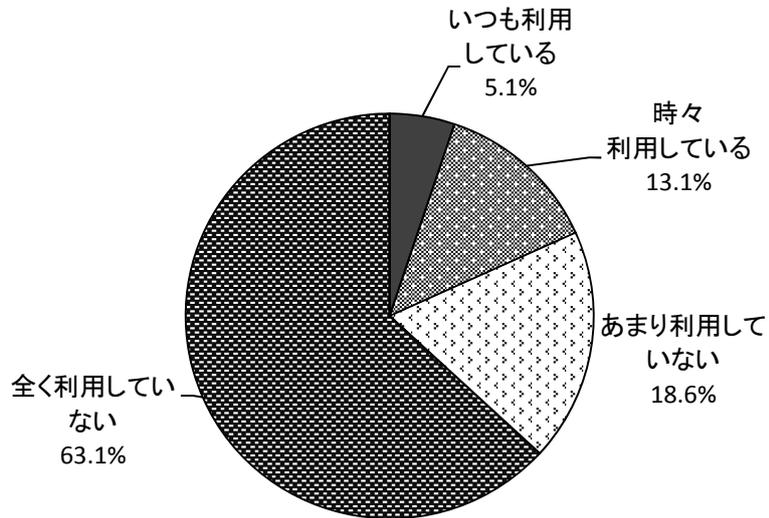
	日常的に不便を感じている	たまに不便を感じる	あまり不便を感じない	不便を感じることはない	計76人
上北条	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3人
上井	20.0%	50.0%	0.0%	30.0%	10人
西郷	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	3人
上灘	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	7人
成徳	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	5人
明倫	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	8人
灘手	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2人
社	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	6人
北谷	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2人
高城	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	3人
小鴨	26.7%	46.7%	26.7%	0.0%	15人
上小鴨	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	3人
関金	44.4%	22.2%	11.1%	22.2%	9人

問4 1 あなたは、過去1年間のうちに路線バスを利用したことがありますか。

1. いつも利用している
2. 時々利用している
3. あまり利用していない
4. 全く利用していない

〔全体〕

「1. いつも利用している」「2. 時々利用している」と答えた人は18.2%（昨年18.9%）、「3. あまり利用していない」「4. 全く利用していない」と答えた人は81.7%（昨年81.0%）という結果になっています。



[年代別]

過去1年間のうちに路線バスを利用したことがあると答えた人は、50歳代が8.1%であるのに対し、70歳以上が35.4%という結果になっています。

	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	計
20~29	5.9%	10.3%	10.3%	73.5%	68人
30~39	0.0%	9.9%	16.8%	73.3%	101人
40~49	2.2%	6.7%	20.0%	71.1%	135人
50~59	0.5%	7.6%	21.8%	70.1%	197人
60~64	2.5%	14.2%	15.8%	67.5%	120人
65~69	3.7%	11.7%	17.3%	67.3%	162人
70~	12.9%	22.5%	20.4%	44.3%	280人

[地区別]

過去1年間のうちに路線バスを利用したことがあると答えた人は、多くの地区で10~20%台であるのに対し、上北条地区は3.2%という結果になっています。

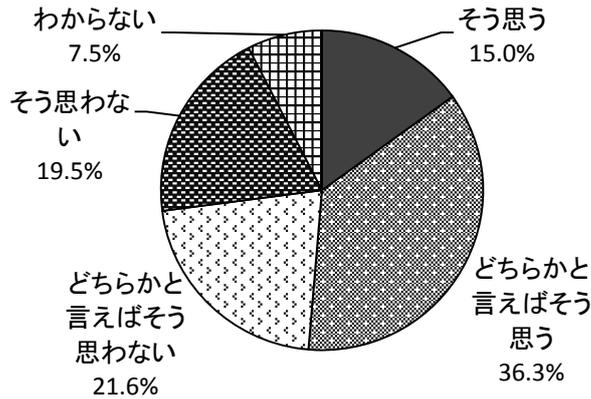
	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	計
上北条	0.0%	3.2%	4.8%	92.1%	63人
上井	5.5%	10.4%	19.0%	65.0%	163人
西郷	0.0%	10.7%	13.3%	76.0%	75人
上灘	6.1%	14.8%	20.0%	59.1%	115人
成徳	2.9%	25.7%	25.7%	45.7%	70人
明倫	10.4%	13.0%	27.3%	49.4%	77人
灘手	0.0%	13.0%	30.4%	56.5%	23人
社	3.7%	13.8%	15.6%	67.0%	109人
北谷	3.3%	6.7%	23.3%	66.7%	30人
高城	2.3%	23.3%	27.9%	46.5%	43人
小鴨	8.3%	12.8%	16.5%	62.4%	133人
上小鴨	6.3%	9.4%	18.8%	65.6%	32人
関金	6.6%	9.9%	16.5%	67.0%	91人

問4 2① あなたは、国道、県道など市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は51.3%（昨年55.0%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は41.1%（昨年35.6%）という結果になっています。



[年代別]

市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると感じた人は、多くの年代で40～50%台であるのに対し、60歳代前半は60.2%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	16.2%	30.9%	22.1%	23.5%	7.4%	計1044人
30～39	9.9%	31.7%	23.8%	29.7%	5.0%	68人
40～49	8.9%	43.7%	24.4%	19.3%	3.7%	101人
50～59	14.2%	38.1%	22.8%	19.8%	5.1%	135人
60～64	19.5%	40.7%	20.3%	17.1%	2.4%	197人
65～69	11.8%	35.4%	21.7%	24.2%	6.8%	123人
70～	20.1%	33.2%	19.3%	12.4%	15.1%	161人
						259人

[地区別]

市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると感じた人は、多くの地区で40～60%台という結果になっています。

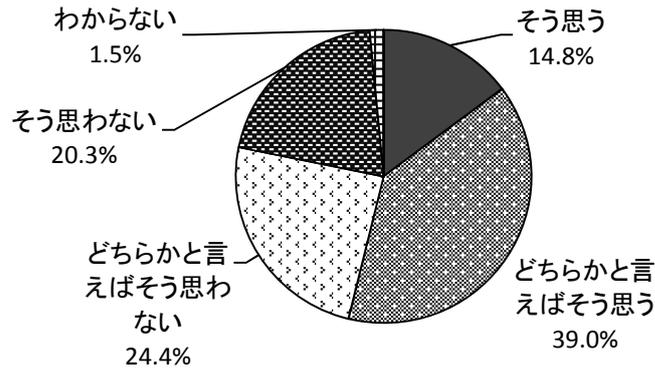
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	20.6%	30.2%	23.8%	17.5%	7.9%	計1005人
上井	16.4%	36.5%	18.2%	18.9%	10.1%	63人
西郷	9.2%	27.6%	34.2%	28.9%	0.0%	159人
上灘	12.4%	39.8%	19.5%	23.9%	4.4%	76人
成徳	11.8%	44.1%	16.2%	17.6%	10.3%	113人
明倫	17.1%	36.8%	23.7%	14.5%	7.9%	68人
灘手	13.0%	30.4%	26.1%	30.4%	0.0%	76人
社	15.9%	42.1%	18.7%	15.9%	7.5%	23人
北谷	6.7%	40.0%	20.0%	20.0%	13.3%	107人
高城	18.6%	44.2%	18.6%	9.3%	9.3%	30人
小鴨	15.0%	30.7%	30.7%	18.9%	4.7%	43人
上小鴨	11.8%	38.2%	23.5%	20.6%	5.9%	127人
関金	19.8%	33.7%	16.3%	18.6%	11.6%	34人
						86人

問4 2② あなたのお住まいの地域の生活道路は、通行しやすく、歩行しやすい道路となっていますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は53.8%（昨年56.9%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は44.7%（昨年41.1%）という結果になっています。



[年代別]

住んでいる地域の生活道路が通行しやすく歩行しやすいと答えた人は、多くの年代で40～50%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
						計1053人
20～29	13.2%	36.8%	20.6%	22.1%	7.4%	68人
30～39	12.9%	32.7%	22.8%	30.7%	1.0%	101人
40～49	9.6%	42.2%	25.2%	22.2%	0.7%	135人
50～59	9.7%	38.8%	30.1%	20.4%	1.0%	196人
60～64	15.2%	42.4%	24.0%	18.4%	0.0%	125人
65～69	14.3%	39.1%	23.6%	21.7%	1.2%	161人
70～	22.5%	39.3%	22.1%	14.2%	1.9%	267人

[地区別]

住んでいる地域の生活道路が通行しやすく歩行しやすいと答えた人は、多くの地区で40～50%台であるのに対し、北谷地区は66.7%と高く、西郷地区は34.2%と低い結果になっています。

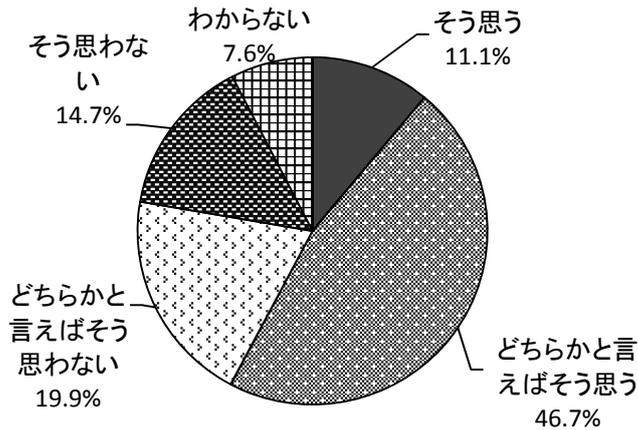
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
						計1013人
上北条	14.5%	30.6%	22.6%	27.4%	4.8%	62人
上井	17.4%	37.3%	24.8%	19.3%	1.2%	161人
西郷	6.6%	27.6%	32.9%	32.9%	0.0%	76人
上灘	14.0%	46.5%	19.3%	19.3%	0.9%	114人
成徳	19.1%	35.3%	20.6%	23.5%	1.5%	68人
明倫	13.3%	44.0%	22.7%	20.0%	0.0%	75人
灘手	17.4%	30.4%	26.1%	26.1%	0.0%	23人
社	18.7%	37.4%	23.4%	18.7%	1.9%	107人
北谷	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	30人
高城	7.0%	53.5%	27.9%	9.3%	2.3%	43人
小鴨	15.4%	36.2%	30.8%	15.4%	2.3%	130人
上小鴨	8.8%	50.0%	20.6%	20.6%	0.0%	34人
関金	15.6%	37.8%	23.3%	21.1%	2.2%	90人

問4 2③ あなたのお住まいの地域は、ゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は57.8%（昨年55.5%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は34.6%（昨年36.5%）という結果になっています。



[年代別]

住んでいる地域がゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思うと答えた人は、いずれの年代も40～60%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
						計1053人
20～29	10.3%	45.6%	17.6%	16.2%	10.3%	68人
30～39	11.9%	37.6%	23.8%	20.8%	5.9%	101人
40～49	7.4%	50.4%	22.2%	15.6%	4.4%	135人
50～59	12.2%	48.2%	20.8%	11.2%	7.6%	197人
60～64	8.8%	45.6%	20.0%	13.6%	12.0%	125人
65～69	7.5%	50.9%	19.3%	15.5%	6.8%	161人
70～	15.4%	45.5%	18.0%	13.5%	7.5%	266人

[地区別]

住んでいる地域がゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思うと答えた人は、多くの地区が40～60%台であるのに対し、灘手地区は73.9%という結果になっています。

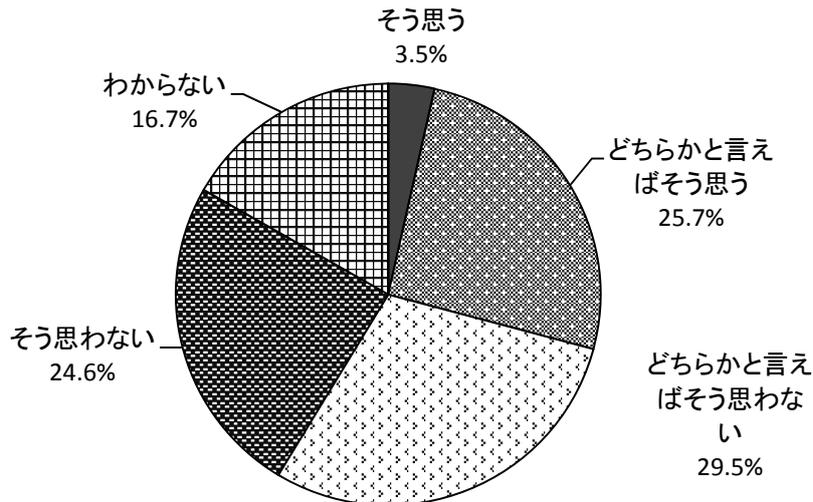
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
						計1011人
上北条	4.8%	51.6%	14.5%	21.0%	8.1%	62人
上井	13.6%	44.4%	14.8%	16.7%	10.5%	162人
西郷	3.9%	55.3%	25.0%	14.5%	1.3%	76人
上灘	13.2%	50.9%	14.0%	13.2%	8.8%	114人
成徳	9.0%	43.3%	23.9%	17.9%	6.0%	67人
明倫	9.2%	47.4%	13.2%	22.4%	7.9%	76人
灘手	13.0%	60.9%	17.4%	8.7%	0.0%	23人
社	7.5%	50.5%	27.1%	8.4%	6.5%	107人
北谷	6.7%	40.0%	20.0%	26.7%	6.7%	30人
高城	9.5%	35.7%	35.7%	11.9%	7.1%	42人
小鴨	12.4%	49.6%	19.4%	10.9%	7.8%	129人
上小鴨	14.7%	47.1%	11.8%	17.6%	8.8%	34人
関金	18.0%	33.7%	25.8%	12.4%	10.1%	89人

問4 2④ あなたは、倉吉市は市全体が、自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は29.2%（昨年26.6%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は54.1%（昨年57.7%）という結果になっています。



[年代別]

倉吉市は自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思うと答えた人は、いずれの年代も20～30%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	5.9%	26.5%	19.1%	30.9%	17.6%	計1048人 68人
30～39	4.0%	25.7%	31.7%	26.7%	11.9%	101人
40～49	1.5%	26.7%	33.3%	28.1%	10.4%	135人
50～59	2.5%	24.9%	31.0%	27.4%	14.2%	197人
60～64	4.0%	23.4%	31.5%	25.0%	16.1%	124人
65～69	3.1%	24.1%	28.4%	25.3%	19.1%	162人
70～	4.6%	28.0%	28.0%	17.2%	22.2%	261人

〔地区別〕

倉吉市は自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思うと答えた人は、いずれの地区も20～30%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	3.2%	27.0%	34.9%	20.6%	14.3%	計1007人 63人
上井	2.5%	31.9%	28.1%	20.6%	16.9%	160人
西郷	3.9%	26.3%	26.3%	32.9%	10.5%	76人
上灘	1.8%	25.9%	26.8%	25.9%	19.6%	112人
成徳	9.0%	20.9%	25.4%	23.9%	20.9%	67人
明倫	1.3%	20.0%	36.0%	24.0%	18.7%	75人
灘手	4.3%	17.4%	30.4%	30.4%	17.4%	23人
社	2.8%	28.0%	29.9%	20.6%	18.7%	107人
北谷	6.7%	30.0%	16.7%	23.3%	23.3%	30人
高城	0.0%	31.0%	23.8%	21.4%	23.8%	42人
小鴨	5.4%	26.2%	35.4%	22.3%	10.8%	130人
上小鴨	2.9%	35.3%	20.6%	29.4%	11.8%	34人
関金	4.5%	19.3%	26.1%	34.1%	15.9%	88人

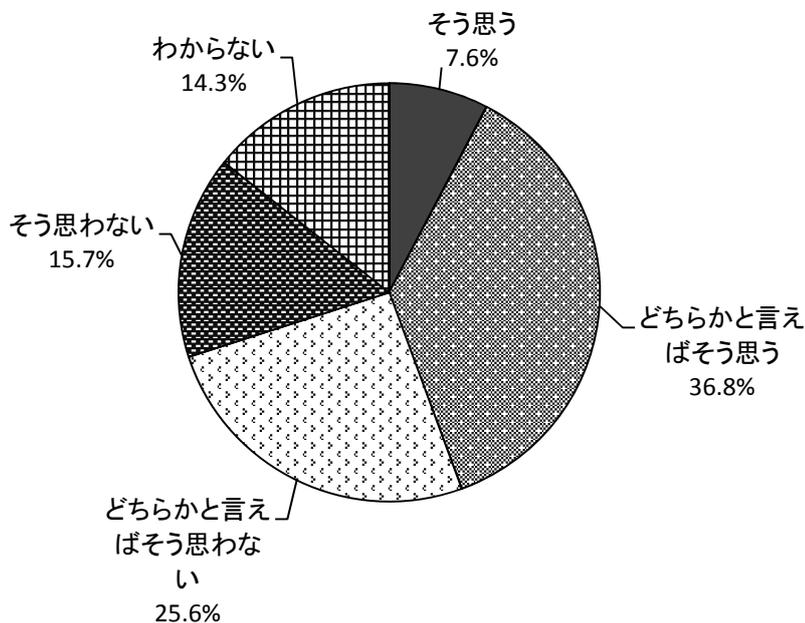
問4 2 ⑤ あなたのお住まいの地域は、市街地の景観や街並みが優れていると思いますか。

〔優れた景観の定義の例〕・歴史があり、都市と自然との調和を象徴している・様々な表情を人に感じさせる（四季の変化など）・そのまちを象徴するものである（シンボル）・住民が愛着心を持っている（いつまでも残しておきたいと認識している）・小説や映画などに活用されたことがある・他に例がないほどの希少価値がある・日常では体験できないことが体験できる など

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は44.4%（昨年43.4%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は41.3%（昨年44.1%）という結果になっています。



〔年代別〕

住んでいる地域の市街地の景観や街並みが優れていると思うと答えた人は、いずれの年代でも30～50%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	10.4%	43.3%	20.9%	9.0%	16.4%	計1043人 67人
30～39	7.8%	36.3%	23.5%	18.6%	13.7%	102人
40～49	5.9%	36.3%	27.4%	17.8%	12.6%	135人
50～59	6.6%	38.1%	32.5%	13.2%	9.6%	197人
60～64	4.0%	33.9%	29.8%	13.7%	18.5%	124人
65～69	8.1%	32.9%	26.1%	19.3%	13.7%	161人
70～	9.7%	38.9%	18.7%	16.0%	16.7%	257人

〔地区別〕

住んでいる地域の市街地の景観や街並みが優れていると思うと答えた人は、多くの地区で30～50%台であるのに対し、成徳地区は60.3%という結果になっています。

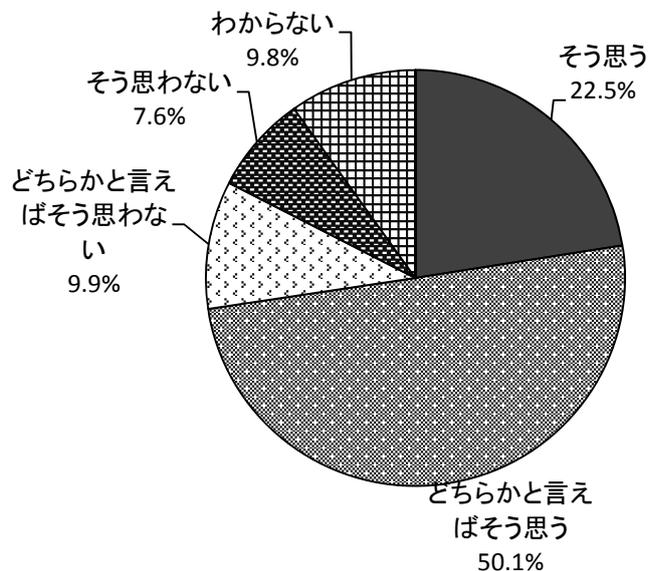
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	8.1%	41.9%	22.6%	14.5%	12.9%	計1004人 62人
上井	5.0%	31.3%	26.3%	20.6%	16.9%	160人
西郷	5.3%	35.5%	30.3%	19.7%	9.2%	76人
上灘	4.4%	45.1%	29.2%	10.6%	10.6%	113人
成徳	19.1%	41.2%	11.8%	17.6%	10.3%	68人
明倫	4.1%	45.2%	23.3%	13.7%	13.7%	73人
灘手	4.5%	31.8%	36.4%	13.6%	13.6%	22人
社	5.6%	41.7%	23.1%	13.9%	15.7%	108人
北谷	16.7%	16.7%	26.7%	23.3%	16.7%	30人
高城	4.8%	35.7%	31.0%	11.9%	16.7%	42人
小鴨	9.4%	38.3%	29.7%	12.5%	10.2%	128人
上小鴨	11.8%	38.2%	14.7%	17.6%	17.6%	34人
関金	10.2%	27.3%	22.7%	15.9%	23.9%	88人

問43 あなたの住まいの地域では、水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は72.6%（昨年68.7%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は17.5%（昨年21.6%）という結果になっています。



【年代別】

住んでいる地域が水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思うと答えた人は、多くの年代で70%前後でしたが、40歳代では80.0%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
						計1061人
20～29	30.9%	38.2%	11.8%	2.9%	16.2%	68人
30～39	24.0%	51.0%	9.0%	8.0%	8.0%	100人
40～49	22.2%	57.8%	6.7%	6.7%	6.7%	135人
50～59	16.2%	56.3%	7.6%	8.1%	11.7%	197人
60～64	19.2%	45.6%	12.0%	9.6%	13.6%	125人
65～69	19.3%	50.3%	13.0%	11.2%	6.2%	161人
70～	27.3%	47.3%	10.2%	5.8%	9.5%	275人

【地区別】

住んでいる地域が水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思うと答えた人は、多くの地区で60～70%台でしたが、成徳地区は84.3%という結果になっています。

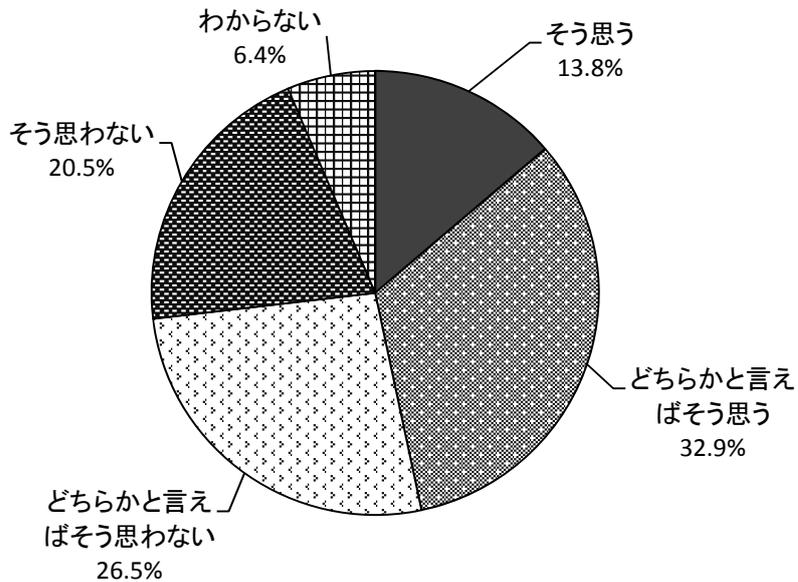
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
						計1021人
上北条	22.2%	50.8%	6.3%	7.9%	12.7%	63人
上井	17.3%	42.6%	13.6%	11.1%	15.4%	162人
西郷	21.1%	46.1%	15.8%	11.8%	5.3%	76人
上灘	18.4%	51.8%	11.4%	7.0%	11.4%	114人
成徳	25.7%	58.6%	1.4%	11.4%	2.9%	70人
明倫	20.8%	54.5%	6.5%	5.2%	13.0%	77人
灘手	26.1%	47.8%	13.0%	8.7%	4.3%	23人
社	23.6%	56.4%	4.5%	4.5%	10.9%	110人
北谷	36.7%	33.3%	16.7%	6.7%	6.7%	30人
高城	14.3%	61.9%	9.5%	2.4%	11.9%	42人
小鴨	19.4%	54.3%	12.4%	7.8%	6.2%	129人
上小鴨	29.4%	41.2%	17.6%	0.0%	11.8%	34人
関金	27.5%	51.6%	9.9%	4.4%	6.6%	91人

問4 4① あなたのお住まいの地域は、公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は46.7%（昨年44.5%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は47.0%（昨年51.1%）という結果になっています。



[年代別]

住んでいる地域に公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思うと答えた人は、多くの年代で40%～50%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	13.6%	33.3%	31.8%	12.1%	9.1%	計1063人 66人
30～39	15.2%	35.2%	25.7%	21.9%	1.9%	105人
40～49	10.4%	41.8%	23.9%	15.7%	8.2%	134人
50～59	9.6%	36.4%	23.2%	24.7%	6.1%	198人
60～64	10.4%	28.8%	29.6%	25.6%	5.6%	125人
65～69	14.2%	28.4%	27.2%	23.5%	6.8%	162人
70～	19.0%	30.0%	27.1%	16.8%	7.0%	273人

【地区別】

住んでいる地域に公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思うと答えた人は、地区ごとにバラつきがあり、上灘地区が66.4%と最も高く、灘手地区は12.5%と最も低いという結果になっています。

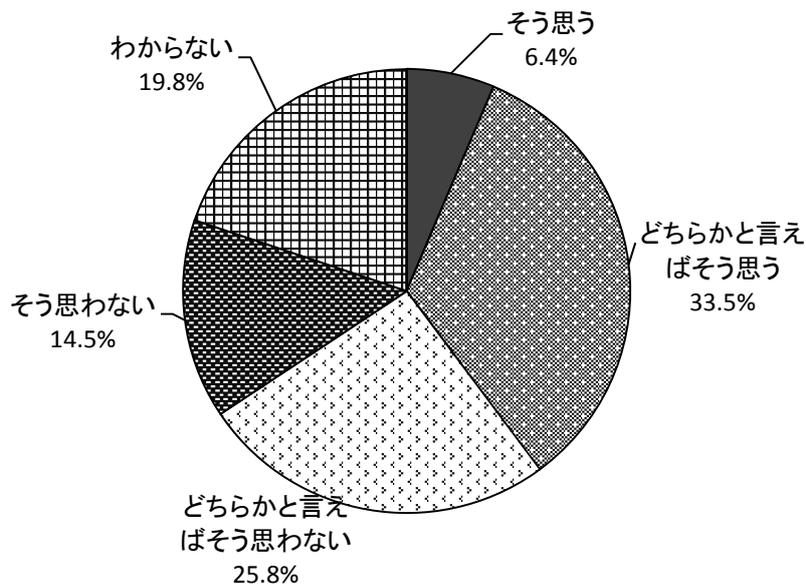
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	計1023人
上北条	12.5%	34.4%	25.0%	20.3%	7.8%	64人
上井	16.8%	41.6%	19.9%	14.9%	6.8%	161人
西郷	7.8%	15.6%	28.6%	40.3%	7.8%	77人
上灘	17.7%	48.7%	19.5%	9.7%	4.4%	113人
成徳	21.1%	42.3%	18.3%	14.1%	4.2%	71人
明倫	10.1%	27.8%	34.2%	20.3%	7.6%	79人
灘手	0.0%	12.5%	45.8%	37.5%	4.2%	24人
社	13.9%	38.9%	23.1%	19.4%	4.6%	108人
北谷	17.9%	10.7%	17.9%	39.3%	14.3%	28人
高城	4.8%	31.0%	23.8%	33.3%	7.1%	42人
小鴨	12.1%	23.5%	40.9%	18.2%	5.3%	132人
上小鴨	11.8%	23.5%	35.3%	14.7%	14.7%	34人
関金	14.4%	32.2%	23.3%	25.6%	4.4%	90人

問4 4② 倉吉市では、景観の保全や緑化の推進を行っていますが、それらの取組が進んでいると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は39.9%（昨年37.7%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は40.3%（昨年44.0%）という結果になっています。



[年代別]

倉吉市で景観の保全や緑化の推進の取組が進んでいると答えた人は、いずれの年代も30～40%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	4.6%	33.8%	21.5%	12.3%	27.7%	計1050人 65人
30～39	4.9%	34.0%	26.2%	12.6%	22.3%	103人
40～49	5.3%	40.5%	24.4%	15.3%	14.5%	131人
50～59	4.6%	32.1%	29.6%	15.3%	18.4%	196人
60～64	4.9%	30.1%	27.6%	14.6%	22.8%	123人
65～69	5.7%	31.0%	26.6%	15.2%	21.5%	158人
70～	9.9%	34.3%	23.7%	14.2%	17.9%	274人

[地区別]

倉吉市で景観の保全や緑化の推進の取組が進んでいると答えた人は、多くの地区で20～40%台であるのに対し、成徳地区は54.3%という結果になっています。

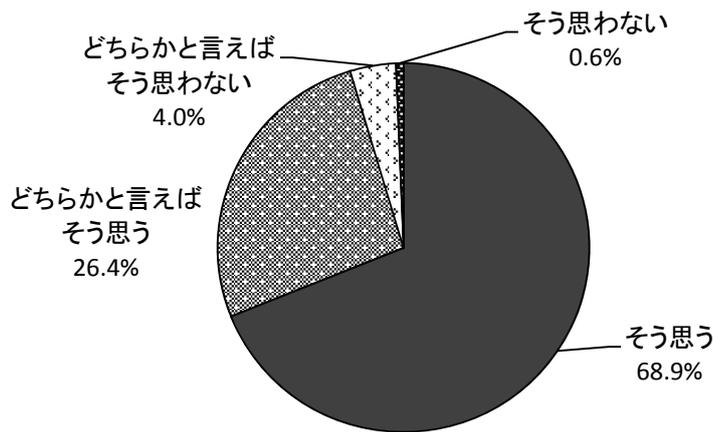
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	6.3%	35.9%	20.3%	14.1%	23.4%	計1006人 64人
上井	7.5%	34.4%	24.4%	13.1%	20.6%	160人
西郷	6.5%	28.6%	32.5%	14.3%	18.2%	77人
上灘	4.5%	47.3%	23.6%	10.0%	14.5%	110人
成徳	12.9%	41.4%	21.4%	11.4%	12.9%	70人
明倫	2.7%	40.5%	25.7%	16.2%	14.9%	74人
灘手	0.0%	33.3%	37.5%	25.0%	4.2%	24人
社	4.6%	22.0%	26.6%	17.4%	29.4%	109人
北谷	14.8%	14.8%	25.9%	18.5%	25.9%	27人
高城	4.8%	38.1%	14.3%	14.3%	28.6%	42人
小鴨	7.7%	30.0%	30.8%	14.6%	16.9%	130人
上小鴨	0.0%	45.5%	24.2%	12.1%	18.2%	33人
関金	7.0%	26.7%	30.2%	17.4%	18.6%	86人

問45 あなたは、市内の森林が保全されることを大切だと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は95.3%（昨年94.9%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は4.6%（昨年5.1%）という結果になっています。



【年代別】

市内の森林が保全されることを大切だと思うと答えた人は、いずれの年代も90%以上とバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
					計1073人
20～29	71.6%	22.4%	6.0%	0.0%	67人
30～39	64.8%	28.6%	6.7%	0.0%	105人
40～49	61.7%	33.8%	4.5%	0.0%	133人
50～59	67.0%	29.4%	2.0%	1.5%	197人
60～64	66.4%	27.3%	5.5%	0.8%	128人
65～69	72.4%	23.9%	3.1%	0.6%	163人
70～	73.9%	22.1%	3.2%	0.7%	280人

【地区別】

市内の森林が保全されることを大切だと思うと答えた人は、多くの地区で90%以上とバラつきは見られませんでした。

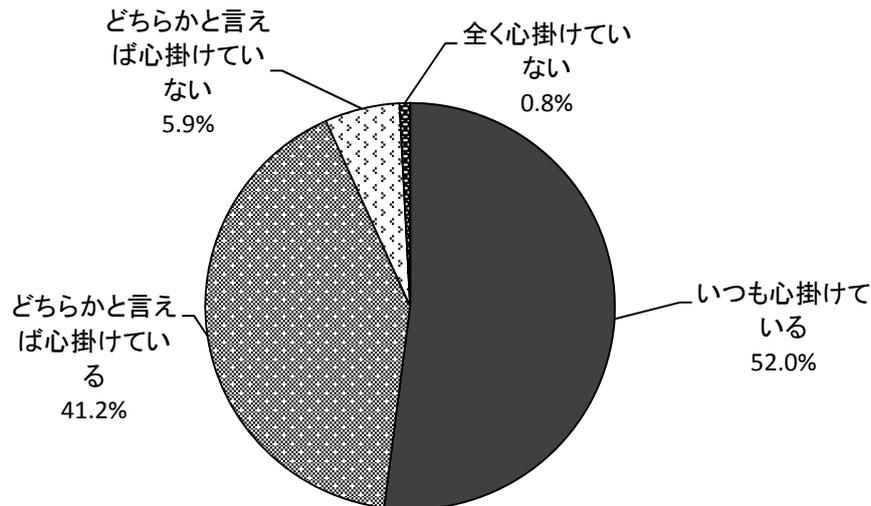
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
					計1028人
上北条	71.9%	23.4%	4.7%	0.0%	64人
上井	66.7%	26.5%	6.2%	0.6%	162人
西郷	64.9%	32.5%	1.3%	1.3%	77人
上灘	65.8%	28.9%	4.4%	0.9%	114人
成徳	63.9%	34.7%	1.4%	0.0%	72人
明倫	75.6%	17.9%	5.1%	1.3%	78人
灘手	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	24人
社	71.8%	26.4%	1.8%	0.0%	110人
北谷	67.9%	28.6%	3.6%	0.0%	28人
高城	71.4%	23.8%	4.8%	0.0%	42人
小鴨	68.4%	26.3%	3.8%	1.5%	133人
上小鴨	67.6%	26.5%	5.9%	0.0%	34人
関金	72.2%	22.2%	5.6%	0.0%	90人

問46 あなたは、日々の暮らしの中で、ごみの分別、資源回収、節電など、地球環境にやさしい取組を心掛けていますか。

1. いつも心掛けている
2. どちらかと言えば心掛けている
3. どちらかと言えば心掛けていない
4. 全く心掛けていない

[全体]

「1. いつも心掛けている」「2. どちらかと言えば心掛けている」と答えた人は93.2%（昨年93.8%）、「3. どちらかと言えば心掛けていない」「4. 全く心掛けていない」と答えた人は6.7%（昨年6.2%）という結果になっています。



[性別]

日々の暮らしの中で地球環境にやさしい取組を心掛けていると答えた人は、男性が91.7%、女性が94.3%と男女間に差は見られませんでした。

	いつも心掛けている	どちらかと言えば心掛けている	どちらかと言えば心掛けていない	全く心掛けていない	
男	46.8%	44.9%	7.1%	1.3%	計1066人 468人
女	55.5%	38.8%	5.2%	0.5%	598人

[年代別]

日々の暮らしの中で地球環境にやさしい取組を心掛けていると答えた人は、40歳代以上で90%台であるのに対し、20歳代は70.2%という結果になっています。

年代	いつも心掛けている	どちらかと言えば心掛けている	どちらかと言えば心掛けていない	全く心掛けていない	
20～29	28.4%	41.8%	23.9%	6.0%	計1076人 67人
30～39	34.3%	49.5%	13.3%	2.9%	105人
40～49	41.0%	50.0%	9.0%	0.0%	134人
50～59	46.5%	49.5%	3.5%	0.5%	198人
60～64	53.9%	43.8%	2.3%	0.0%	128人
65～69	63.2%	32.5%	4.3%	0.0%	163人
70～	65.5%	32.4%	1.8%	0.4%	281人

[地区別]

日々の暮らしの中で地球環境にやさしい取組を心掛けていると答えた人は、いずれの地区も80%以上という結果になっています。

	いつも心掛けている	どちらかと言えば心掛けている	どちらかと言えば心掛けていない	全く心掛けていない	
上北条	46.9%	39.1%	12.5%	1.6%	計1032人 64人
上井	52.5%	40.7%	6.2%	0.6%	162人
西郷	57.1%	36.4%	6.5%	0.0%	77人
上灘	47.8%	43.4%	7.1%	1.8%	113人
成徳	58.3%	37.5%	2.8%	1.4%	72人
明倫	65.0%	31.3%	3.8%	0.0%	80人
灘手	54.2%	41.7%	4.2%	0.0%	24人
社	53.6%	40.0%	5.5%	0.9%	110人
北谷	25.0%	60.7%	14.3%	0.0%	28人
高城	55.8%	39.5%	4.7%	0.0%	43人
小鴨	48.5%	47.8%	3.0%	0.7%	134人
上小鴨	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	34人
関金	51.6%	40.7%	7.7%	0.0%	91人

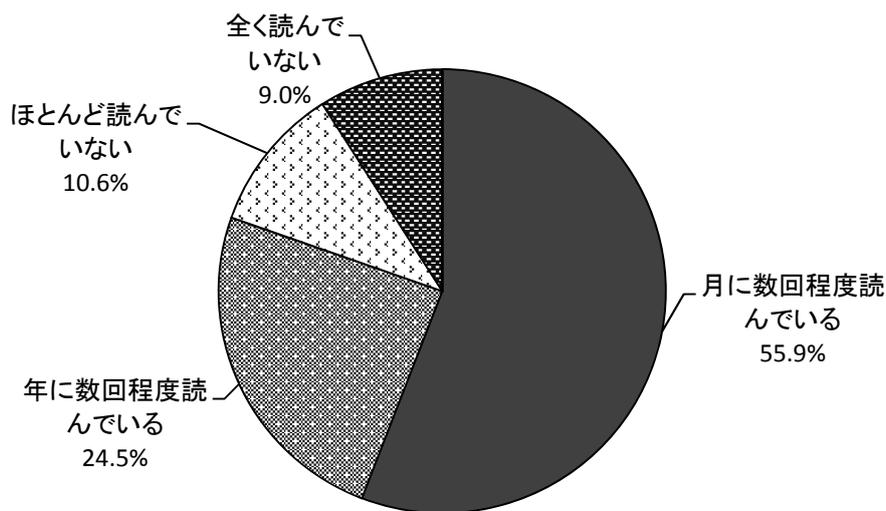
### (5) 市役所が提供している情報並びに行政サービスについて

問47 あなたは倉吉市の情報を得るために、日頃から市役所のホームページや市報くらよしを見たりしていますか。

1. 月に数回程度読んでいます
2. 年に数回程度読んでいます
3. ほとんど読んでいない
4. 全く読んでいない

#### [全体]

「1. 月に数回程度読んでいます」「2. 年に数回程度読んでいます」と答えた人は80.4%（昨年80.8%）、「3. ほとんど読んでいない」「4. 全く読んでいない」と答えた人は19.6%（昨年19.2%）という結果となっています。



#### [性別]

日頃から市役所のホームページや市報くらよしを見たりしていると答えた人は、男性が75.2%、女性が84.1%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	月に数回程度読んでいます	年に数回程度読んでいます	ほとんど読んでいない	全く読んでいない	
男	49.8%	25.4%	12.8%	12.0%	計1060人 468人
女	60.3%	23.8%	9.1%	6.8%	592人

#### [年代別]

日頃から市役所のホームページや市報くらよしを見たりしていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では92.1%という結果になっています。

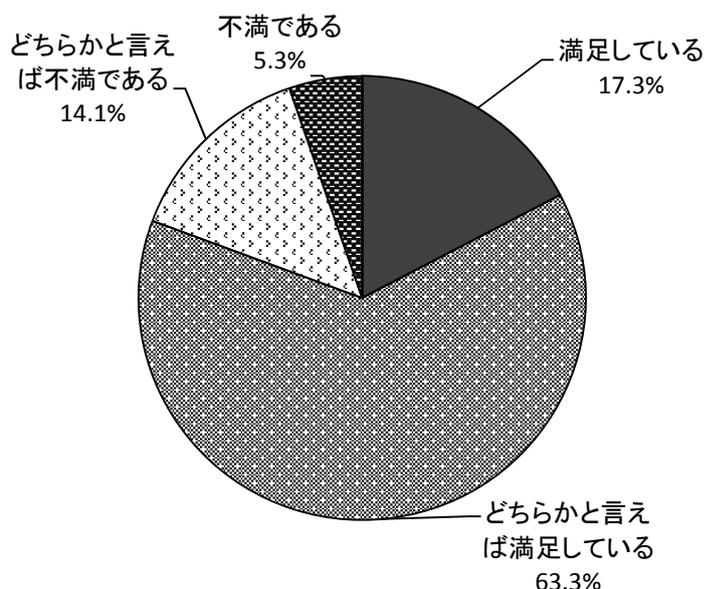
	月に数回程度読んでいます	年に数回程度読んでいます	ほとんど読んでいない	全く読んでいない	
20～29	17.9%	20.9%	22.4%	38.8%	計1071人 67人
30～39	28.6%	29.5%	14.3%	27.6%	105人
40～49	38.8%	35.1%	12.7%	13.4%	134人
50～59	57.6%	29.3%	10.1%	3.0%	198人
60～64	61.4%	24.4%	10.2%	3.9%	127人
65～69	64.6%	21.7%	9.9%	3.7%	161人
70～	74.9%	17.2%	5.7%	2.2%	279人

問48 あなたは、市役所の窓口や電話など、職員の対応についてどう思いますか。

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば不満である
4. 不満である

[全体]

「1. 満足している」「2. どちらかと言えば満足している」と答えた人は80.6%（昨年78.9%）で、「3. どちらかと言えば不満である」「4. 不満である」と答えた人は19.4%（昨年21.1%）という結果になっています。



[性別]

市役所の窓口や電話など、職員の対応について満足していると答えた人は、男性が79.6%、女性が81.6%と男女間に差は見られませんでした。

	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	
男	17.8%	61.8%	14.5%	5.9%	計1030人 456人
女	17.1%	64.5%	13.6%	4.9%	574人

[年代別]

市役所の窓口や電話など、職員の対応について満足していると答えた人は、いずれの年代も60～80%台という結果になっています。

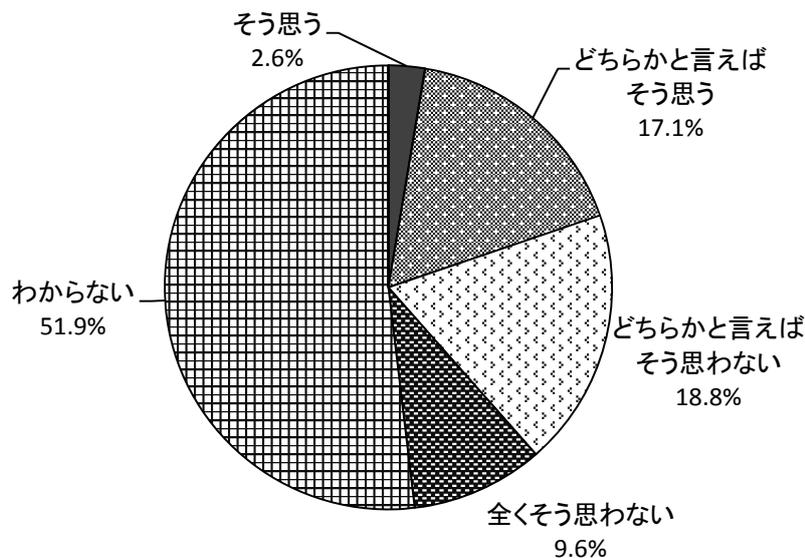
	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	
20～29	7.6%	59.1%	21.2%	12.1%	計1041人 66人
30～39	14.0%	52.0%	24.0%	10.0%	100人
40～49	15.2%	59.1%	15.2%	10.6%	132人
50～59	17.1%	64.2%	13.0%	5.7%	193人
60～64	16.9%	65.3%	15.3%	2.4%	124人
65～69	16.0%	71.2%	10.9%	1.9%	156人
70～	23.3%	64.8%	9.6%	2.2%	270人

問49 倉吉市では、総合計画に基づいてまちづくりを進めています。その目標を達成するために予算（市税、地方交付税、国県支出金など）が効果的・効率的に使われていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は19.7%（昨年19.9%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は28.4%（昨年30.5%）という結果になっています。



【性別】

倉吉市では予算が効果的・効率的に使われていると思うと答えた人は、男性が23.8%であるのに対し、女性が16.5%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
男	2.2%	21.6%	17.9%	12.7%	45.7%	計1038人 454人
女	3.1%	13.4%	19.3%	7.2%	57.0%	584人

【年代別】

倉吉市では予算が効果的・効率的に使われていると思うと答えた人は、多くの年代で10~20%台であるのに対し、20歳代では4.5%と低く、70歳以上は30.2%と高い結果になっています。

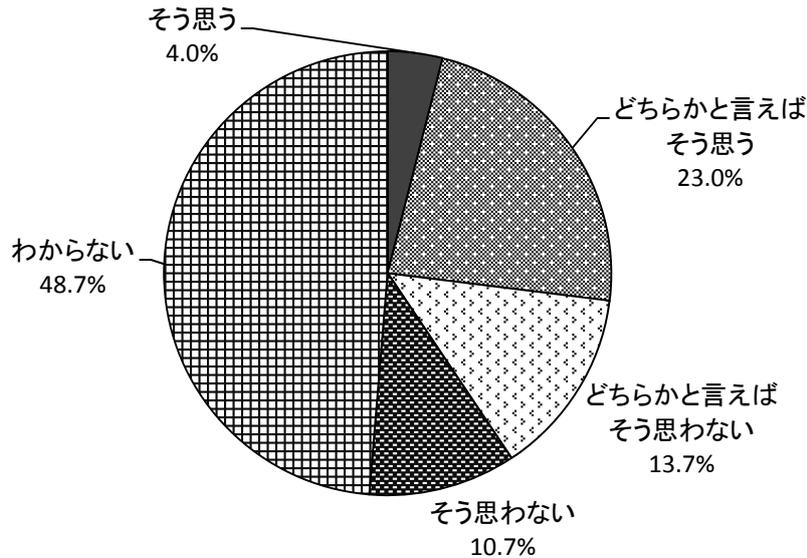
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
20~29	1.5%	3.0%	19.7%	12.1%	63.6%	計1059人 66人
30~39	0.0%	5.7%	24.8%	23.8%	45.7%	105人
40~49	1.5%	17.9%	17.9%	14.9%	47.8%	134人
50~59	1.0%	12.3%	24.6%	8.2%	53.8%	195人
60~64	2.4%	18.9%	19.7%	7.1%	52.0%	127人
65~69	0.6%	24.4%	15.6%	7.5%	51.9%	160人
70~	7.0%	23.2%	13.6%	4.4%	51.8%	272人

問50 あなたは、倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は27.0%（昨年26.9%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は24.4%（昨年27.1%）という結果になっています。



[性別]

倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思うと答えた人は、男性が30.3%、女性が24.2%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	2.8%	27.5%	13.1%	13.7%	42.9%	計1046人 466人
女	4.7%	19.5%	14.0%	8.3%	53.6%	580人

[年代別]

倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思うと答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では35.9%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	0.0%	10.6%	9.1%	6.1%	74.2%	計1055人 66人
30～39	1.0%	11.7%	17.5%	17.5%	52.4%	103人
40～49	3.0%	23.1%	11.9%	12.7%	49.3%	134人
50～59	1.5%	25.8%	12.9%	12.4%	47.4%	194人
60～64	2.4%	23.8%	13.5%	13.5%	46.8%	126人
65～69	4.9%	23.5%	14.2%	12.3%	45.1%	162人
70～	8.5%	27.4%	14.4%	4.8%	44.8%	270人

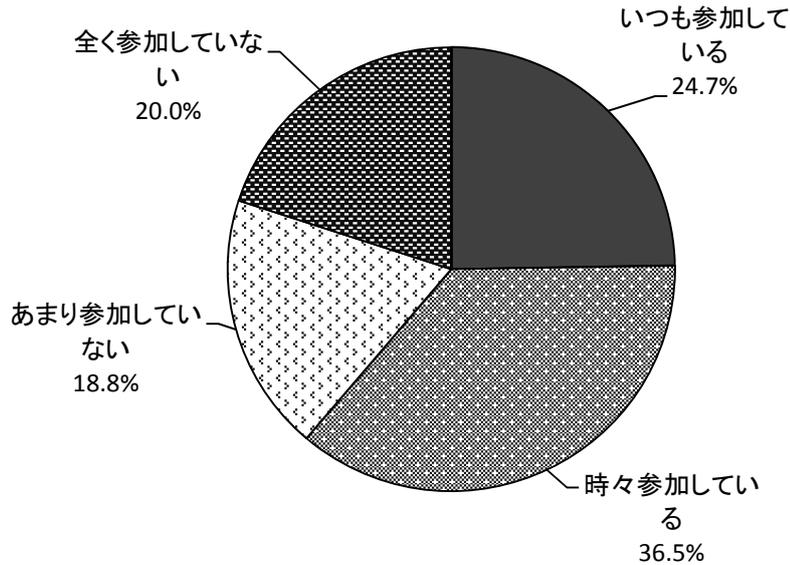
## (6) 地域の活動について

問51 あなたは、過去1年間にお住まいの地域の自治公民館活動に参加したことがありますか。

1. いつも参加している
2. 時々参加している
3. あまり参加していない
4. 全く参加していない

### [全体]

「1. いつも参加している」「2. 時々参加している」と答えた人は61.2%（昨年64.6%）、「3. あまり参加していない」「4. 全く参加していない」と答えた人は38.8%（昨年35.4%）という結果になっています。



### [性別]

過去1年間に住んでいる地域の自治公民館活動に参加したことがあると答えた人は、男性が64.6%、女性が58.7%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	いつも参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	
男	33.5%	31.1%	17.1%	18.4%	計1060人 463人
女	17.8%	40.9%	19.9%	21.4%	597人

### [年代別]

過去1年間に住んでいる地域の自治公民館活動に参加したことがあると答えた人は、40歳以上が50～60%台となっていますが、20歳代は28.4%という低い結果になっています。

	いつも参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	
20～29	4.5%	23.9%	11.9%	59.7%	計1069人 67人
30～39	13.5%	26.0%	19.2%	41.3%	104人
40～49	23.5%	35.6%	13.6%	27.3%	132人
50～59	26.8%	40.4%	20.2%	12.6%	198人
60～64	34.9%	34.9%	16.7%	13.5%	126人
65～69	27.6%	42.3%	21.5%	8.6%	163人
70～	26.9%	38.7%	20.4%	14.0%	279人

〔地区別〕

過去1年間に住んでいる地域の自治公民館活動に参加したことがあると答えた人は、多くの地区で50～70%台であるのに対して、灘手地区は83.4%という結果になっています。

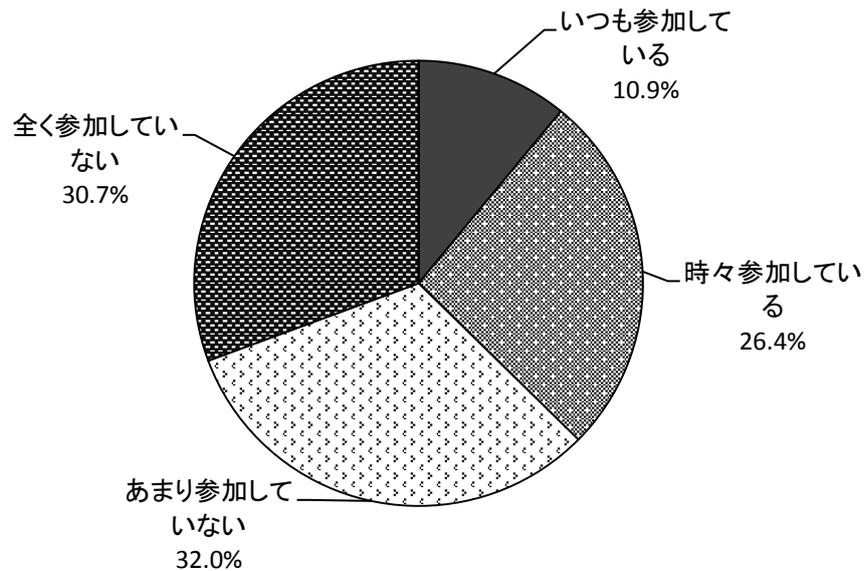
	いつも参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	計1027人
上北条	26.6%	31.3%	21.9%	20.3%	64人
上井	22.8%	30.9%	20.4%	25.9%	162人
西郷	20.8%	31.2%	23.4%	24.7%	77人
上灘	19.5%	38.9%	22.1%	19.5%	113人
成徳	18.1%	41.7%	12.5%	27.8%	72人
明倫	25.0%	33.8%	23.8%	17.5%	80人
灘手	29.2%	54.2%	12.5%	4.2%	24人
社	17.3%	55.5%	15.5%	11.8%	110人
北谷	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	28人
高城	21.4%	42.9%	26.2%	9.5%	42人
小鴨	36.8%	28.6%	14.3%	20.3%	133人
上小鴨	26.5%	52.9%	8.8%	11.8%	34人
関金	35.2%	27.3%	18.2%	19.3%	88人

問52 あなたは、お住まいの地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したりしていますか。

1. いつも参加している
2. 時々参加している
3. あまり参加していない
4. 全く参加していない

〔全体〕

「1. いつも参加している」「2. 時々参加している」と答えた人は37.3%（昨年41.5%）、「3. あまり参加していない」「4. 全く参加していない」と答えた人は62.7%（昨年58.4%）という結果になっています。



〔性別〕

住んでいる地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加していると答えた人は、男性が48.1%と高いのに対し、女性は28.6%という結果になっています。

	いつも参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	計1055人
男	16.8%	31.3%	25.6%	26.3%	464人
女	6.1%	22.5%	36.9%	34.5%	591人

〔年代別〕

住んでいる地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加していると答えた人は、60歳前半が50.0%と最も高く、20歳代で7.5%と最も低いという結果になっています。

	いつも 参加している	時々 参加している	あまり 参加していない	全く 参加していない	
					計1064人
20～29	3.0%	4.5%	21.2%	71.2%	66人
30～39	2.9%	16.2%	27.6%	53.3%	105人
40～49	9.0%	21.1%	33.8%	36.1%	133人
50～59	9.6%	31.8%	36.4%	22.2%	198人
60～64	17.5%	32.5%	31.0%	19.0%	126人
65～69	14.3%	26.7%	34.8%	24.2%	161人
70～	12.7%	32.0%	30.9%	24.4%	275人

〔地区別〕

住んでいる地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加していると答えた人は、多くの地区で30～40%台であるのに対し、灘手地区は54.2%という結果になっています。

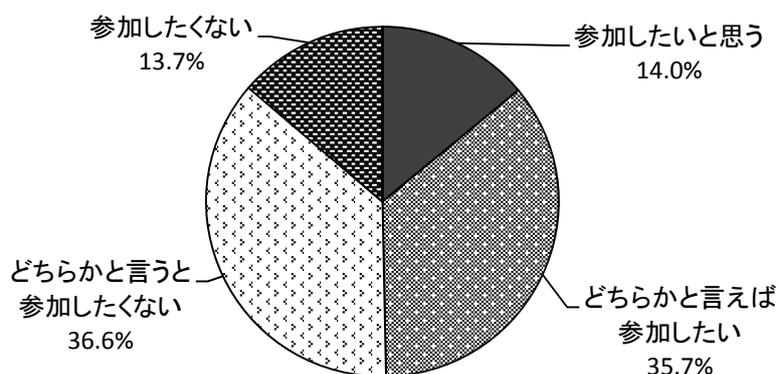
	いつも 参加している	時々 参加している	あまり 参加していない	全く 参加していない	
					計1022人
上北条	14.1%	23.4%	35.9%	26.6%	64人
上井	10.0%	22.5%	29.4%	38.1%	160人
西郷	10.4%	20.8%	39.0%	29.9%	77人
上灘	8.0%	29.2%	26.5%	36.3%	113人
成徳	9.7%	31.9%	25.0%	33.3%	72人
明倫	15.0%	22.5%	35.0%	27.5%	80人
灘手	16.7%	37.5%	41.7%	4.2%	24人
社	4.6%	28.7%	38.9%	27.8%	108人
北谷	3.6%	35.7%	28.6%	32.1%	28人
高城	11.9%	33.3%	35.7%	19.0%	42人
小鴨	16.2%	26.2%	28.5%	29.2%	130人
上小鴨	8.8%	29.4%	38.2%	23.5%	34人
関金	13.3%	30.0%	26.7%	30.0%	90人

問53 あなたは、地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動にも参加したいと思えますか。

1. 参加したいと思う
2. どちらかと言えば参加したい
3. どちらかと言うと参加したくない
4. 参加したくない

〔全体〕

「1. 参加したいと思う」「2. どちらかと言えば参加したい」と答えた人は49.7%（昨年50.5%）、「3. どちらかと言うと参加したくない」「4. 参加したくない」と答えた人は50.3%（昨年49.5%）という結果になっています。



【性別】

住んでいる地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したいと思うと答えた人は、男性が57.2%であるのに対し、女性が43.5%という結果なっています。

	参加したいと思う	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言うと参加したくない	参加したくない	計
男	18.7%	38.5%	30.3%	12.5%	465人
女	10.3%	33.2%	41.4%	15.1%	584人
					計1049人

【年代別】

住んでいる地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したいと思うと答えた人は、年代ごとにバラつきがあり、60歳代前半が65.8%、30歳代が32.4%という結果になっています。

	参加したいと思う	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言うと参加したくない	参加したくない	計
20～29	7.7%	30.8%	36.9%	24.6%	65人
30～39	4.8%	27.6%	48.6%	19.0%	105人
40～49	11.4%	28.8%	38.6%	21.2%	132人
50～59	16.2%	40.6%	33.5%	9.6%	197人
60～64	19.8%	46.0%	25.4%	8.7%	126人
65～69	14.2%	33.3%	39.5%	13.0%	162人
70～	15.9%	37.0%	35.9%	11.1%	270人
					計1057人

【地区別】

住んでいる地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したいと思うと答えた人は、多くの地区で40～50%台であるのに対し、灘手地区は66.6%と若干高いという結果になっています。

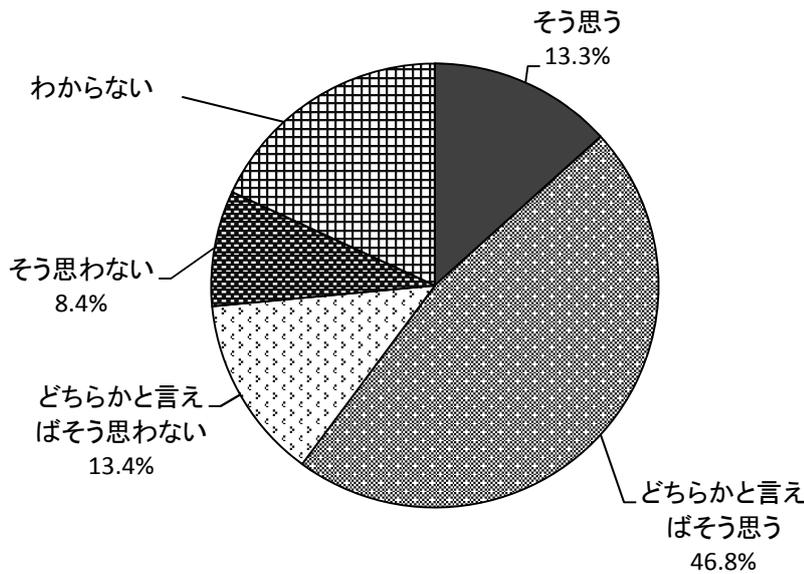
	参加したいと思う	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言うと参加したくない	参加したくない	計
上北条	15.9%	33.3%	38.1%	12.7%	63人
上井	12.6%	32.1%	38.4%	17.0%	159人
西郷	11.7%	35.1%	44.2%	9.1%	77人
上灘	11.4%	42.1%	28.1%	18.4%	114人
成徳	10.3%	41.2%	32.4%	16.2%	68人
明倫	15.0%	33.8%	38.8%	12.5%	80人
灘手	20.8%	45.8%	33.3%	0.0%	24人
社	9.2%	37.6%	41.3%	11.9%	109人
北谷	7.7%	50.0%	23.1%	19.2%	26人
高城	16.7%	40.5%	35.7%	7.1%	42人
小鴨	17.7%	30.0%	39.2%	13.1%	130人
上小鴨	14.7%	32.4%	41.2%	11.8%	34人
関金	19.8%	34.1%	33.0%	13.2%	91人
					計1017人

問5 4① あなたのお住まいの地域では、自治公民館活動等を通じ、市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は60.1%（昨年58.6%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は21.8%（昨年26.6%）という結果になっています。



[性別]

住んでいる地域で市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思うと答えた人は、男性が61.3%、女性が59.5%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	13.2%	48.1%	14.7%	8.4%	15.6%	計1052人 462人
女	13.2%	46.3%	12.4%	8.5%	19.7%	590人

[年代別]

住んでいる地域で市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思うと答えた人は、いずれの年代も40～60%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	7.6%	39.4%	12.1%	9.1%	31.8%	計1063人 66人
30～39	5.8%	46.2%	14.4%	9.6%	24.0%	104人
40～49	9.7%	50.0%	11.9%	10.4%	17.9%	134人
50～59	12.6%	50.0%	14.6%	8.1%	14.6%	198人
60～64	16.7%	43.7%	13.5%	4.8%	21.4%	126人
65～69	10.0%	45.0%	15.6%	11.3%	18.1%	160人
70～	20.0%	47.6%	11.6%	7.3%	13.5%	275人

【地区別】

住んでいる地域で市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思うと答えた人は、いずれの地区も50～70%台で大きなバラつきは見られませんでした。

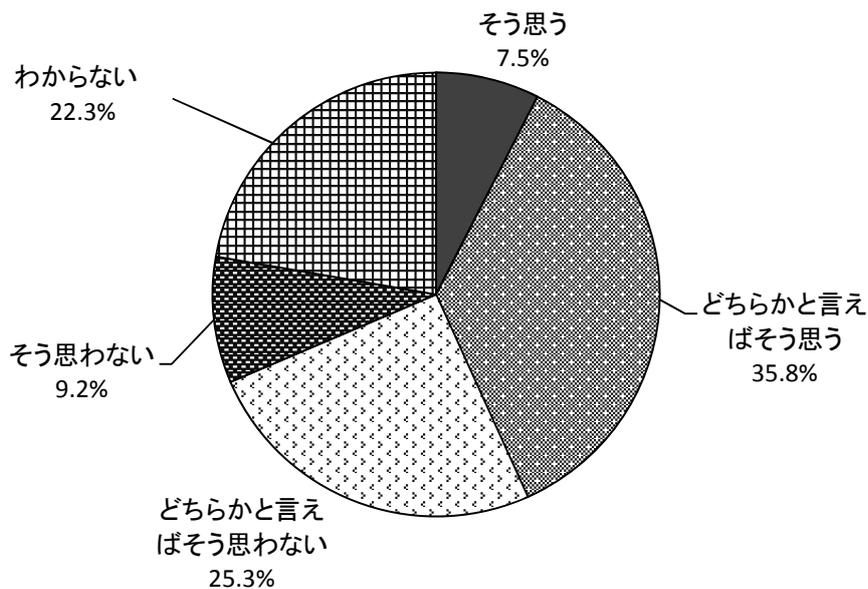
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	計1021人
上北条	7.9%	55.6%	11.1%	4.8%	20.6%	63人
上井	9.8%	46.6%	14.7%	9.2%	19.6%	163人
西郷	3.9%	54.5%	13.0%	13.0%	15.6%	77人
上灘	9.6%	43.5%	15.7%	9.6%	21.7%	115人
成徳	18.6%	41.4%	11.4%	17.1%	11.4%	70人
明倫	13.5%	47.3%	10.8%	6.8%	21.6%	74人
灘手	21.7%	47.8%	8.7%	8.7%	13.0%	23人
社	13.1%	59.8%	9.3%	2.8%	15.0%	107人
北谷	13.3%	50.0%	13.3%	6.7%	16.7%	30人
高城	11.6%	51.2%	20.9%	7.0%	9.3%	43人
小鴨	16.7%	40.9%	13.6%	9.1%	19.7%	132人
上小鴨	14.3%	51.4%	14.3%	2.9%	17.1%	35人
関金	20.2%	38.2%	16.9%	6.7%	18.0%	89人

問5 4② あなたのお住まいの地域では、市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は43.3%（昨年43.5%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は34.5%（昨年37.5%）という結果になっています。



〔性別〕

住んでいる地域で市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思うと答えた人は、男性が42.3%、女性が44.1%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	6.3%	36.0%	28.8%	11.4%	17.5%	計1041人 458人
女	8.4%	35.7%	22.6%	7.4%	25.9%	583人

〔年代別〕

住んでいる地域で市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思うと答えた人は、いずれの年代も30～50%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	9.1%	28.8%	16.7%	10.6%	34.8%	計1052人 66人
30～39	4.9%	31.1%	20.4%	10.7%	33.0%	103人
40～49	4.5%	39.1%	24.1%	11.3%	21.1%	133人
50～59	5.1%	34.9%	31.3%	10.3%	18.5%	195人
60～64	7.1%	32.5%	31.0%	5.6%	23.8%	126人
65～69	5.6%	36.3%	26.9%	9.4%	21.9%	160人
70～	12.3%	40.1%	21.6%	8.2%	17.8%	269人

〔地区別〕

住んでいる地域で市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思うと答えた人は、多くの地区が30～50%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	7.9%	39.7%	23.8%	3.2%	25.4%	計1009人 63人
上井	3.7%	33.5%	26.7%	9.9%	26.1%	161人
西郷	3.9%	39.0%	29.9%	13.0%	14.3%	77人
上灘	6.9%	40.5%	19.8%	10.3%	22.4%	116人
成徳	8.8%	35.3%	26.5%	11.8%	17.6%	68人
明倫	4.1%	37.8%	23.0%	8.1%	27.0%	74人
灘手	13.0%	30.4%	26.1%	13.0%	17.4%	23人
社	9.5%	46.7%	16.2%	5.7%	21.9%	105人
北谷	6.9%	37.9%	17.2%	17.2%	20.7%	29人
高城	12.2%	24.4%	39.0%	2.4%	22.0%	41人
小鴨	10.7%	28.2%	28.2%	9.2%	23.7%	131人
上小鴨	8.6%	37.1%	31.4%	8.6%	14.3%	35人
関金	9.3%	33.7%	29.1%	8.1%	19.8%	86人

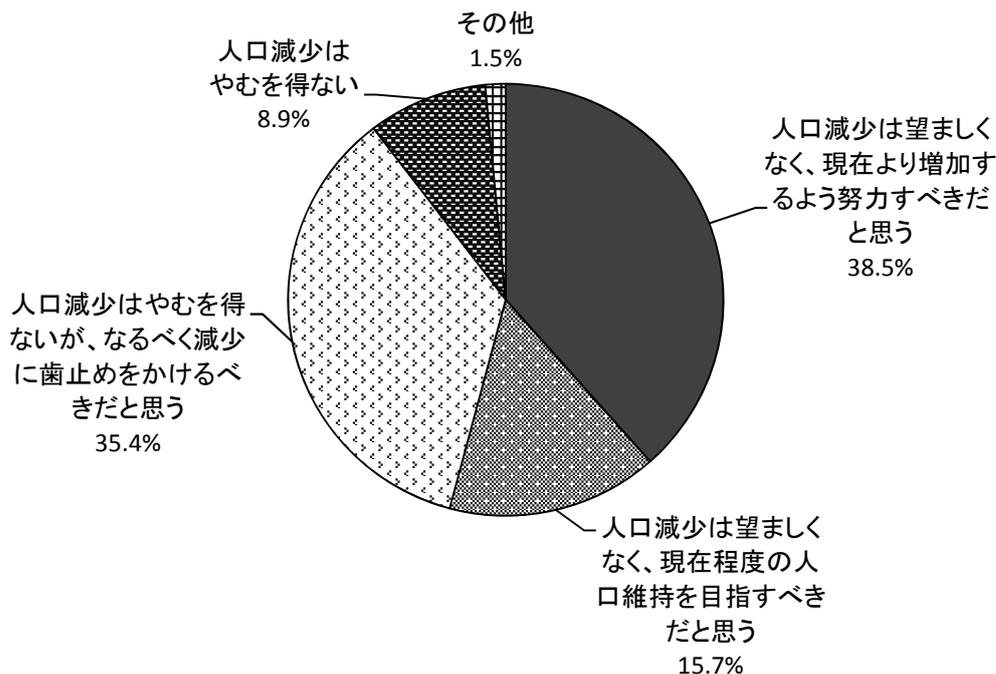
### (7) 地方創生に関する取組について

問55 本市の人口が減少していくことについて、あなたの考えに最も近いものは何ですか。

1. 人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う
2. 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべきだと思う
3. 人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う
4. 人口減少はやむを得ない
5. その他

#### [全体]

「1. 人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う」「人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべきだと思う」と答えた人は54.2%、「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う」「人口減少はやむを得ない」と答えた人は44.3%という結果となっています。



#### [性別]

いずれの選択肢においても、男女間で差はみられませんでした。

	人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う	人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべきだと思う	人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う	人口減少はやむを得ない	その他	
男	39.7%	16.1%	33.2%	9.5%	1.5%	計1049人 461人
女	37.4%	15.3%	37.2%	8.5%	1.5%	588人

〔年代別〕

年代別にみると、「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う」と答えた人は、30歳代と70歳以上が他の年代と比べ割合が高くなっており、「人口減少はやむを得ない」と答えた人は、40歳代が他の年代と比べ割合が高いという結果になっています。

	人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う	人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべきだと思う	人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う	人口減少はやむを得ない	その他	
20～29	20.9%	22.4%	43.3%	11.9%	1.5%	計1058人 67人
30～39	42.9%	12.4%	36.2%	6.7%	1.9%	105人
40～49	35.1%	10.4%	37.3%	15.7%	1.5%	134人
50～59	36.1%	19.1%	35.1%	8.8%	1.0%	194人
60～64	38.1%	15.1%	34.9%	10.3%	1.6%	126人
65～69	35.8%	20.8%	36.5%	5.0%	1.9%	159人
70～	46.9%	12.5%	32.2%	7.0%	1.5%	273人

〔地区別〕

地区別にみると、「人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべきだと思う」と答えた人は、成徳、高城地区が他地区と比べ割合が高いという結果になっています。

	人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う	人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべきだと思う	人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う	人口減少はやむを得ない	その他	
上北条	34.9%	14.3%	36.5%	14.3%	0.0%	計1017人 63人
上井	41.5%	15.2%	34.8%	6.7%	1.8%	164人
西郷	39.0%	15.6%	40.3%	5.2%	0.0%	77人
上灘	41.2%	15.8%	32.5%	7.9%	2.6%	114人
成徳	25.7%	22.9%	38.6%	12.9%	0.0%	70人
明倫	40.0%	12.0%	34.7%	10.7%	2.7%	75人
灘手	47.8%	0.0%	43.5%	4.3%	4.3%	23人
社	32.7%	16.3%	38.5%	12.5%	0.0%	104人
北谷	26.7%	16.7%	40.0%	13.3%	3.3%	30人
高城	30.0%	25.0%	40.0%	5.0%	0.0%	40人
小鴨	42.9%	14.3%	33.8%	7.5%	1.5%	133人
上小鴨	40.0%	17.1%	34.3%	2.9%	5.7%	35人
関金	41.6%	15.7%	30.3%	10.1%	2.2%	89人

～その他意見～

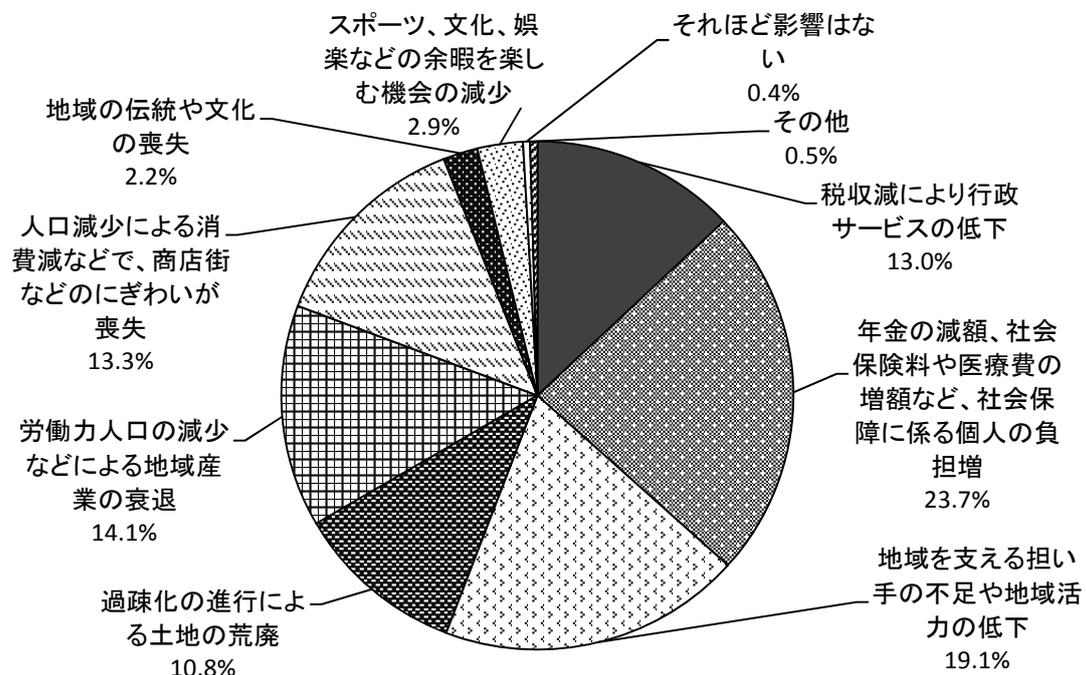
- ・ 人口が偏り過ぎ、便利な地域にばかり人が集まらないよう山間部等に住むメリット(優遇策等)作ってほしい。
- ・ 人口密度を上げるよう努力すべき。
- ・ 仕事があれば人口は増えない。
- ・ 未婚の男女が増加傾向にある、その対策を。
- ・ 戦後急激に増加した人口が本来あるべき人口に戻っていくと考えています。

問56 人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、影響が大きいと考えられること・不安に感じることは何ですか。

1. 税収減による行政サービス低下
2. 年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増
3. 地域を支える担い手の不足や地域活力の低下
4. 過疎化の進行による土地の荒廃
5. 労働力人口の減少などによる地域産業の衰退
6. 人口減少による消費減などで、商店街などのにぎわいが喪失
7. 地域の伝統や文化の喪失
8. スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少
9. それほど影響はない
10. その他

〔全体〕

「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増」が23.7%、「地域を支える担い手の不足や地域活力の低下」が19.1%という結果となっています。



〔性別〕

男女間でみると、「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増」と答えた人は、男性と比較して女性の方が割合が高く、「労働力人口の減少などによる地域産業の衰退」と答えた人は、女性と比較して男性の方が割合が高いという結果になっています。

	税収減により行政サービスの低下	年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増	地域を支える担い手の不足や地域活力の低下	過疎化の進行による土地の荒廃	労働力人口の減少などによる地域産業の衰退	人口減少による消費減などで、商店街などのにぎわいが喪失	地域の伝統や文化の喪失	スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない	その他
男	12.5%	21.9%	19.3%	11.0%	15.3%	13.5%	2.6%	2.8%	0.5%	0.5%
女	13.3%	25.1%	19.0%	10.5%	13.2%	13.1%	1.8%	3.0%	0.4%	0.5%

〔年代別〕

年代別でみると、「スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少」と答えた人は、20歳代が他の年代と比べ割合が高いという結果になっています。

	税収減により行政サービスの低下	年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増	地域を支える担い手の不足や地域活力の低下	過疎化の進行による土地の荒廃	労働力人口の減少などによる地域産業の衰退	人口減少による消費減などで、商店街などのにぎわいが喪失	地域の伝統や文化の喪失	スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない	その他
20～29	10.3%	18.6%	18.0%	10.8%	12.4%	15.5%	4.1%	9.8%	0.0%	0.5%
30～39	16.5%	22.8%	16.8%	6.3%	13.9%	15.2%	2.0%	5.0%	0.7%	1.0%
40～49	15.8%	22.1%	18.3%	7.9%	17.0%	12.5%	1.8%	4.0%	0.0%	0.5%
50～59	12.0%	23.2%	21.3%	10.1%	16.4%	12.0%	2.4%	2.1%	0.2%	0.3%
60～64	12.0%	23.5%	22.0%	12.3%	12.3%	13.7%	2.0%	1.1%	0.8%	0.3%
65～69	11.5%	27.2%	17.4%	12.4%	14.6%	12.6%	2.0%	2.0%	0.2%	0.0%
70～	13.1%	24.8%	18.7%	13.1%	11.9%	13.4%	1.9%	1.7%	0.8%	0.6%

〔地区別〕

地区別にみると、「過疎化の進行による土地の荒廃」と答えた人は、上小鴨地区が他地区と比べ割合が高いという結果になっています。

	税収減により行政サービスの低下	年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増	地域を支える担い手の不足や地域活力の低下	過疎化の進行による土地の荒廃	労働力人口の減少などによる地域産業の衰退	人口減少による消費減などで、商店街などのにぎわいが喪失	地域の伝統や文化の喪失	スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少	それほど影響はない	その他
上北条	14.8%	22.2%	19.3%	10.2%	11.4%	14.2%	2.8%	5.1%	0.0%	0.0%
上井	14.4%	24.6%	18.3%	10.1%	14.7%	12.9%	1.3%	2.6%	0.6%	0.4%
西郷	12.2%	24.3%	18.5%	6.8%	16.7%	15.3%	3.2%	2.7%	0.4%	0.0%
上灘	13.4%	22.8%	18.5%	7.6%	15.8%	14.0%	2.4%	3.9%	0.9%	0.6%
成徳	14.7%	23.4%	21.8%	8.1%	13.2%	13.7%	2.5%	2.0%	0.0%	0.5%
明倫	11.1%	25.1%	23.2%	8.7%	13.5%	14.5%	2.4%	1.0%	0.0%	0.5%
灘手	7.5%	19.4%	22.4%	17.9%	14.9%	10.4%	3.0%	3.0%	1.5%	0.0%
社	13.4%	25.2%	19.5%	10.7%	15.1%	11.4%	1.0%	3.0%	0.3%	0.3%
北谷	9.4%	23.5%	21.2%	16.5%	9.4%	10.6%	2.4%	5.9%	0.0%	1.2%
高城	9.6%	24.3%	22.6%	16.5%	12.2%	9.6%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%
小鴨	14.2%	25.8%	15.3%	10.2%	13.4%	14.5%	1.6%	3.2%	0.8%	0.8%
上小鴨	8.0%	21.0%	20.0%	21.0%	15.0%	8.0%	4.0%	3.0%	0.0%	0.0%
関金	12.2%	20.8%	19.6%	16.1%	13.3%	12.2%	2.7%	2.0%	0.4%	0.8%

～その他意見～

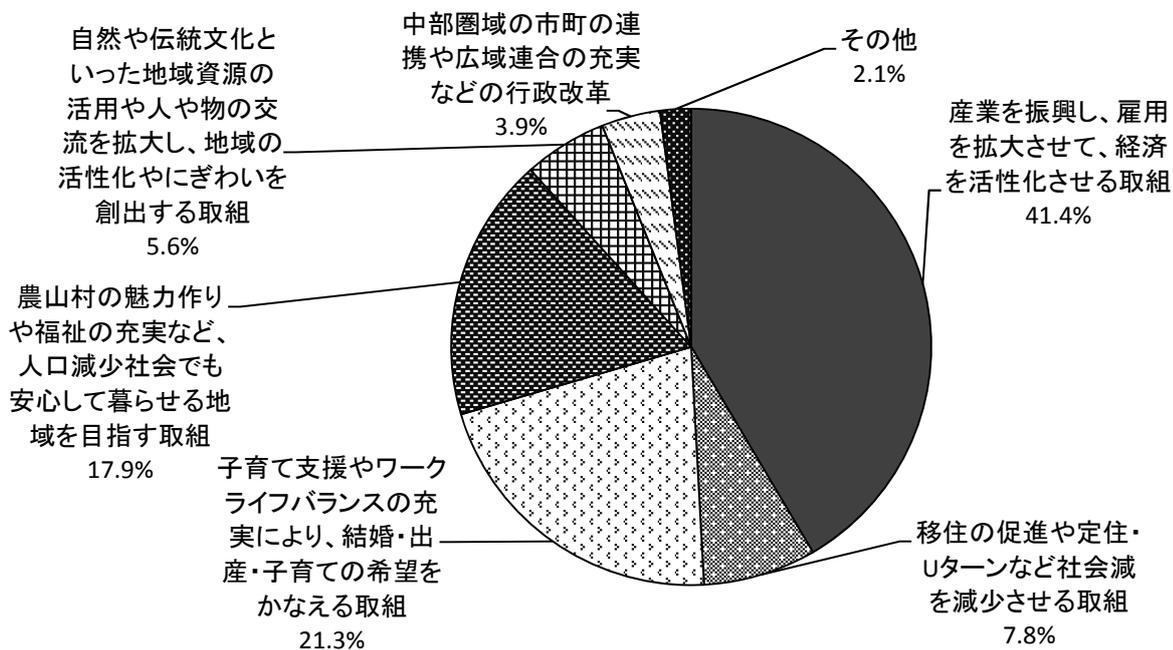
- ・ 人がいない為、地域活動等の負担増加。
- ・ 過疎地に住む人に行行政、商業的サービスが行き渡らない事。
- ・ 都会の大学を経て都会に就職し田舎に帰らない。ふるさとは老人ばかりで活気がなくなる。

問57 人口減少を克服し活力ある社会を目指して、本市が今後取り組むべきことについて、最も重視すべきことは何だと思えますか。

1. 産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組
2. 移住の促進や定住・Uターンなど社会減を減少させる取組
3. 子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組
4. 農山村の魅力作りや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組
5. 自然や伝統文化といった地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創出する取組
6. 中部圏域の市町の連携や広域連合の充実などの行政改革
7. その他

[全体]

「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」が41.4%、「子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が21.3%という結果となっています。



[性別]

いずれの選択肢においても、男女間で差は見られませんでした。

	産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組	移住の促進や定住・Uターンなど社会減を減少させる取組	子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組	農山村の魅力作りや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組	自然や伝統文化といった地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創出する取組	中部圏域の市町の連携や広域連合の充実などの行政改革	その他
男	42.9%	8.5%	20.3%	15.6%	5.4%	4.7%	2.7%
女	40.1%	6.7%	22.4%	20.0%	5.8%	3.4%	1.6%

〔年代別〕

年代別でみると、「子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」と答えた人は、20～30歳代が他の年代と比べ割合が高いという結果になっています。

	産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組	移住の促進や定住・Uターンなど社会減を減少させる取組	子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組	農山村の魅力作りや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組	自然や伝統文化といった地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創出する取組	中部圏域の市町の連携や広域連合の充実などの行政改革	その他
20～29	41.0%	11.5%	32.8%	9.8%	3.3%	1.6%	0.0%
30～39	37.6%	8.9%	35.6%	8.9%	3.0%	2.0%	4.0%
40～49	40.6%	7.8%	22.7%	18.0%	4.7%	3.1%	3.1%
50～59	48.4%	6.3%	18.4%	14.7%	6.8%	2.1%	3.2%
60～64	45.8%	5.0%	19.2%	19.2%	4.2%	5.8%	0.8%
65～69	33.8%	9.3%	16.6%	25.8%	7.9%	5.3%	1.3%
70～	40.6%	8.0%	18.4%	20.3%	6.1%	5.0%	1.5%

〔地区別〕

地区別にみると、「移住の促進や定住・Uターンなど社会減を減少させる取組」と答えた人は、灘手地区と北谷地区が他地区と比べ割合が高いという結果になっています。

	産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組	移住の促進や定住・Uターンなど社会減を減少させる取組	子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組	農山村の魅力作りや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組	自然や伝統文化といった地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創出する取組	中部圏域の市町の連携や広域連合の充実などの行政改革	その他
上北条	36.7%	5.0%	26.7%	25.0%	5.0%	1.7%	0.0%
上井	47.7%	6.5%	25.5%	11.8%	3.3%	2.6%	2.6%
西郷	53.9%	5.3%	22.4%	5.3%	3.9%	6.6%	2.6%
上灘	48.1%	7.4%	20.4%	11.1%	5.6%	5.6%	1.9%
成徳	32.8%	9.0%	23.9%	17.9%	7.5%	4.5%	4.5%
明倫	36.1%	11.1%	19.4%	19.4%	8.3%	5.6%	0.0%
灘手	40.9%	27.3%	13.6%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
社	43.4%	6.1%	22.2%	16.2%	5.1%	6.1%	1.0%
北谷	17.2%	20.7%	13.8%	37.9%	3.4%	6.9%	0.0%
高城	26.3%	7.9%	31.6%	28.9%	2.6%	2.6%	0.0%
小鴨	40.2%	7.1%	18.1%	19.7%	9.4%	2.4%	3.1%
上小鴨	45.5%	6.1%	12.1%	30.3%	6.1%	0.0%	0.0%
関金	39.5%	8.1%	14.0%	27.9%	5.8%	1.2%	3.5%

～その他意見～

- ・ 地域に40歳代で結婚のチャンスを創りだせない男性が多くいる→人口減(独身男性にチャンス)
- ・ 観光する所を充実させ、そこで働く人を増やしたらもう少し明るくなるかと思う。今も大事だけど先を見越した地域を作ってほしい。
- ・ 若者の交流の場。
- ・ 商業施設の充実、誘致。

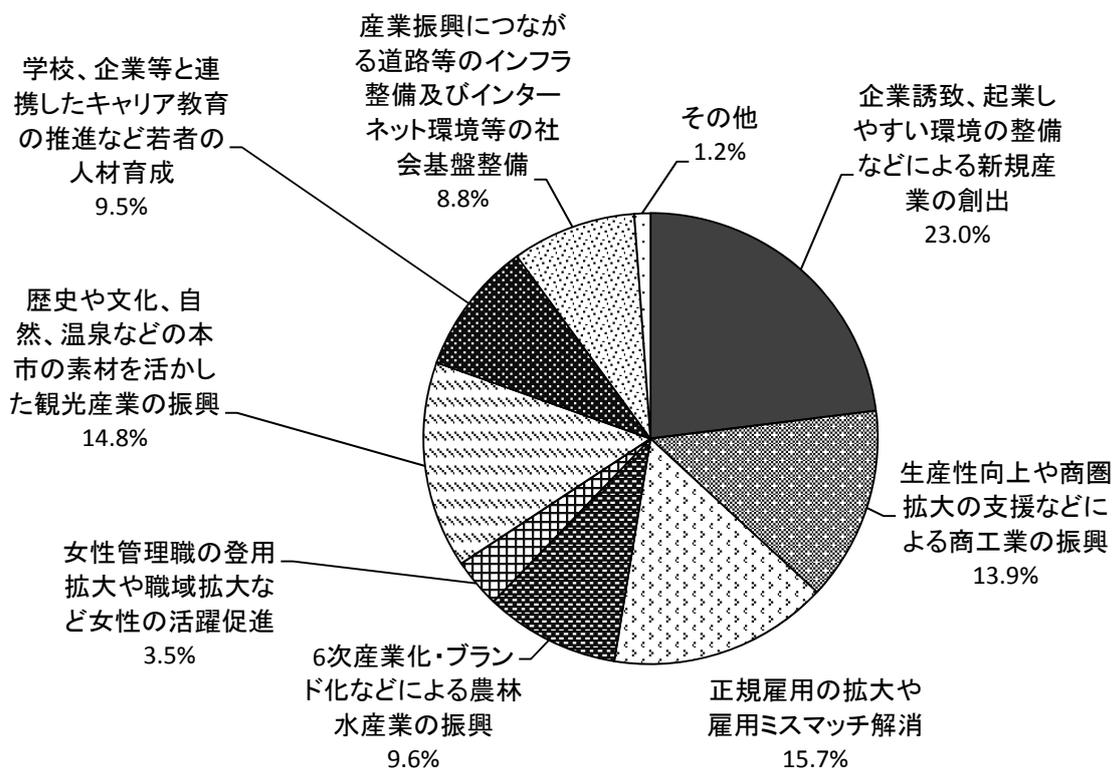
- ・ 地域の活性化・賑わいの中での安心して暮らせる地域。
- ・ コンパクトシティを目指す事。
- ・ 保育園、幼稚園、小学校におけるマナーと心の教育。30年かかると思いますが、子どもが市を変えていくことができるようになると思います。

問58 本市がこれから地域経済の活性化を行う際に、どのような取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。

1. 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出
2. 生産性向上や商圏拡大の支援などによる商工業の振興
3. 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ（求人と求職のニーズの不一致）解消
4. 6次産業化・ブランド化などによる農林水産業の振興
5. 女性管理職の登用拡大や職域拡大などの女性の活躍促進
6. 歴史や文化、自然、温泉などの本市の素材を活かした観光産業の振興
7. 学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成
8. 産業振興につながる道路等のインフラ整備及びインターネット環境等の社会基盤の整備
9. その他

[全体]

「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が23.0%、「正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ（求人と求職のニーズの不一致）解消」が15.7%という結果となっています。



【性別】

男女間でみると、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」「6次産業化・ブランド化などによる農林水産業の振興」「産業振興につながる道路等のインフラ整備及びインターネット環境等の社会基盤整備」と答えた人は、女性と比較して男性の方が多く、「正規雇用の拡大や雇用ミスマッチ解消」「歴史や文化、自然、温泉などの本市の素材を活かした観光産業の振興」「学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成」と答えた人は、男性と比較して女性の方が多いという結果になっています。

	企業誘致、 起業しやすい環境の整備 などによる新規産業の 創出	生産性向上 や商圏拡大の支援など による商工業の振興	正規雇用の 拡大や雇用 ミスマッチ 解消	6次産業 化・ブラン ド化など による農林水 産業の振興	女性管理職 の登用拡大 や職域拡大 など女性の 活躍促進	歴史や文 化、自然、 温泉など の本市の 素材を活 かした観 光産業の 振興	学校、企 業等と連 携したキ ャリア教 育の推進 など若者 の人材育 成	産業振興に つながる道 路等のイン フラ整備及 びインター ネット環境 等の社会基 盤整備	その他
男	25.0%	13.2%	14.2%	11.5%	3.3%	13.0%	7.9%	10.5%	1.4%
女	21.5%	14.4%	17.0%	7.9%	3.7%	16.4%	10.7%	7.4%	0.9%

【年代別】

年代別にみると、「正規雇用の拡大や雇用ミスマッチ解消」と答えた人は、年代が低くなるほど割合が高くなる傾向があり、「6次産業化・ブランド化などによる農林水産業の振興」と答えた人は、年代が高くなるほど割合が高くなる傾向があるという結果になっています。

	企業誘致、 起業しやすい環境の整備 などによる新規産業の 創出	生産性向上 や商圏拡大の支援など による商工業の振興	正規雇用の 拡大や雇用 ミスマッチ 解消	6次産業 化・ブラン ド化など による農林水 産業の振興	女性管理職 の登用拡大 や職域拡大 など女性の 活躍促進	歴史や文 化、自然、 温泉など の本市の 素材を活 かした観 光産業の 振興	学校、企 業等と連 携したキ ャリア教 育の推進 など若者 の人材育 成	産業振興に つながる道 路等のイン フラ整備及 びインター ネット環境 等の社会基 盤整備	その他
20～29	18.2%	12.7%	19.9%	3.9%	6.6%	14.4%	10.5%	11.6%	2.2%
30～39	20.5%	15.5%	18.7%	3.5%	6.4%	13.8%	10.2%	9.9%	1.4%
40～49	20.5%	12.9%	18.6%	8.0%	3.3%	14.2%	10.0%	10.4%	2.2%
50～59	21.3%	15.5%	17.0%	10.7%	2.8%	15.3%	8.6%	8.4%	0.4%
60～64	25.6%	11.5%	13.5%	11.8%	2.6%	15.9%	9.1%	10.0%	0.0%
65～69	22.2%	14.1%	14.4%	12.4%	2.1%	15.1%	8.9%	10.0%	0.7%
70～	27.3%	13.9%	12.5%	11.1%	3.4%	14.8%	9.6%	5.9%	1.5%

【地区別】

地区別にみると、「6次産業化・ブランド化などによる農林水産業の振興」「歴史や文化、自然、温泉などの本市の素材を活かした観光産業の振興」と答えた人は、北谷地区が他地区と比べ割合が高いという結果になっています。

	企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出	生産性向上や商圏拡大の支援などによる商工業の振興	正規雇用の拡大や雇用ミスマッチ解消	6次産業化・ブランド化などによる農林水産業の振興	女性管理職の登用拡大や職域拡大など女性の活躍促進	歴史や文化、自然、温泉などの本市の素材を活かした観光産業の振興	学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成	産業振興につながる道路等のインフラ整備及びインターネット環境等の社会基盤整備	その他
上北条	23.6%	13.3%	15.8%	7.9%	3.0%	18.8%	7.3%	9.1%	1.2%
上井	23.3%	14.1%	17.3%	7.6%	3.2%	15.2%	8.1%	9.9%	1.4%
西郷	26.1%	13.1%	15.1%	9.5%	2.0%	12.6%	9.0%	12.1%	0.5%
上灘	22.8%	18.2%	15.0%	8.5%	3.6%	13.0%	10.4%	6.5%	2.0%
成徳	17.9%	15.6%	12.8%	11.7%	4.5%	12.8%	13.4%	10.1%	1.1%
明倫	24.7%	11.1%	14.2%	12.7%	3.2%	14.2%	10.5%	8.4%	1.1%
灘手	25.0%	10.9%	10.9%	14.1%	1.6%	14.1%	14.1%	9.4%	0.0%
社	22.7%	13.5%	19.1%	8.5%	5.7%	13.8%	8.2%	7.8%	0.7%
北谷	20.8%	8.3%	16.7%	18.1%	1.4%	25.0%	2.8%	6.9%	0.0%
高城	20.0%	14.5%	11.8%	12.7%	3.6%	17.3%	10.9%	8.2%	0.9%
小鴨	21.8%	14.8%	16.3%	7.8%	2.6%	16.3%	9.6%	9.9%	0.9%
上小鴨	22.5%	10.1%	14.6%	12.4%	5.6%	15.7%	13.5%	5.6%	0.0%
関金	23.4%	12.8%	18.7%	11.5%	3.4%	12.8%	9.4%	6.8%	1.3%

～その他意見～

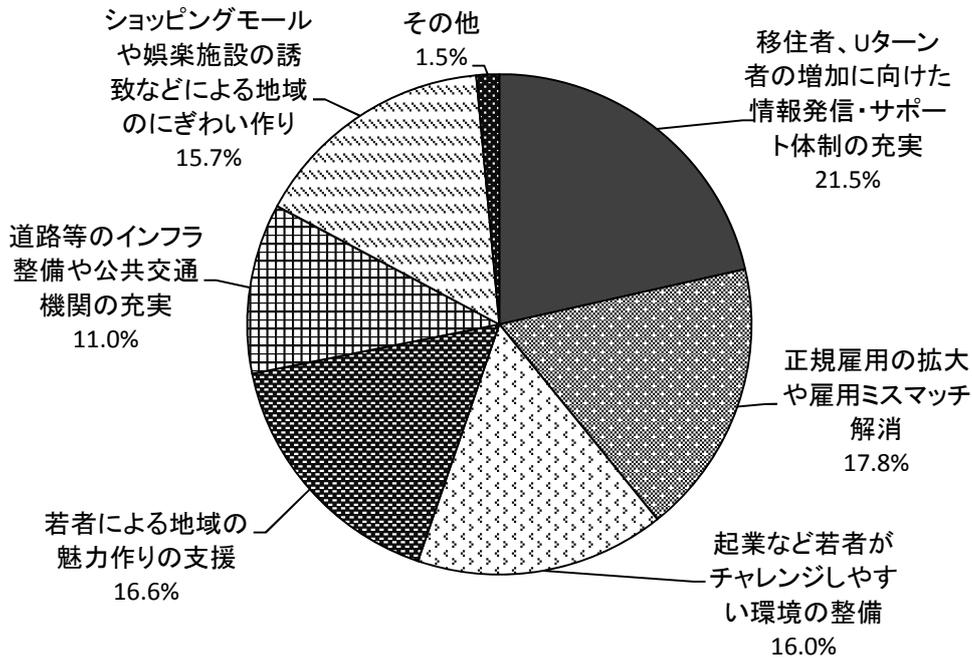
- ・ Iターン・Uターンの促進、魅力ある市に。
- ・ 他県から人が呼び込めるようブランド力のある、又、宣伝効果のある商業施設の誘致。
- ・ 短大、大学との交流、若い人が学びやすく交流しやすい環境。
- ・ 公務員の教育。
- ・ 旧市街を活性化。
- ・ 農産物の価格安定のための対策。
- ・ コンパクトシティ実現の為にそして魅力ある倉吉市作りの為に倉吉線(JR)の復活。
- ・ 社会の将来を担う子供達に道徳・礼儀作法、創意工夫する力を身につけてもらいたいと思う。
- ・ 過疎が進む地域を活かす。
- ・ 全市、wi-fi完備、公共交通の充実。

問59 本市がこれから人口の社会減対策を行う際に、どのような取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。

1. 移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信・サポート体制の充実
2. 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ（求人と求職のニーズの不一致）解消
3. 起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備
4. 若者による地域の魅力作りの支援
5. 道路等のインフラ整備や公共交通機関の充実
6. ショッピングモールや娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわい作り
7. その他

[全体]

「移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信・サポート体制の充実」が21.5%、「正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ（求人と求職のニーズの不一致）解消」が17.8%という結果となっています。



[性別]

男女間でみると、「正規雇用の拡大や雇用ミスマッチ解消」と答えた人は、男性と比較して女性の方が割合が高いという結果になっています。

	移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信・サポート体制の充実	正規雇用の拡大や雇用ミスマッチ解消	起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備	若者による地域の魅力作りの支援	道路等のインフラ整備や公共交通機関の充実	ショッピングモールや娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわい作り	その他
男	22.5%	15.7%	16.0%	16.6%	11.4%	15.7%	2.0%
女	20.7%	19.6%	16.0%	16.3%	10.6%	15.8%	1.1%

[年代別]

年代別にみると、「起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備」と答えた人は、年代が高くなるほど割合が高くなる傾向があり、「ショッピングモールや娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわい作り」と答えた人は、年代が低くなるほど割合が高くなる傾向があるという結果になっています。

	移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信・サポート体制の充実	正規雇用の拡大や雇用ミスマッチ解消	起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備	若者による地域の魅力作りの支援	道路等のインフラ整備や公共交通機関の充実	ショッピングモールや娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわい作り	その他
20～29	16.6%	19.2%	12.3%	15.0%	12.3%	23.5%	1.1%
30～39	17.8%	18.5%	11.7%	15.0%	11.7%	23.5%	1.8%
40～49	20.3%	19.7%	11.9%	15.3%	10.4%	20.3%	2.1%
50～59	19.6%	19.6%	15.0%	18.2%	11.8%	14.7%	1.1%
60～64	23.3%	17.1%	17.1%	15.1%	12.2%	14.5%	0.6%
65～69	21.9%	15.9%	17.5%	15.9%	12.1%	14.9%	1.9%
70～	25.7%	15.9%	20.4%	18.3%	8.6%	9.9%	1.3%

〔地区別〕

地区別にみると、「正規雇用の拡大や雇用ミスマッチ解消」と答えた人は、上小鴨地区が他地区と比べて割合が高く、「起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備」と答えた人は、灘手地区が他地域と比べて割合が高いという結果になっています。

	移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信・サポート体制の充実	正規雇用の拡大や雇用ミスマッチ解消	起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備	若者による地域の魅力作りの支援	道路等のインフラ整備や公共交通機関の充実	ショッピングモールや娯楽施設の誘致などによる地域のぎわい作り	その他
上北条	19.1%	21.8%	17.2%	14.9%	8.0%	17.2%	1.7%
上井	21.1%	19.7%	11.9%	18.3%	11.2%	16.0%	1.8%
西郷	21.6%	15.5%	12.7%	18.3%	13.1%	17.4%	1.4%
上灘	19.7%	18.4%	17.8%	16.5%	10.0%	16.2%	1.3%
成徳	21.6%	16.0%	18.6%	12.9%	14.0%	15.5%	1.5%
明倫	25.0%	16.8%	15.8%	19.9%	10.2%	11.2%	1.0%
灘手	21.5%	13.8%	23.0%	15.4%	10.8%	12.3%	3.1%
社	22.1%	17.6%	16.6%	16.9%	12.1%	13.7%	1.0%
北谷	25.6%	17.1%	13.4%	17.1%	9.8%	17.1%	0.0%
高城	24.8%	16.5%	14.9%	18.2%	11.6%	12.4%	1.7%
小鴨	20.1%	16.0%	18.7%	15.7%	12.1%	16.0%	1.4%
上小鴨	15.1%	27.9%	14.0%	14.0%	8.1%	19.8%	1.2%
関金	24.9%	17.3%	17.8%	13.3%	7.6%	17.3%	1.8%

～その他意見～

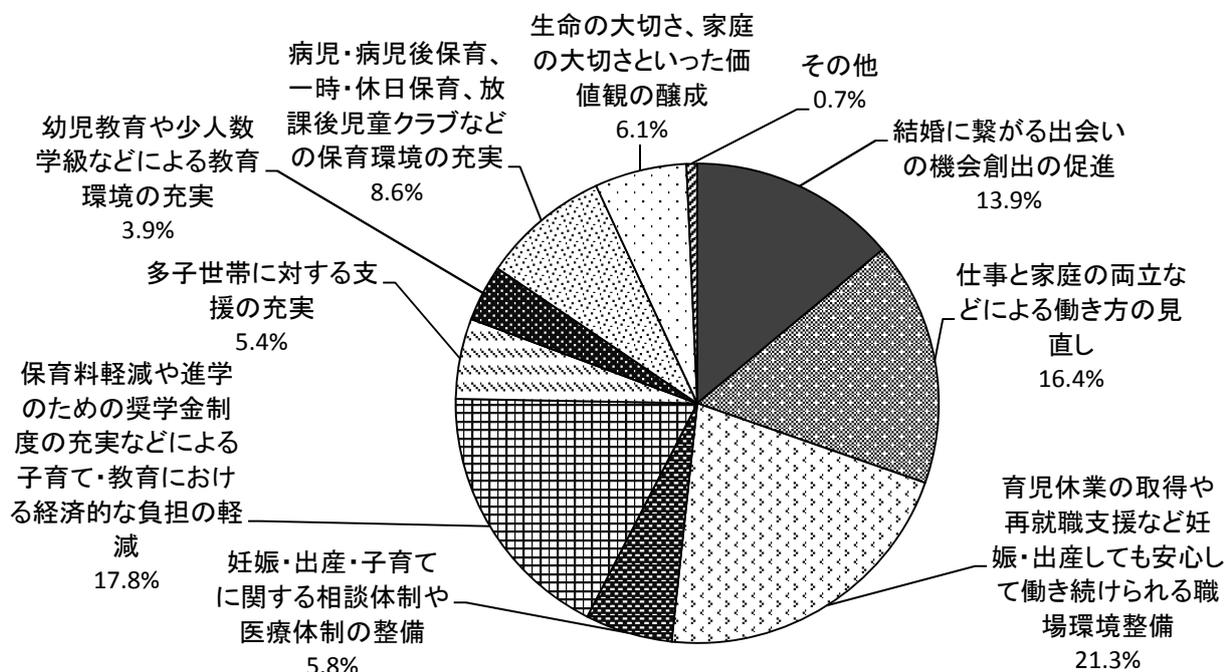
- ・ 中部地区の一体化。
- ・ 大企業誘致(生産業)。
- ・ 地元に残って仕事をする人にメリットを。
- ・ 子供の教育、高齢者、外国人の活躍できる場を増やす。
- ・ 観光産業の充実。
- ・ 雇用と住宅ローンの減免。
- ・ 進学で県外へ出た若い世代を優先的に受け入れる雇用体制作り。
- ・ 若者が遊べる場所を増やす。
- ・ 子育て支援の充実。
- ・ 空家の活用、入居支援。
- ・ 有料老人施設の充実により関西圏の利用者促進。
- ・ 農林の地域産業。特に林業の創出。
- ・ 農林業の特産物加工。
- ・ 教育機関、教育者の誘致。
- ・ 1次産業の魅力づくりの支援。
- ・ 異業種の人材交流。

問60 本市がこれから少子化対策を行う際に、どのような取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。

1. 結婚につながる出会いの機会創出の促進
2. 仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）などによる働き方の見直し
3. 育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働きつづけられる職場環境整備
4. 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
5. 保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減
6. 多子世帯に対する支援の充実
7. 幼児教育や少人数学級などによる教育環境の充実
8. 病児・病後児教育、一時・休日保育、放課後児童クラブなどの保育環境の充実
9. 生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成
10. その他

〔全体〕

「育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働きつづけられる職場環境整備」が21.3%、「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減」が17.8%という結果となっています。



〔性別〕

男女間でみると、「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減」「多子世帯に対する支援の充実」と答えた人は、女性と比較して男性の方が割合が高く、「仕事と家庭の両立などによる働き方の見直し」「病児・病後児教育、一時・休日保育、放課後児童クラブなどの保育環境の充実」と答えた人は、男性と比較して女性の方が割合が高いという結果になっています。

	結婚につながる出会いの機会創出の促進	仕事と家庭の両立などによる働き方の見直し	育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境整備	妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備	保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減	多子世帯に対する支援の充実	幼児教育や少人数学級などによる教育環境の充実	病児・病後児教育、一時・休日保育、放課後児童クラブなどの保育環境の充実	生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成	その他
男	14.2%	14.3%	21.4%	7.0%	19.5%	8.0%	3.0%	6.4%	5.5%	0.8%
女	13.5%	18.4%	21.2%	5.0%	16.2%	3.5%	4.6%	10.4%	6.7%	0.7%

〔年代別〕

年代別にみると、「結婚に繋がる出会いの機会創出の促進」と答えた人は、60歳代後半以上が他の年代と比べ割合が高く、「多子世帯に対する支援の充実」と答えた人は、30歳代が他の世代と比べ割合が高いという結果になっています。

	結婚に繋がる出会いの機会創出の促進	仕事と家庭の両立などによる働き方の見直し	育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境整備	妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備	保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的負担の軽減	多子世帯に対する支援の充実	幼児教育や少人数学級などによる教育環境の充実	病児・病児後保育、一時・休日保育、放課後児童クラブなどの保育環境の充実	生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成	その他
20～29	11.3%	19.9%	19.4%	9.1%	17.2%	6.5%	3.8%	8.1%	4.3%	0.5%
30～39	9.8%	17.5%	22.1%	8.4%	18.6%	8.8%	2.1%	10.2%	1.4%	1.1%
40～49	12.1%	19.7%	16.4%	7.9%	19.7%	4.4%	2.8%	10.8%	4.9%	1.3%
50～59	11.5%	15.7%	19.4%	5.2%	19.4%	4.7%	5.8%	11.3%	6.1%	0.9%
60～64	11.4%	14.5%	23.9%	5.7%	19.7%	4.3%	4.0%	11.1%	4.8%	0.6%
65～69	16.4%	17.1%	24.5%	4.0%	16.1%	4.2%	3.5%	6.1%	7.7%	0.5%
70～	19.0%	14.6%	22.6%	4.4%	15.2%	6.4%	3.8%	4.8%	9.0%	0.3%

〔地区別〕

地区別にみると、「妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備」と答えた人は、灘手地区が他地区と比べ割合が高く、「生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成」と答えた人は、北谷、小鴨、上小鴨地区が他地区と比べ割合が高いという結果になっています。

	結婚に繋がる出会いの機会創出の促進	仕事と家庭の両立などによる働き方の見直し	育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境整備	妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備	保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的負担の軽減	多子世帯に対する支援の充実	幼児教育や少人数学級などによる教育環境の充実	病児・病児後保育、一時・休日保育、放課後児童クラブなどの保育環境の充実	生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成	その他
上北条	15.7%	16.3%	20.9%	5.8%	15.1%	8.1%	2.9%	7.6%	5.8%	1.7%
上井	13.0%	17.0%	22.9%	5.2%	17.3%	4.5%	4.7%	9.9%	4.9%	0.6%
西郷	12.6%	14.0%	22.2%	4.8%	23.7%	7.2%	1.9%	11.1%	2.4%	0.0%
上灘	11.0%	17.3%	20.8%	7.2%	17.6%	7.9%	4.4%	7.9%	5.0%	0.9%
成徳	15.7%	17.3%	24.6%	6.8%	15.2%	5.2%	3.1%	5.8%	5.8%	0.5%
明倫	12.9%	18.4%	20.9%	7.5%	15.4%	6.5%	6.0%	8.5%	3.5%	0.5%
灘手	14.9%	11.9%	19.4%	10.4%	19.4%	9.0%	7.5%	6.0%	1.5%	0.0%
社	14.1%	16.3%	19.3%	5.9%	20.6%	4.6%	3.3%	8.8%	6.9%	0.3%
北谷	11.0%	15.9%	20.7%	4.9%	20.7%	4.9%	4.9%	7.3%	9.8%	0.0%
高城	16.9%	16.1%	23.4%	5.6%	16.1%	2.4%	2.4%	11.3%	5.6%	0.0%
小鴨	14.9%	16.6%	20.4%	4.4%	15.5%	4.7%	3.6%	9.1%	9.7%	1.1%
上小鴨	13.3%	16.7%	20.0%	6.7%	16.7%	4.4%	6.7%	5.6%	10.0%	0.0%
関金	15.4%	16.7%	22.2%	5.1%	18.4%	3.4%	3.0%	7.3%	7.3%	1.3%

～その他意見～

- ・ 遊びを教育生活に取り入れる。
- ・ 安定収入に繋がる雇用創出。
- ・ 長時間保育の充実ではなく時間(定時)に終れる残業等。
- ・ 子持ちの方を雇用した時の事業者への手当てが欲しい。
- ・ 不妊治療の助成。

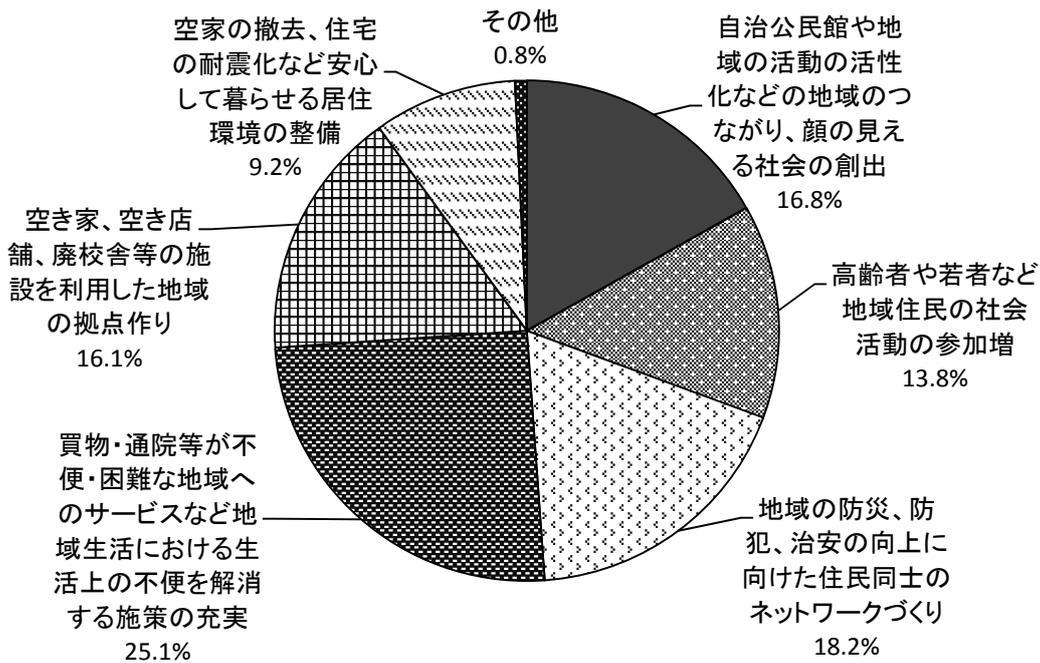
- ・ 男性の育児休業をとれるようにする。とれるはずなのにとれないでは意味がない。
- ・ 地域での活動、学校でのPTA活動が多すぎるため、仕事と子育ての両立が難しく、少子化の原因になっている。形だけの取組みはやめるべき。

問61 本市がこれから人口減の中でも安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。

1. 自治公民館や地域の活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出
2. 高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増
3. 地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり
4. 買物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実
5. 空き家、空き店舗、廃校舎等の施設を利用した地域の拠点作り
6. 空き家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備
7. その他

[全体]

「買物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実」が25.1%、「地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」が18.2%という結果となっています。



〔性別〕

男女間でみると、「自治公民館や地域の活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出」「高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増」と答えた人は、女性と比較して男性の方が割合が高く、「買物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実」と答えた人は、男性と比較して女性の方が割合が高いという結果になっています。

	自治公民館や地域の活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出	高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増	地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり	買物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実	空き家、空き店舗、廃校舎等の施設を利用した地域の拠点作り	空家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備	その他
男	18.3%	15.5%	17.4%	23.0%	15.2%	9.4%	1.1%
女	15.7%	12.6%	18.7%	26.7%	16.8%	9.1%	0.4%

〔年代別〕

年代別にみると、「空き家、空き店舗、廃校舎等の施設を利用した地域の拠点作り」と答えた人は、年代が低くなるほど割合が高くなる傾向があるという結果になっています。

	自治公民館や地域の活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出	高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増	地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり	買物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実	空き家、空き店舗、廃校舎等の施設を利用した地域の拠点作り	空家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備	その他
20～29	12.9%	14.0%	17.7%	24.2%	18.3%	12.9%	0.0%
30～39	13.3%	13.3%	15.1%	27.0%	18.6%	11.6%	1.1%
40～49	15.3%	12.2%	18.7%	22.2%	18.4%	11.7%	1.6%
50～59	15.2%	12.7%	18.6%	27.0%	16.6%	9.3%	0.5%
60～64	20.1%	14.4%	18.7%	24.6%	15.9%	5.7%	0.7%
65～69	17.5%	11.9%	20.5%	25.2%	15.4%	8.4%	1.2%
70～	19.5%	16.7%	17.5%	24.6%	13.4%	8.0%	0.3%

【地区別】

地区別にみると、「高齢者や若者など地域住民の社会活動の参加増」と答えた人は、上小鴨地区が他地区と比べ割合が高く、「買物・通院等が不便・困難な地域へのサービスなど地域生活における生活上の不便を解消する施策の充実」と答えた人は、北谷地区が他地区と比べ割合が高く、「空家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備」と答えた人は、明倫地区が他地区と比べ割合が高いという結果になっています。

	自治公民館 や地域の活 動の活性化 などの地域 のつながり、 顔の見える 社会の創出	高齢者や若 者など地域 住民の社会 活動の参加 増	地域の防 災、防犯、 治安の向上 に向けた住 民同士の ネットワーク づくり	買物・通院 等が不便・ 困難な地域 へのサービ スなど地域 生活におけ る生活上の 不便を解消 する施策の 充実	空き家、空 き店舗、廃 校舎等の施 設を利用し た地域の拠 点作り	空家の撤 去、住宅の 耐震化など 安心して暮 らせる居住 環境の整備	その他
上北条	16.4%	14.5%	21.8%	25.5%	13.3%	7.3%	1.2%
上井	15.2%	13.6%	17.0%	24.9%	17.6%	10.6%	1.1%
西郷	14.8%	15.8%	19.6%	23.9%	16.3%	9.1%	0.5%
上灘	16.2%	14.3%	19.5%	22.7%	16.6%	9.7%	1.0%
成徳	18.4%	11.1%	23.2%	22.6%	13.2%	10.5%	1.1%
明倫	15.6%	11.1%	19.6%	19.1%	20.1%	14.6%	0.0%
灘手	20.6%	15.9%	17.5%	23.8%	15.9%	6.3%	0.0%
社	20.7%	13.9%	18.1%	25.6%	12.9%	8.1%	0.6%
北谷	21.3%	12.5%	16.3%	32.5%	12.5%	5.0%	0.0%
高城	21.0%	16.1%	14.5%	28.2%	16.9%	3.2%	0.0%
小鴨	16.7%	12.8%	17.2%	26.2%	17.5%	9.0%	0.5%
上小鴨	13.8%	20.2%	17.0%	28.7%	13.8%	6.4%	0.0%
関金	16.5%	11.7%	15.2%	28.7%	15.7%	10.9%	1.3%

～その他意見～

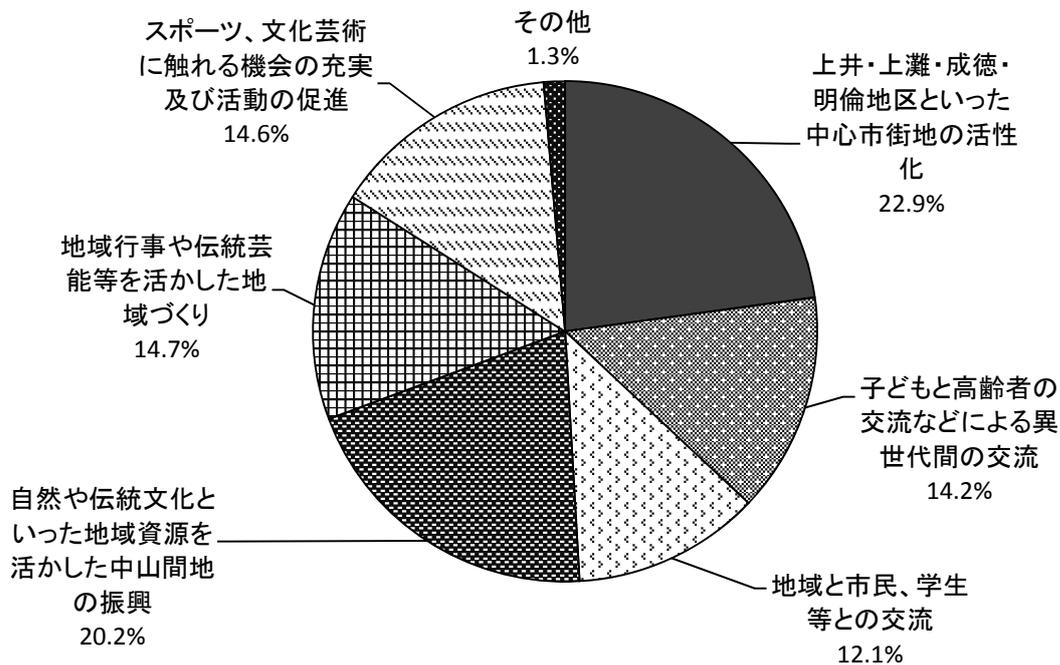
- ・ 市営住宅を増やす。
- ・ 精神を病んでいる人をケアして周囲が安心して暮らせるようにしてほしい。単身者が多くなり、このような人が放置されているのを不安視しています。
- ・ まず隣家と仲良くできる社会にすべき。
- ・ ボランティア人口を増やし彼等を最低限援助する事。
- ・ 独居老人世帯への日常支援体制の充実。
- ・ 子どもの遊び場、観光に繋がる施設づくり。
- ・ 中心市街地で軽自動車の無断駐車をなくしてほしい。夜間も駐車している車が多い。玉川のゴミ捨て行為のモラル向上に工夫してほしい。

問62 本市がこれから地域の活性化、にぎわいが創出される社会を目指した取組を行う際に、どういった取組に力を入れるべきだとお考えになりますか。

1. 上井・上灘・成徳・明倫地区といった中心市街地の活性化
2. 子どもと高齢者の交流などによる異世代間の交流
3. 地域と市民、学生等との交流
4. 自然や伝統文化といった地域資源を活かした中山間地の振興
5. 地域行事や伝統芸能等を活かした地域づくり
6. スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進
7. その他

[全体]

「上井・上灘・成徳・明倫地区といった中心市街地の活性化」が22.9%、「自然や伝統文化といった地域資源を活かした中山間地の振興」が20.2%という結果となっています。



[性別]

男女間でみると、「地域と市民、学生等との交流」と答えた人は、女性と比較して男性の方が割合が高く、「上井・上灘・成徳・明倫地区といった中心市街地の活性化」と答えた人は、男性と比較して女性の方が割合が高いという結果になっています。

	上井・上灘・成徳・明倫地区といった中心市街地の活性化	子どもと高齢者の交流などによる異世代間の交流	地域と市民、学生等との交流	自然や伝統文化といった地域資源を活かした中山間地の振興	地域行事や伝統芸能等を活かした地域づくり	スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進	その他
男	21.5%	14.7%	13.1%	20.3%	14.6%	14.6%	1.2%
女	24.0%	13.8%	11.0%	20.1%	14.9%	14.7%	1.4%

〔年代別〕

年代別にみると、「自然や伝統文化といった地域資源を活かした中山間地の振興」と答えた人は、50歳代以上が他の年代と比べ割合が高く、「地域行事や伝統芸能等を活かした地域づくり」「スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進」と答えた人は、年代が低くなるほど割合が高くなる傾向があるという結果になっています。

	上井・上灘・成徳・明倫地区といった中心市街地の活性化	子どもと高齢者の交流などによる異世代間の交流	地域と市民、学生等との交流	自然や伝統文化といった地域資源を活かした中山間地の振興	地域行事や伝統芸能等を活かした地域づくり	スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進	その他
20～29	22.8%	11.7%	13.3%	15.6%	17.8%	17.8%	1.1%
30～39	25.4%	11.8%	11.0%	14.7%	18.0%	16.5%	2.6%
40～49	22.8%	13.1%	14.7%	15.3%	16.4%	16.1%	1.7%
50～59	19.0%	14.0%	10.9%	22.5%	15.5%	16.6%	1.5%
60～64	23.2%	12.3%	11.7%	23.8%	12.3%	15.5%	1.2%
65～69	23.2%	15.8%	11.3%	22.7%	14.0%	12.1%	1.0%
70～	24.9%	16.6%	12.2%	21.2%	12.7%	11.6%	0.8%

〔地区別〕

地区別にみると、「上井・上灘・成徳・明倫地区といった中心市街地の活性化」と答えた人は、上井・上灘・成徳・明倫地区の中でも、明倫地区が他地区と比べ割合が高く、「子どもと高齢者の交流などによる異世代間の交流」と答えた人は、高城地区が他地区と比べ割合が高く、「地域行事や伝統芸能等を活かした地域づくり」と答えた人は、北谷地区が他地区と比べ割合が高い結果となっています。

	上井・上灘・成徳・明倫地区といった中心市街地の活性化	子どもと高齢者の交流などによる異世代間の交流	地域と市民、学生等との交流	自然や伝統文化といった地域資源を活かした中山間地の振興	地域行事や伝統芸能等を活かした地域づくり	スポーツ、文化芸術に触れる機会の充実及び活動の促進	その他
上北条	20.1%	17.5%	13.0%	18.2%	16.9%	13.6%	0.6%
上井	24.7%	12.8%	14.2%	15.6%	12.1%	18.2%	2.3%
西郷	25.3%	12.1%	12.6%	18.2%	16.7%	15.2%	0.0%
上灘	26.7%	16.3%	12.3%	15.0%	13.0%	15.0%	1.7%
成徳	25.5%	13.3%	11.2%	18.1%	14.9%	16.0%	1.1%
明倫	28.8%	11.0%	11.0%	20.4%	17.3%	11.0%	0.5%
灘手	21.4%	8.9%	14.3%	26.8%	14.3%	12.5%	1.8%
社	22.3%	12.0%	14.4%	21.6%	13.7%	14.8%	1.0%
北谷	18.4%	7.9%	7.9%	26.3%	22.4%	14.5%	2.6%
高城	16.7%	19.3%	11.4%	25.4%	13.2%	13.2%	0.9%
小鴨	20.4%	16.6%	9.5%	21.6%	15.4%	15.4%	1.2%
上小鴨	21.5%	12.9%	12.9%	24.7%	16.1%	10.8%	1.1%
関金	15.3%	15.3%	9.3%	27.4%	16.7%	13.5%	2.3%

～その他意見～

- ・ 倉吉に来たくなる理由を作る。
- ・ 一にも二にも人口増を図れば解消される。
- ・ スポーツ、文化活動、ボランティア活動等の少人数グループ活動への支援。
- ・ 1ばかり良くなることに不満。
- ・ 移住者、Uターン者と地元人との交流、意見交換(また、移住を考えている人々が気軽に体験できる事)。
- ・ 境港の様な町が活性化する取組。
- ・ 総合商業施設(イオンのような)の誘致。ゴーストタウン化しつつあるパープルタウンの活性化等楽しみのあるまちづくり。

- ・ 定年退職により県外から戻ってきましたが、フルタイム勤務はきついで週3～4日程度の職場を求めてハローワークに行くものめぼしい職場がありません。60代が活用されるような取り組みを期待します。
- ・ 車の運転ができない、自転車に乗れないなどのお年寄りには買い物にも行けない。食料の買い出しに行けるバスでもあればいいのだが、日に数本しか走らないバスはあてにならず、タクシーで買い物している。買い物難民を何とか救う方法を市が考えてみてはどうか？マイクロバスとか、日替わりで公民館をまわるとか。
- ・ 狭い地区にとらわれない心を広く持った市街地、活性化と農村の連携。
- ・ 上井地区は地区運動会に中学生がボランティアで参加してくれます。よい取り組みだと感謝しています。
- ・ 県立美術館を作りそのを中心とした文化・芸能による観光、まちづくり。
- ・ 温泉を活かした医療施設。
- ・ 新古の融合、古民家をシェアした店舗開発に。
- ・ 倉吉市独自の観光、商品開発に力を入れる。
- ・ インターネットを活用した観光産業。農業利用、田舎をアピール。

### Ⅲ まちづくりや市民サービスに関する意見等

#### 倉吉市の行う地方創生に関する取り組みについての自由記述（総括表）

倉吉市の行う地方創生に関する取り組みに関して、210人、述べ231件の意見が寄せられました。記載内容を分類したところ、最も多かったのは「経済の成長・発展に関する意見」で38.1%、次いで「信頼できる行政づくりに関する意見」が19.5%、「地域づくりに関する意見」が18.2%という結果になっています。

◆記載人数：210人

◆述べ件数：231件

※述べ件数は、一人の方が複数の意見を記載、あるいは複数の項目に関わる内容の記載で分類が難しい場合には、各項目に1件ずつ集計したものです。

項 目		件数	構成比	
1	人口の保持に関する意見	34	14.7	
2	経済の成長・発展に関する意見	88	38.1	1
3	人の活躍に関する意見	17	7.4	
4	地域づくりに関する意見	42	18.2	3
5	信頼できる行政づくりに関する意見	45	19.5	2
6	その他の意見	5	2.2	
合 計		231	100	

# 倉吉市の地方創生に関する自由記述の主な意見

## 1. 人口の保持に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	20-29	若い人を呼び込むために娯楽施設が必要だと思う。ボウリング場など、若者が遊ぶところが少ないと思う。働きやすい環境づくりのためにまず市役所が見本になって働きやすい職場を目指し、企業などに呼び掛ける事が大切だと思う。
男	50-59	人口を増やしている全国の市町と人口減をしている倉吉市の違いを調査、人が集まる町とは？集まる町と居住と働く場(企業誘致)を。
女	50-59	才能あるセンスのある人がUターン・Iターンする街にして下さい！
男	60-64	これからの倉吉を支えてくれる子供達が住みやすいまちづくり。又、安心して子供を預けて働ける環境づくりをお願いします。若者が地元で就職でき人口流出を防ぐ事が出来る様に。
女	40-49	Iターン・Uターンを可能にする為、仕事の斡旋、後継者作り、土蔵群辺りをもっと活性化させる。海外へ向けてアピール。
男	65-69	人口増を考えてほしい。人口減の要因が何かを考え対策を立てるべき。移住対策(空き家空地の有効利用)に対する補助金の確保。
男	65-69	育児施設(公共保育所)。
女	50-59	医療、子育て、福祉など。
男	40-49	年収による保育料の比率の方をもう少し考えてほしい。
女	70-	結婚されていない方が多くなりました。人口減少はここにあると思います。
女	40-49	若い人や子供たちが遊べる娯楽施設が全く整っていないので東部西部県外へと人が流れてしまっていると思う。ちょっと遊びに行こうと思っても市内では思いつかないし安心して遊ばせられる場所が遠すぎる。未来中心の遊具も人で溢れているので諦めることが多い。何か中途半端な物ばかりで「倉吉には何もない」というイメージになっている。
男	30-39	鳥取市の様に町コンを行うなども行ってもらったらいいと思います。
女	30-39	もっと子育てしやすい市にして欲しい。
男	65-69	少子化がこのまま続けば倉吉に限らずジリ貧です。子育ての環境整備を。
男	20-29	保育料を無料にする。育児休暇を取りやすくする。
女	30-39	人口減少では活力の創出はできないので空き家の入居支援、婚活支援、地域外より転入定住支援など人口増加と産業活性化が必要。税収も人口が増加しないと増えない。医療も人口が減少してはなりたない。
女	50-59	最近転入してきました。自然が美しく住みやすい所だと思います。倉吉市の自然や環境を全国にアピールしどんどん来てもらえるようにしたいと思います。
女	70-	保育所、小学校も無くなる地方には若者も住みたくないと思います。
女	30-39	出産できる病院が少ない。
女	20-29	保育料が高く、倉吉を離れている人が多い。例えば新しく家を建てようと思った家族は、倉吉ではなく湯梨浜町に建てたりしている。他との料金の差が、倉吉からの人離れ、子育てのしづらさにつながっているのだと思う。
女	30-39	子どもとふれ合いの場所をもっと作ってもらいたい(例：レイクサイド大栄の様な芝が広がり遊具のある所)。未来中心は、広い場所があるのにコンクリートなので。あの場所がもったいない。打吹公園は汚い。公園もベンチしかなく、親子でゆっくりできる場所がない。子育てを押ししている市なのに全然公共の場が整っていない。それなのに税金は無駄使いされている！！無駄な道路工事とか。天皇さんが来られた時。
女	70-	結婚しない女性がおおくなっていませんか？男性と出会いがない事、仕事に一生懸命で会社と家を往復するだけ。40～50代の男性でお嫁さんが欲しい人が周りに沢山おられます。子供が欲しくても産めなくなってしまいます。何かいい方法がないのでしょうか。
男	50-59	子育て環境は第2、第3子からの祝い金、高校卒業までの経済支援が必要。そのためには学校統合等による経費削減は徹底にやりきる事が重要。何を我慢して何に喜ぶかを明確にした行政執行を願う。子供にスポーツと勉強のよい環境作りを希望します。各種大会を主催し県外からの選手参加を増やすことも観光の一助になるのでは。

男	70-	定年退職者が出来るだけ本市に住んでくれる様、取り払っていただくこと。
女	30-39	本当に仕事がない。子育てをメインとしてその次に仕事という働き方をしたい。給与はあまり下がらない方がいい。小学生が土日遊ぶところがない。雨の日に遊べるところがない。雪道を除雪してほしい。せめて通学路全て。産業がない。出会いがない。スポーツセンターのような土日深夜まで運動できる無料の施設を作してほしい。病院(発達障害等子供専門)がない。
女	50-59	空き家や空き店舗が多くみられます。空き家バンク制度の利用は少ないのでしょうか。情報提供し空き家を有効活用する一方、やはり持ち主が住むのが一番なので雇用も含めたインフラ整備が急がれると思います。おいしい農産物を利用して商品開発や料理の紹介等、生産者や専門家、消費者を含めたチームで行うことが出来る様サポートがいます。
男	70-	家庭、地域で子育て出来る環境づくり。女性管理職では子育て出来ない。先輩は10人の子育てをやってきた。保育園で子育てをやったのではない。自力、地域でやってきた。子供は作るものではない授かるものとして大切に神仏に感謝しながら育てあげましょう。女性の管理職ではありません。先人の意志や行いを大切にする行政、国民、市民でありたい。
女	40-49	学校に行けない子供(心の病気、登校拒否など)が学校に行ける様に、支援できる学校の先生方や生徒の関係、学校側の対応などもう少し勉強した方がよい気がする。
女	70-	老人よりも小・中・高・大学等若い人達も交えてここに「住みたい」と思う倉吉にして欲しい。「もう」ではなく「これから」です。
男	30-39	人口減だからと言って、無くす、減らす事ばかり考えてはいけないのでは?どうにかして増やすことを考えていかなければいけないと思います。
女	50-59	私は倉吉にきて、出産前後、市役所、出産した病院の方々にとってもよくしていただき、「倉吉ってすばらしく住みやすい所」と感じておりました。市役所の方にはとても感謝しております。しかし、子供が教育を受けるようになり、見方が一変しました。話し合いができない?犬の遠吠えのように大声で怒鳴って言った者勝ちのようなものを小学校で感じました。先生に言っても改善しなくて、ご主人が転勤希望をだして子供さんを転校させるという例を数人知っています。1学年1クラスでは入学時の強者が卒業時まで、体制が崩れることはありません。先生の協力なくして。クラス替えがないといじめが起こると思います。学年には複数のクラスが必要だと思います。そしてマナーのない人が多いと思います。同和教育の前にマナー教育が必要だと感じております。
女	20-29	私はひとり親家庭で暮らしています。実家ではなく、独立して生活したいと思いますが、子どもがいると、なかなか難しいです。市営住宅のような、家賃の安いところや、子どもを預かってくれるところなど、もっと充実してくれたらいいなと思います。
女	65-69	若者に保育料の軽減や、未入所児については何らかの助成を考慮してください。
男	60-64	地域での小学校統廃合に関して、廃校地域に居住して子どもを育てたいと考える若い人はいないだろう。バス通学にするくらいなら、小学校に歩いていける距離にして住む方が選択しやすいと考えます。

## 2. 経済の成長・発展に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	50-59	明倫、成徳地区の本当に意味での活性化を！赤瓦も観光客だけでなく地域の人達が普段から買物、食事に利用できる街作りをお願いしたい。この辺りは肌着や洋服を買うお店がありません。旧市街地に魅力的な、若者が市外からでも来たくくなるようなお店を増やしてほしい。赤瓦には入りやすい「カフェ」がありません。是非気軽に入れる「おしゃれ」なカフェを2～3軒作ってほしいです。「白壁土蔵」×「昭和」×「下北沢・吉祥寺」=旧市街地。という街づくりをされてはどうかと思います。実際少しずつ素敵なお店が出来ているとは思いますが、もっともっと作ってほしい。
女	65-69	農業地域においても農地は荒廃し、街は空き店舗が目立つ。空き家も多い。市街地は賑わいを取戻し、農業地域は大型農業だけではなく、小規模でも80歳位までは働けるので高所得でなくとも個性をだし、生き生き暮らせる環境でありたい。現代はサラリーマンが多く、企業家が少ない。やりたい事が学べ、技術をいつでも習得出来る、例えば農業大学校の様に一般人に門戸を開く(安価で学べる場所)。そして、障がい者にも社会と関係を持てるよう県政だよりなどで随時紹介する。この様になんらかの手段によってよりたやすく情報が得られるよう配慮願いたい。
ね	30-39	技術者がいないのに企業を誘致しても、企業は来てくれない。まず教育で日本トップレベルの技術者を育てる。土地はあるのだから、人が育てば企業も寄ってくると思う。働きたいけど仕事がない人が、自治体の相談窓口相談しても、彼らはなにもわかっておらず、「福祉など仕事はいくらでもある」など、とんちんかんな事を言われる。仕事があっても年齢のいる人間は、年齢制限などにより、なかなか就職先が見つからない。人の相談に乗る前に、現実を知っておいてほしい。
女	40-49	先日大根島に行きました。各場所で皆がボタンを育てており、町ぐるみで観光地を作っている感じでした。蒜山でもGWや連休になると道が観光客でいっぱいになり普段の生活ができないだろうに、すごく歓迎ムードです。倉吉市に「ここは自分の所だ」という運転の方が多く、観光地という感じはしません。住民皆で「観光客歓迎！」位の意識を持つべきだと思う。年を重ねた人が働いていてもキビキビしている店(境港のプラントや倉吉のユニクロ)など感じがいいのでいいと思うが、若い子も働く場所を与えて欲しい。
男	50-59	市内の主要なバス停を早く4ヶ国標記にして下さい。又、主要な施設には無料WIFIを設置して下さい。バスの行先案内も4ヶ国標記を検討お願いします。
男	50-59	1ターナー者と呼び込む農林水産業の活性化政策。自然を利用した小・中・高校生への教育の場としての観光振興。
男	20-29	中部にイオンを作る。ラウンドワンを作る。高齢者施設を作り過ぎている！！
男	50-59	中部地区には魅力のある商店がない。イオンのようなショッピングモールがあったらいいと思う。
女	50-59	打吹公園の辺りがもっと賑やかになればいいのにとと思います。
女	20-29	観光が一つの大きな産業となると思います。
女	20-29	若い方が職に就ける様に職場の確保をしていく事が必要だと思います(大学等で一旦県外に出た方々が安心して戻ってこられるような)。
男	50-59	地区の後継者の育成、特に農村地区においては、農業の担い手が少なく、営農組合を立ち上げて水田を作っている、高齢者が多く農業収入では生活が無理な為、青年層が参入できない。
男	65-69	円形校舎を残し、全国初のフィギュアの殿堂に生まれ変わらせる。白壁土蔵群からさらに観光ゾーンを拡大し、市内の活性化に繋げる。それに伴い、雇用機会の増になると思う。
女	65-69	皆で倉吉の良い所、産物を観光客に対し呼び込みして、鳥取か米子の様に頑張ってもらいたい。上の人が号令をかけて皆でかかっていくことが大切。皆が参加して皆の経済が少しずつ潤っていく様にして下さい。
女	40-49	倉吉産農産物・海産物のブランド化。
女	20-29	服屋さん「GAP」を作ってもらいたい。GAPで服が買いたい。
男	50-59	行ってがっかりした街ではなく、行って良かった、又来たいと思える街づくりをお願いしたい。
男	65-69	農業政策の更なる拡大をお願いします。

男	50-59	イオンを作ってください。
男	65-69	たからや跡地の有効活用
男	65-69	関金温泉の活性化、取り組みが全く活かされておりません。合併以前の方が良かったという意見をよく耳にします。中心市街地にのみ力を注いでいる感じがします。もっと行政の考え方をわかりやすく伝えてほしい。関金町も市民であることを忘れないでください。
男	70-	大企業の誘致に、トヨタ自動車、パナソニック、東レ等(従業員3千人規模の工場)を。自分の経験によるものです。安心した生活ができます。
女	60-64	成徳・明倫地区の商店街に用事が出来、ほとんど初めて行ってみました。よく見れば若い人が新しいセンスで商売をしておられて、次回じっくり見て回りたいなと思いました。もっと発信してアピールすれば良いのに。例えば赤瓦周辺も「観光客の地区」にしないで地元の人達もリピートできる「普段着の町」にしてお店も拡散させて、そぞろ歩きが出来る町並みにすれば観光客の滞在時間も長くなり食事処とか発展すると思いますが。
女	20-29	漫画と絡めた地域の盛り上げ方があるが、ブームに乗っているときは良いが、今後飽きがかかるのでは？
男	30-39	何かのアニメとコラボでもしてみれば？
女	65-69	若者の雇用創出による人口流出の防止を。地元雇用が継続して行われれば若者が定着し増加につながる。又、郡部では二世帯を老人層に希望しても若者が望まないケースが多々あり、郡部こそ小規模の市営住宅(広め)を用意できれば、それぞれの地域から人口が流出しなくなるのではないか。
男	70-	ここで生まれ育った若者がここで生活して生きていける仕事、職場がある事が第一で、そこから結婚があり、子供を育てていける環境を作る事だと思います。
女	50-59	県外に出ている人でも仕事があれば鳥取に帰りたいという人はいるが希望の仕事がないので帰りたくないという言葉。人口減少は歯止めがきかないのは残念だ。雇用の拡大を増やし人口の増を、人口減少に歯止めを。
女	50-59	倉吉に定住したい！と思える雇用の拡大が必要。
女	50-59	就職できるなら帰省したいという若者の声を何人も聞きます。自分の力を発揮できる場(職場)を求めても倉吉にはないというのが子供たちの本音なのかと思います。倉吉の魅力はなんなのか倉吉が活性化するための手立てを行政も市民も本気で考えていきたいです。
女	70-	倉吉駅を中心にイオンの店や青い木々等家族で遊べる場所が欲しい。
女	40-49	まず働く場がなければ、若い人たちはどんどんこの倉吉(田舎)から出て行ってしまいます。若い人たちが都会へ進学してもUターンして帰ってこられる(安心して暮らせる)環境づくりが一番大切だと思います。同じ働くならやっぱり少しでも給料がいい方がいいです。
男	70-	倉吉駅北口側の開発が全然進んでいなくて淋しい限りです。早く活性化のある街づくりをしてほしい。
男	50-59	リピーターが行けるように、白壁土蔵群の内容を充実させる。現在の内容では再度観光に来るような気持ちにはなれない。又、滞在型観光も考えてほしい。
女	40-49	子ども達は就職先がない事に不安を感じ、県外に目が向いてしまう様に思います。わが子も大学生がいますがこちらに帰ってきてやりたい仕事がないと言っており、県外で仕事を考えているようです。子ども達が帰ってきてくれれば私自身の老後も安心して過ごせると思いますが、子どもの自立が1番なので無理は言えないと思っています。是非企業誘致に力を入れて頂きたいと思っています。
男	40-49	倉吉のB級グルメの様な名物をつくる。ラーメン横丁の様に店を集めて人が集まるまちづくり。市外からもアクセスし易い場所に道の駅モールを。
女	50-59	若者が働ける場が少ない。大学を出ても戻ってきて働いて家庭を持ち、家を守り地域や住民と繋がりを築いていけるまちづくりができていない。このままでは後を継いでと子供に言えない。地域活性化に向けてどんどん活動してほしいです。
男	30-39	せっかく未来中心やラグビー場など、若くても受け入れる事が出来る場所があるのにコンサートなど参加型ではなく受け身型のイベントしか行わないのは勿体ないと思う。少なからず短大の学生もいるので、ポテンシャルはあると思う。スポーツ大会であるとか(市主催)。
男	70-	スーパーや大型店はどんどん増えるが町は寂れるばかり。空き家は増え、某業者は空地、田畑を潰し次から次へとアパートを建てる。倉吉をどうするつもりかと問いたくなるほどの凄まじさだ。ほんとにどうなるだろうか。

男	70-	独自性(オリジナリティー)のある産業づくりと育成にとりかかる。5～10年かけてでもこれらを育て産業の柱とする(今すでにそうだと思われるものについては一層支援していく)。あのまちには〇〇がある。全国でも屈指の魅力でと言われるもの、産業面、文化面、商業面、サービス面で是非そういうことやモノを育成、強化して下さい。
男	65-69	白壁土蔵群を核とした創造的観光産業を増やして観光客増加による市内の活性化を図ってゆく。中部4町とも支援を図る(P Rによる情報発信)。全国規模的な各種イベントを倉吉市で開催する。スポーツ、文化、諸会議等々。他県から人を呼び込んで倉吉市を活性化させていく。
男	30-39	旧市街地や老朽化の激しいあの辺りの建物を取り壊し、宅地やアパートにしませんか。住まう土地が市内に無いので困っている人を見かける。
女	40-49	若者が県外に出ないような、活気あるまちづくり。
女	20-29	倉吉という土地が嫌いです。閉鎖的。この土地に来てから友達ができませぬ。若い人の活気がなく、運動サークルなどのイベントが少ない。こんな店もなく、遊ぶ所(イオンなど)がない土地で住みたくないです。県外から来た人がいるんな人と関われる機会(友達作りの場、交流)をメディアを通して伝えていくなど必要だと思う。倉吉に来て3年。日々孤立していきます。白壁も県外の子にしょぼいと言われました。可愛いお店もあるので、もう少し盛り上げる(税金を使って)など必要なのでは。
女	70-	一度いらしたお客様が又鳥取県や倉吉市に行きたいと思って頂けるような、心からの対応が必要だと思います。折角の赤瓦ももう少し整備されたいかがでしょうか。駐車場が分かりにくいです。
男	40-49	明倫円型校舎存続等はどうあれ、とりあえず流行りのフィギュアはやめた方が良くと思います。ただの一時的なネタであり、倉吉の風潮に合うかどうかを、長い目でもっと議論すべきです。
男	60-64	企業誘致により若者の定住をはかっていけばと思います。
女	50-59	国道や、山陰道などの通り道沿いに、観光名所、デパート・コンビニが並んでくれば、次第に人通りも多くなり、雇用の幅が広がるのでは?時間がかかると思うが。
男	50-59	大型商業店の誘致による市外客の取り込み。
女	30-39	公共交通機関利用促進の為、まずは市職員の方がモデルとなり通勤に利用。町の中を歩く人が増えれば店も賑わうことが出来ると思う。一般企業にも少しずつ浸透していけばバスの時間までに仕事が終わることになり、残業が減り帰宅時間が早くなることで育児が充実。少しは子育てしやすくなり子供を作りやすくなるのではないかと思う。
男	50-59	地域の活性化と商工会議所等の経済界の認識を変えていく必要がある。従来の保守的なスタンス並びに目先、小手先の言葉を並べただけの方針では、何も前に進まないし人口減少による衰退が目に見えている。
女	50-59	歴史文化伝統を大事にしながら住みよい文化的なまちとして積極的に発信する「経営」の視点が必要。駅前から市役所通りの櫓とツツジ並木をなくすのではなく「アザレアのまち」として美しい景観、文化的な交流のある賑やかなまち、農村文化、ウォーキング、山登り等健康的な町(温泉)としてのP R、意識改革が必要と思う。倉吉市民は狭い。自分の地区の事しか考えてないと思う。なぜ成徳と明倫を特別扱いするのでしょう?あんな狭い地区に2つも小学校は不要、無駄使いです!
女	50-59	大学卒業後に地元に戻りたい若者は多くいると思いますが、現状では仕事がない。特に正職員として雇用してもらえる会社が少ない。企業支援とサポート体制の充実をお願いしたい。
女	50-59	若い人や女性目線での企業に対する支援金の充実。
男	60-64	倉吉市内、公共施設も含め、空き屋が多いので取り壊さずに内部リフォームの上、文化借用資材として利用料を取り、市の収入を潤すようなことはできないのか?国内では演劇合宿とかダンスチームの練習場に一定期間有料で貸してあげるとか、国内、海外(例えば姉妹都市のカンウオンドゥ等)の若手技術者達の作品を紹介、販売できる場所とかにするとかはできないのでしょうか?
女	40-49	若者は1度は県外に出て働いてみたい又、県外の学校に通いたいと思うものかもしれませんが、倉吉に帰って来たいと思ったときちゃんと働ける職場や企業支援があり、帰って来られる環境を整えられたらと思います。若者が生き生きと過ごせることが大切。
女	30-39	仕事の採用を考えてほしい。

女	70-	倉吉市にあった企業誘致を更に進行してもらい、若者を地元へ。頑張ってください。
女	30-39	中部には土地が沢山あり県東部・西部からも距離が近い場所である。よって中部全域を文化の地域として県立美術館、博物館、大学といった芸術文化の中心地とするべき。そうするとどんなに遠くからでも人は観光にやってくるし若い世代でもおしゃれな街に住む。
女	40-49	他県から来ているので倉吉は良い所もあるが住みやすさという点で欠けている面が多い。雇用も少ない、低賃金、若者の余暇が過ごす場所がない、買い物ができる場所が少ない、鳥取、米子へ行かないといけない(特に子供のスポーツ用品)。大型のスポーツショップが欲しい。個人的にバッティングセンターも欲しいです。
男	60-64	若い世代の定住の最も大切な雇用に関してなかなか困難な面があるのが最大限の努力を望む。若者の望む職種が限られている事が大きなネックであろうが、地方創生を実現するにはあまりにも微力と投げ出すことはますます地方は衰退してしまう事になる。倉吉の魅力を探求しビジョンを構築する民意をもっと吸い上げる工夫が必要。まちづくりや村おこしの主人公は住民。その住民の意思改革の為の手立てがまず第一歩。
男	70-	未来中心の活用について、立派な施設があるので各種の会議、大会等、諸行事を県内はもとより県外からも積極的に誘致し、倉吉のPR、賑わい、人との交流、物産販売に資してはいかがですか。
女	70-	古くから伝わる祭りや行事等を絶やささないよう倉吉独特な伝統を活性化につなげていければいいと思う。
女	60-64	定年退職者へ(中高年)の働ける職場作り。今まで経験した事が活かせる様に会社への雇用を充実させてほしい。
女	50-59	大型スーパーが撤退し、鳥取・米子に行かなくてはなりません。魅力ある百貨店やテーマパーク等があったらいいと思います。休日に過ごす場所があまりにもなく、自然が豊かなので何かできないかと思っています。山陽へのアクセスがあまりにも悪いように思います。時間がかかり過ぎます。
男	70-	関金地区、成徳地区(旧市街地)と上井地区が各々分断して一体感がないのではないかと、人、交通(公共バス)システムが繋がる(連携する)まちづくりが必要ではないかと。「観光資源」を境港と比較してみると倉吉の成徳、明倫地区は優れていると思うし、何故観光客の入込数に大差あるのか？行政と観光協会、商工会の連携に反省する点ありと思う。
男	70-	全国一の最少人口、そして貧乏県が発展するには、企業誘致による働き場所の確保が大切。所得アップが何をしても大切だと思います。
男	50-59	プレミアム商品券はどこもやっているが、お金がない人は買えない。どこで使えるかわからない。HPも情報がない。市報には書いてあるが県内全体で考えてみては。一年間通してみてもは。
女	40-49	倉吉で働きたい、遊びたい、楽しみたいと思える場所が本当に少ない。高齢者に対しての活動は盛んだがそれを支える若い世代に対して活力になるような場などが無い為、倉吉離れが多いと思う。もっと倉吉の住民でよかったと思えるまちづくりなどを希望する。
男	65-69	行政には関係ないと思いますが倉吉市の観光施設の1つである白壁土蔵群の周辺、もう一つ綺麗になりませんか。例えば小川の水中、あまり綺麗ではなくゴミ等も流れている。又、空き家が多く、ボロボロになっているからせっかく観光で白壁土蔵群を見に来ても、すぐその隣にテントの破れたボロボロの家があったり、土蔵が壊れていたり汚く嫌になってきます。もう少し観光地らしくすっきりとした街並み(せめて外景だけでも)にできないですか。外部の観光客集客の自信が持てません。
男	50-59	仕事があって住む理由となる。企業誘致については当面継続して行う必要あり。
女	30-39	休日になれば、若者(子育て世代含)は鳥取市、米子市へ出かけます。倉吉市内でも食品、生活用品などは購入することが出来ますが、すべてのものが一括して揃うこと、価格的な事、子ども達や、若者が遊べる場所などを考えると、倉吉市内では叶わないというのが現状です。年齢層によって求めるサービスや施設などの違いはあると思いますが、どの年代から見ても魅力的な街にするためには、すべてのものがバランス良く配置されていることが必要だと思います。スーパーだけ増えても(コンビニもですが)根本的な問題解決にはならず、一時的人の流れというだけの変化は逆効果ともいえる危険な現象のように感じます。

男	30-39	全国初となる農業特区を創る。全国的にこれから農業が少なくなれば、国の資本となる農業産物を独占する勢いで販売できる。農産物は作れる物全て。農業を通じて若い世代を増やす事を目指す。住みやすいを理由に富裕層のシニア世代が住めるマンションなどを建設する地域に使ってもらえるのでは？安い考えですがどうでしょう。
男	50-59	”県外から金を集める”という視点においては中部の他の町と連携して観光に注力すべきと思います。SLを運行しようとしている若桜鉄道・鳥取市や米子市なども連携し、年に何回か山陰本線鳥取米子間にSLやまぐち号用のSL(C57、D51)を借りて、カニスキーツアーに絡めて走行させれば集客効果・経済効果は見込めると思います。
男	65-69	夕方五時になれば商店が閉まって、観光客がウロウロしている。賑わいを創生するには程遠い。行政にタッチしている人達に市内を歩き現状を見て頂き、(宿泊は三朝町だから仕方ないとあきらめ) どうすれば行ってみたいと思っただけかを考えるとどうですか
男	70-	当市におかれても「地方創生元年」として位置づけられていることは「市報くらよし」でも拝見しました。実行あるのみです。この問題はあらゆる施策の基本になるもので石破大臣が今更提唱される問題でもなく、新しい提案でもないと思います。ただ実行あるのみです。特に当市としては今後とも「生産する企業誘致」には何は置いても常に第一に取組み、実行あるのみと思慮します。
女	40-49	中心市街地の建物(シビックセンターたからや、合銀)がなくなった為、旧市街地の空洞化を強く感じるようになった。最近では明倫地区の「メイリーン」はちみつや、小川酒造の(河原町)建物など新たにPRできるものが増えてきたのもっと地区ごとの催しや(同じ倉吉に住んでいても他地区の催しは知らなかったりする)観光客向けに発信できる物産を、「倉吉のお土産」「倉吉にしかない特別な物」をもっとアピールするべきだと思う(農産物ではなくて)。例えば倉吉がすりなど。くらすけくんは園児にとっても人気があるので親しみやすいキャラクターだと思うのでそこを上手く活用する。
男	40-49	新町～宮川町(バス通り)の再開発と、先の火災による損失を防ぐ為の対策として防災設備を充実させる。
男	40-49	衣料品の購入が不便なのでしまむらを旧ジョイニーの跡地へ誘致してほしい。河北エリアばかり新規出店があり旧市街地にはなくとても不便である。
男	—	企業誘致は全国的に負担ばかりで成功例は少ない。企業は積極的に支援。又既存の企業や農村業の発展に力を入れる。
女	60-64	関金温泉に足湯を作る(ラドン温泉をもっと前面に出しては)。
女	70-	中部地区の鉄道玄関口である倉吉駅活性化の為に、倉吉駅北側の開発土地の有効な活用化に向けて、鳥取短期大学につながる道路の拡張工事が急務。駅前の旧経済連ビルや空き店舗の具体的で有効な活用方法の検討。倉吉駅名を地方創生に繋がる観光客の視点から印象付ける為に「温泉郷駅」に改称する要請活動及び足湯設置とその運用作の具現化。
男	60-64	企業誘致で人口減少対策を(特に若者の流出を減らす)。自然文化(財)を活用した交流スポット作り。
女	70-	中山間は米作りだけでは生活できません。今持っている耕作地はどうすればよいのでしょうか。

女	50-59	倉吉市には幾つかの歴史的建造物があり、また陸上競技場を中心としたスポーツ施設群があり、関金を中心とした温泉および雄大な自然の緑・田畑、文化施設として未来中心がありますが、それぞれが個々単体としてあり、集客・賑わいに結びついていないように感じます。そして年に数回、全国的なマラソン大会が、そして野球場での大会もあります。参加者のご家族等も大勢見えています。車で。しかし駐車場が少なすぎますし、大会終了後には野球場下交差点の交通渋滞がすごいです（野球場下の交差点は南北の青時間が短い）。鉄道および道路交通網の整備。野球場下の交差点の信号制御を、大会等があった時は大会の始めと終了時間に大会用信号制御にさせていただき、南北の流れもよくしていただきたい。また右折専用レーンをつくったら、もっとスムーズな車の流れになると思います。他、県内外から車で乗られる方が多いように思いますが、赤瓦～明倫地区にかけての駐車場を含め、環境客目線で観光ルートを一体的に整備する必要があると思います。関金温泉を含め、それぞれが点でとどまり、つながっていないように感じられます。また鉄道について、倉吉に住んで感じたことは、JR が単線なので列車すれ違いのための待ち時間が多く、列車が不便だから車利用になる。列車を利用する人が少ないから列車本数が少なくなり、必然的に料金も都市部に比べて高額になるのでは。山陰新幹線の前に、山陰線複線化を要望します。電化は必要ないと思います。電化されてないから電磁波の害が少ない、数少ない県だと思えます。JR 複線化をぜひとも推進していただきたく思えます。来市者のレポートを増やす為にはまず、鉄道および道路交通網の整備が必要と考えます。
女	65-69	地方創生に関する施策について、現在どのような取り組みがなされているのか情報が乏しいように思われます。高齢者の雇用促進として、フルタイムではなく、短時間労働の職権、企業が増加するような施策。住民リフォーム、エコポイントの倉吉独自の制度を設けてはいかがでしょうか。
女	70-	農産物の加工に知恵とアイデアを結集し、これぞという逸品を製品化し、世に出す。農業が栄え、雇用が生まれ、市が有名になる様な特産品を作る。
男	60-64	農業の再生です。鳥取県は全国でも最も人口の少ない県です。その中で生活するためには農業を仕事として生活できる環境が必要と思います。国連でも 2014 年から国際家族農業年を提唱しています。持続可能な農業が必要です。

### 3. 人の活躍に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	20-29	街路樹や並木道、河原の整備・ゴミ拾いのボランティアもしくは日雇いアルバイトがあれば参加したいと思う。
男	70-	踊る阿呆に見る阿呆、そんな阿呆がいなくなって笛吹けど踊らず。かと言って趣味もなし。趣味をもつにはゆとりを要す。遅いなんて言うてはおれない。やっぱり人づくりでしょうか。興味をもたせるには？不明！！今の大きな流れ変えられる？しかし！！
女	60-64	若者が定住し、生活ができる倉吉市となるよう、他県に出て学んだ事を生かせる街づくりが必要と感じています。
男	20-29	とりあえず行動を起こす事が大切だと思います。そして行動を起こす上で大切な資金を集め、その際に広報やPRを忘れないようにする。活動をもう少し物が届く位置まで広げる事をする。目的や目標を明確にする。一つ一つ問題を解決する。考えなしに行動せず頭を使ったり、人の意見に耳を貸したりする。行動を起した後で何か得るものがある様にする。
女	50-59	障がい者の職場を作してほしい。
男	40-49	教育の充実を図る。とっても重要だと思います。暗記型授業だけでなくしっかりと物事を考え発信できる力をつける事(アウトプット)強化！倉吉市の文化を守る事。外部から人が集まる仕組みを徹底的に考える。
女	70-	女性が働くから子育てに無理がある。子供との話し合い、躰が全くできていない様に思います。小、中学生に5人声掛けしても1人しか返事がありません。ここから出発すべきです。自治公民館も若い人になり、自分たちの生活が1番、2番が公民館事業になってきました。中、高から公民館に関われなくてはだめです。

女	40-49	大学進学等で県外に出ても、又倉吉に帰ってきたいと思える様な魅力ある場所にしないとせっかくお金(税金)をかけて優秀な人材を育てても県外に住んでしまう様では勿体ないと思います。
女	50-59	市内の中心部に的を絞った意識調査に感じますが？小学校の統廃合問題にしても小規模校を早い段階で統合しようとする動きがあるようですが如何なものか。子供の教育を中心に考えるならば地域密着型を最低条件として考えるべきで、無駄な対応(統合)は避けた方がいいのではないのでしょうか？文科省の方針で統廃合が進めば本当の意味での子供を育てていけるのでしょうか？地方創生とは何かを慎重に考えるべきだと思います。
男	70-	我々高齢者は先の夢もないです。若い人たちが希望を持てるまちにしていけることが大切です。
女	40-49	以前中学生が職場体験をしようとしたが受け入れ企業が少なすぎる為中止になったことがあった。この様な時受け入れた企業の店の目立つところに「優秀受け入れ企業」等、少し大げさだがステッカー等を貼って周知出来る様にすれば、将来の活性化に繋がって行くのでは、と考えています。
男	70-	人口増の為の施設は必要と思うが、ここで育った子供たちが大人になってこの地域に愛着持って「Uターンする」「たびたび帰省する」「ふるさと納税」などをする為には、子供時代にこの地域の自然の中でたっぷり遊ぶ事が必要と思う。そのための施設がもっと必要ではないだろうか(例えば打吹山、外道山、向山、大平山などの遊歩道の整備など)ディズニー、USJなどの人工的な遊び場よりも山川海での遊び方を知らせたい。かつての子供は知っていた。
男	30-39	倉吉は県の中心にあるが、買い物等は西部、東部に行ってしまう。中部でなにかしようと思ったり、買い物しようと思わない、というか思えない。東部・西部の人から「倉吉って何かあるの?」と言われても「何もない」しか言えない。何かインパクトのあるものが欲しい。もう少し若い世代の意見を反映してもいいと思います。若い世代10~20代を県外に出さないことが必要だと思う。
女	65-69	定年退職された学校の先生とかまだ若くて元気でおられます。そのような方にまだ必要とされる学校の方とかいろいろな分野で活躍されたらとおもいます。若い先生もいいですけど経験豊富ですしまだ勿体ない気がします。
女	40-49	障がい児の卒業後の就労の場の拡大。若者が県内(市内)で就労できる環境。
女	30-39	子どもに聞いても「大人になったら、県外に出たい」と言っていることから、(いつまでも住みたいまち)に思ってもらえるまちづくり、就職場が増えればと思います。
女	50-59	近年、大人の発達障害がクローズアップされています。目には見えない特性のため、「どうしてそんなこともできないの?」と思われがちで、本人もオープンにできない傾向にあります。そんな人たちが直面する壁の代表的なものが「就労」かと思っています。障害者手帳を取得するほどではないけれど、特性のために仕事を得にくい人達への支援(どうしてもできにくい作業を免除、得意を活かせるなど)の仕組み作りをお願いします。

#### 4. 地域づくりに関する意見

性別	年齢	記述内容
女	30-39	市民がまちづくりに参加しやすい体制づくり。
女	70-	80歳という高齢ですのでとにかく健康で自分のことは自分で出来る様に心がけたいと思います。毎月の生活をしっかりと暮らしたいと願っております。
女	40-49	全てのことに魅力のある市にしてほしい。
男	70-	中心市街地の再開発。古いお家は取り壊して老人と若者が広い土地で住める様にする。
男	30-39	天女伝説などをモチーフにした市名に改名してみてもいいと思う。「打吹市」「打吹駅」など変えるなら思い切って変えなければ変わらないと思う。アンケートとっても机の上で広げただけじゃ始まらない。鳥取の中心なのに鳥取市や米子市に行ってしまう。残念だと思います。
女	60-64	地域でも行事を作り子供から高齢者まで参加して触れ合いができ子供のことや日頃のことを話せる環境を作る事が大切だと思います。
男	60-64	若者の交流事業。

女	70-	先は身近な町内から血の通った交流、ふれ合いにより助け合い話し合い住みよい隣人愛を育むことから始めていく(隣人愛)。
男	40-49	効率の追求によって経済循環を拡大するという思想が破綻した現今、数字だけではない領域にその答えがあるのだろうが、これは世界中の誰もまだ発見できていない命題である。そして倉吉にしかできない事、特にエネルギーを傾注できる(かつての千歯)ものとは何か、私にはまだわかりません。
女	50-59	若い人が買い物をする所がない(鳥取市か米子市に行ってしまう)。私もその中の1人ではあるのだけど、倉吉からでなくても1日十分過ごせる街になればいいと思う。コンサートもいつも鳥取か米子なので、反対に鳥取市や米子市から倉吉に来てくれるようになってほしい。その時に倉吉のこともアピールできたら。
男	65-69	高齢者が利用しやすい運動場(グランドゴルフ、ウォーキング)。
男	60-64	”〇〇地区まつり”のような年一回の行事に高額に補助金を使うよりも、毎日地道な地域活動をしている少人数グループへの支援を手厚くすべきだと思う。これからは日常の取組、積み重ねが大切。
女	50-59	独居老人が増えています。身近に気軽に立ち寄れお茶を飲みながらコミュニケーションが取れる場所があるといいのでは。
女	20-29	倉吉は他の市に比べて老若男女問わず利用できる娯楽施設が少ないと感じました。又、空き家・空き店舗を使って若者向けのチャレンジショップを作ってみてもいいかもと思います。倉吉ならではの文化、伝統などを若者にも馴染めるように工夫する、交通の便を良くする必要があります。白壁土蔵近くでの倉吉餅を着て街並みを歩くサービスはいいと思いました。
女	70-	水と緑と文化のまちというキャッチフレーズに合わない街路樹の伐採、剪定などを過剰にしないでほしい。米子市のけやき通りの様にみんなで大切に守り育ててほしいと思います。
女	65-69	インターネット等、情報網を利用して倉吉市の良いところ(観光、産業、住みやすい土地である等々)をもっと日本中にPRすべきと思う。一度は訪れたい街みたいな、興味を持ってもらうことが一番と思う。華やかではないが心が安らぐ、ホッとする場所であれば、人はまた訪れたいと思う。季節ごとの美しい自然や、整備された街やいつもきれいな公衆トイレは、他市にも負けないと思う。
女	70-	人(子どもから大人まで)が集まること。たとえば美術館を作り、良いものを展示する。これから未来に向けて残せるものの建設。歴史あるものを再発見して市を中心に守り、他へ発信して市県の財産となりうるものを育てる。
女	70-	今私は一人で生活しています。自営業なので国民年金です。年金ではとても生活することが出来ません。元気のように毎日働いています。そして一人でも多くの人とおしゃべりをして、ボケないように子供達に心配をかけないようにただ自分の事を守ることで精一杯です。
-	70-	中心市街地において空地、空き家が虫食い状態で、かつ広がりを見せている。公的な投資として土地を集約し活用できないだろうか。農地の区画整理のような住宅地の集約再生ができないか(古い家屋は現在では狭すぎ形が悪すぎ)。古い住宅地である明倫地区には住民人口の多さに比例し、公的投資が少なすぎた。今残された資産は旧明倫小(円形校舎)である。地区のにぎわいの拠点とすべく今の姿での活用計画に全力で取り組んで欲しい。
女	50-59	地域ごとの祭り等を通し、人とのつながり(子どもが大きくなっても、大切なものになる)を作っていく。有名な神社でも、名前だけなのでは…。
女	40-49	お年寄りも健康寿命が延びるよう元気で若者に迷惑をかけぬ様、長野県などをお手本に40~50歳代から何か健康に意識が高まる取り組みを行ってもよいのではと思います。
男	40-49	公共ギャンブル施設があれば人は集まってくる。
女	50-59	昔バスターミナルが堺町にあった頃、とても賑わっていた事を知っているものとしては、今の倉吉市はサービスが点在して自家用車がないと何もできない街になっている気がします。特に高齢になってくると移動にも時間がかかるし重い物を持つての移動は大変です。バスターミナルの近くである程度まとめてできると年をとっても動きやすいかなと思います。
女	70-	地方創生の名のもとに上からの目線で押し付けているところがあるのでは。土地が家が荒れていると言われるけど、高齢と共に動けないこと等困っている者もいるという事知ってほしい。

女	65-69	東洋経済の住みよさランキングで高順位であると聞いたのですが、人口当たりの病院数や介護、その他いろいろあると思いますが、これから新しい経済の発展は倉吉にそう望めるものとは考えられません。それなら老人、子供たちに住みやすい市としてめざした方が良いのではないかと。老人が集まればその周囲には若者も集まります。例えば温泉を活用した医療施設等で全国からリハビリを求めている人達を呼び込むこともできるのではないかと考えます。
女	60-64	大げさに言えば緑の多いイギリス郊外のような1軒ずつが緑に囲まれ何世代か住んでも飽きのこない住環境になればいいです。どうぞ市長さん、イギリスの街並みを市議会委員の方と研修されてはいかがですか？10年後、20年後鳥取の倉吉はみんなが住みたくなる街だと、そうすれば自然に若い家族が増えてくると思います。思い切った街並みに変化する事楽しみにしています。東京までも空の便があり便利で海岸線も美しい、温泉がありおいしい魚も豊富なこんな素晴らしい県は住まなければ勿体ないです！頑張ってください！
女	60-64	主人が定年退職してから家の仕事をよく手伝ってくれるようになりました。やはり夫婦といえども、60歳を過ぎると種々大変になってきます。近所でもそうですが何事も協力し合うことが大切なのではないのでしょうか。
女	60-64	最近の災害はいつどこで起きるか分からない為、防災施設の建設等の充実をお願いしたい。広い駐車場などの隣接、高齢者等が安心して避難できる場所が欲しい。
女	65-69	一人ひとりに光を当て、心が通う、そして参加して良かったと言える行事が増えると良いと思う。大人数で会合しようと言われても会場が有料であればなかなか計画が難しい。気軽に参加できる行事を組んで欲しい。
女	30-39	アルツハイマーの老人が一人で住むことがないようにしてほしい。
男	50-59	子供からお年寄りまで遊べる遊戯施設が少なく(ボウリング場の閉館など)東部・西部地区に流れていくのは仕方がない。もう少し娯楽施設を増やすべきである。
男	70-	地域におけるコミュニケーションの場が自然に失われている感がある。
女	70-	町おこしとしていろんな祭りを実践された方がいいですね。
女	40-49	子どもがのびのび遊べる場所を作ってほしい(公園、施設等)。いろんな体験をさせてあげたい。高齢者との関わりや協力ももらい、いろんな人が集まれる空間があるといいです
男	30-39	倉吉駅を高架にして、一度上がればホームの出られるようにする(今は改札から入ると、また下に降りなければいけない)。北口にショッピングモールを作り、ペストリアンデッキで結ぶ。南口もペストリアンデッキで信号を渡らずに済むようにする。北口から短大を通り、東郷池南側まで広い道路を作る。山陰道羽合から倉吉駅を通り、中心街まで高速道を作り、真っ直ぐ1本道で気軽に来られるようにする。
男	70-	集会等参加して、人と話し合う。
女	70-	夜、暗いところに街灯が欲しい。大正町が置いてきぼりにされているように思う。白壁ばかりが賑やかそうに思う。
女	20-29	市民が参加しやすいイベントの開催。交流できるもの。
女	70-	上灘では朝6時30分からラジオ体操をしています、健康にもなるし人とのつながりもあり楽しい。そんなところが沢山あれば良いですね。
女	70-	町内、地区がこぞって参加できる何か、皆が参加できること。行事が有っても他人事と思わないでそれぞれの地域で考える、発想することが第一。何をやっても人ごとでは前に進まない。参加する人は限った人。それでは何も始まらない。
男	30-39	夜、街が暗く怖い。活動時間が短くなる。市内企業に、街の一部をアダプト事業のように管理を任せて、民内企業の考える街づくりを表現してみたいはいかがでしょう。
男	65-69	新たに創り出すことも大切だが今まで守られてきた地域の単位を核として活力・夢・希望を相互に競い合う工夫と施策が必要。旧村又は小学校区を時の流れに任せるのは今ではなく足掻く事も必要。地域を守るため。どんなに小さくても隅々まで希望の光を当てることで倉吉市全体が生き生きとして末代まで続くことを願いたい。

## 5. 信頼できる行政づくりに関する意見

性別	年齢	記述内容
男	70-	年金生活をするものですが、毎年引かれる額が多いように思います。年金で文化的な生活が出来るように努力してください。自分勝手かもしれませんが自分の生活でやっとなです。他の人を助ける位の余裕があれば、カンパその他力になれると思うのですが残念です。
女	40-49	特別な策も必要だとは思いますが市民生活の基礎基本を重視する事を忘れなければ、時間はかかるが成り、大きく崩れることはないはずだ。国の方針、世間の流れにあまり惑わされず、地道な取り組みをされる事を希望します。
女	70-	住民の活に耳を傾けてほしい。市の仕事だけでできれば、これだけではいけません。
女	70-	最近東京に行って参りましたが、国分寺市には以前より100円バスが30毎に運行されており、年齢に関係なく利用されております。羽田空港から浜松町までモノレールで490円、浜松町から東京(山手線)まで160円と、利便さと運賃の安さに改めてビックリです。私の長坂新町は1時間に1本、駅まで片道420円なので一つ停留所の先から乗車するようにしています。
女	70-	市民が倉吉の行う行政サービスについて、理解していない面が多いのでは。私もその中の一人だと思う。なるべく情報をキャッチする様に市報を読んだりしているが年を重ねるごとに今流行の電気製品が使いなくなる一方で、取り残されていってしまう傾向がある。高齢者になればなるほど、取り残されていく気がする。年齢を考えず老人・成人・子供と何とか話し合い今後のまちづくり、人づくりにつなげる方法を考えてほしい。
男	50-59	人口が減少する中、全ての地域に限られた予算で行政サービスを維持する事は困難と考えます。行政サービスを維持可能な地域を早めに知らせて下さい。
男	50-59	倉吉市ががんばって取り組んでいるのは伝わってきます。目に見えた結果がなかなか出てこないかもしれませんが、継続して取り組んで欲しいと思います。職員の方々に過剰な心身の負担がかからないよう、人材の増員充実は地方創生にも大切かと思えます。
男	60-64	海士町の職員の名刺を知っていますか？「ないものはない！」です。ないものはないので、ないものねだりをせず、あるもので勝負するというのも1つの方法だと考えます。倉吉が今後50年或いは100年「何で食っていくか」を見定める議論を真剣にすべきだと思います。他の市、町と同じことをやっても未来はない。多少なりとも削減の時期が遅くなるかもしれませんが。
男	70-	何度も意識調査をしてきたが、何一つとして実現していないのでは。
男	70-	誰もが住みたい市には難しい課題もありましょうが、まず、行政サービスが他市町村に比べ課税の安さ、医療費負担の軽減、福祉サービスの充実、教育行政等に関する費用等(少人数学級、児童生徒に目が届く教員配置)安心、安全、成長、発達が保護者、地域の中できちんと見える様な施策をお願いします。
男	65-69	倉吉市民である私に関心を持っていても知らないことが多々あります。ましてや、市外・県外の人とその取組、まちづくりについて知らないのは当然だと思います。様々な機会を作り情報を発信、その効果を検証、より浸透させる努力を続けることが大切だと思います。
-	65-69	テーマとは違いますが、市議会は選ばれた人達が会議中だけのペイで運営されるべき時に来ていると思います。自分たちの将来を真剣に考える若い世代が、常々考えていることを反映させて運営すれば、もっと効率よく新しい視点ででき、費用も削減できます。今のままではまともな若者は参加しなくなります。
男	40-49	新しいものを作るより、今あるものを整備していく。例えば道路の補装、建物の修理である。
男	65-69	市役所機能の移設。
男	70-	市議はもっと力を発揮してもらいたい。
男	70-	行政サービスの内容を再検討する。必要以上のサービスはやめ、合理的な行政サービスを行う。
男	50-59	今、日本全国地方創生に頑張っておられます。テレビでもよく放送されています。倉吉市もいろんな話を聞き、勉強し頑張ってもらいたいと思います。それを応援するのが市民の役割だと思っています。お互い頑張りましょう。
男	70-	平等というならば地方公務員数を今までよりも倍の人数を取り給料を半分に皆が暮らしやすい市にすべき。

女	60-64	地方創生、それは国からの税金でそれぞれの分野に使われる。国民の税金という事を忘れないでほしい。年金暮らしの私達にとって毎日の生活を切り詰めて大変です。無駄遣いのように地域の活性化その他に力を入れて頑張りたい。現在の公務員の仕事を3人の所を2人でやるとか考えて、少しでも市民税、健保が減るようにしてほしい。
女	70-	心からの対応が今少し欲しい。
女	70-	市からの通知などが来ても、独居老人は聞く人がいないから市役所まで行ってきています。分かりやすい文章は嬉しいです。
男	70-	市役所を平地で便利な場所に移転してほしい。
女	20-29	県外へのアクセスをよくしてほしい！雪が降った時、三朝町は不便！
女	50-59	我が子が親の移住地区に新居を建てる際、空き家、土地等沢山ありながら売ってもらえない、情報がない等大変苦労しました。旧市街地に住みたくても住めない、併せて新居の場合、準防災地区という条件で割高な予算制限が多々あり、諦めて他町村へという例もよく聞きます。何らかの補助・支援があれば空き家・空地の解消、人口増になるのではと思います。
女	70-	歩道を整備して下さい。公園の緑化と共に子供が楽しく遊べる設備を充実して下さい。
女	70-	全ての事にもっと積極的に取り組んでほしい。
男	65-69	基本的に山の管理をきめ細かく、植林、伐採、道路等地元の仕事として行い、川から海へとつなげ、国土の充実を図る。近年山の個人管理は高齢化等で手つかずが増加しているので、これを行政が受け管理し、老廃を防止する。山は、自然の流れとして川、平野、海への影響が大きいと聞いている。これらは長年の実態が現状を示している。過去の事例が、何をすればいいのかのヒントになるのでは？
女	60-64	山間地の取組み、上井地区だけではなく関金・北谷・高城地区の事をもっともっと考え対策をしてほしい。
男	50-59	中部が勝手に小さな合併に終止したのは残念です。又100年前に鳥取・米子間の鉄道を倉吉に直線引かなかったのは倉吉岡山線が通じなかった痛恨な出来事です。地方創生と云う前に中部は鳥取の真ん中という利点を生かすという、一つの心がけを持つまとまりができなければ十分地方創生が活きないと思います。
女	50-59	高齢者や少子化対策も大切な事ですが、働き盛りの40～50代への行政によるサービスなどが手薄になっているように思います。決して安くはない、住民税です。血税です。まんべんない対応をお願いしたいです。
女	50-59	行政から言われてやるのではなく、自分達がやりたいと思うことをサポートする、全地区同じように行う必要はなく、必要な所に。
男	65-69	特に市街地の道路が分りにくいと思います。市外の訪問者は行き止まりの道が多くて、観光を目指すなら道路表示及び案内が必要だと思います。国道313との米子自動車道のアクセスを良くするためのインターチェンジを蒜山側に作ってもらうように、国にお願いが必要かとも思います。
男	65-69	ふるさと納税を重点的に取り組んで、目的に合わせた財源確保してゆくべき。高いビジョンを持てばアイデアも豊富にでて、ふるさと納税にも期待が持てます。
男	65-69	成徳小学校の建て替えの件についても、教育委員会に任せだけの行政は、倉吉の歴史、文化、人財を活かすことがないと、観光含め財源確保、人財の流入にならないと思います。
男	65-69	今年の商品券のサービスを毎年行えば少しは活気が出てくるのでは？一年で終われば元の元気に逆戻りです。
男	50-59	高速道路(山陰道)整備により人口の流出等も心配される。中東部・西部への通勤時間約30分程度になる事も考え、住みやすい倉吉をアピールしベッドタウン化してもよいのではと考えます。
女	30-39	道路(中に入った小さな道、住宅街)にミラーを増やすべき。本当に危険な場所の設置がまだできていない。
女	—	市議会革命で新しい倉吉をつくろう。議員報酬を現在の1/2の額にし、議員数を倍増する。議員総数の半数を女性とする法制化を決める。議員の生業又は副業を認めるが、議会の席率85%とし、市議会に市民参加の為休日午後、夜間の開会とする。場所は狭い現議会室ではなく交流プラザのホールなど。常時ケーブルテレビや、ローカルラジオなどで全中継。ネット多用も。情報公開、多様な意見の交換と吸い上げを図る

男	50-59	他人のやっていない事をやる、思い切ってやる。倉吉線(JR)を倉吉市の中心に据え人体の背骨の様に考えそこから小骨を伸ばすように路線バスを走らせる。全国に先駆け燃料電池列車が理想です。水素と酸素で列車を走らせ、排気ガスは出さずに水がでるのみ、最高です。他人のやらない事をやる。一番最初にやるのが大切です。
女	70-	市民の力が表に出てなくて、行政の方は少しマイナスの方へ進んでいる。旧市街地の空き家をいかに力を入れていくかという事。倉吉の店の買い物より鳥取から米子の方へ買い物に出かけていくのはなぜですか？
男	60-64	各地区の小学校をもう少し大事にする事。今の小学校の統合案はもう少し考える余地がある。若者、子供のいない地域は必ず寂れる。
男	70-	地方再生においては、65歳以上の人を取り込み案の作成にあたらすべきではない！！30～60才くらいの人と他県、市（都会他）の企業の代表等を招待して話し合い計画を作成すべきである。〇〇の計画書の作成等にあたってはまず学識経験者などとして教員経験者を入れているが、各地の（他県の）ベンチャー企業を含めて、将来の夢を実現させるのに先の無い高齢者が中心になり動いている事がおかしくて、高齢者は若者の作った企画の実現のために反対する高齢者の説得にあたらせる事が大事！！若者の夢が大事であって、教員等が口を入れる事などナンセンス。
女	50-59	これらのことについて、ネットワーク作りとか交流とか自治公の活性化等々よく言われ、わかっているのですが、色んな事の依頼、用件が同じ人たちに重なり一部分の人の負担が増えたり、義務感が増大するのではと懸念する（特に小規模自治公にとっては）。
男	40-49	倉吉市に引越ししてまだ1ヵ月ですが、すごく住みやすい街だと思います。自然豊かで商業施設もあり、生活するにはとても良い環境です。少子高齢化に歯止めをかけるのは難しいと思いますので、近隣の北栄町や湯梨浜町との連携が重要ではないでしょうか。これから市町村合併するのは不可能だとは思いますが、単独の市町での発展は非常に難しい時代になっていると思います。
男	40-49	何しても目立った変化を期待したい。

## 6. その他の意見

性別	年齢	記述内容
女	—	同じ様な質問があり無駄です
男	65-69	問内容が同じ様な内容ばかりでおもしろくない！
男	40-49	信頼できる医療機関の充実。
女	65-69	考え付きません。
男	40-49	倉吉市にはパチンコ店が多すぎる！中部地区全体で多くのお金がつぎ込まれている。税金(パチンコ店)よりその大金が中部地区で使用されれば活性化できるはず！倉吉市のパチンコ店を全て撤去すべき！

### Ⅲ まちづくりや市民サービスに関する意見等

#### 倉吉市のまちづくりや行政サービスに関する自由記述（総括表）

倉吉市のまちづくりや行政サービスに関して、147人、述べ178件の意見が寄せられました。記載内容を分類したところ、最も多かったのは「3. 行財政改革・職員の意識改革・サービス向上に関する意見」で18.0%、次いで「1. まちづくり・市政全般に関する意見」が15.7%、「7. 都市基盤（道路・河川・水道等）・公共交通に関する意見」が11.2%という結果になっています。

◆記載人数：147人

◆述べ件数：178件

※述べ件数は、一人の方が複数の意見を記載、あるいは複数の項目に関わる内容の記載で分類が難しい場合には、各項目に1件ずつ集計したものです。

	項 目	件数	構成比	
1	まちづくり・市政全般に関する意見	28	15.7	2
2	人口・若者の定住化に関する意見	11	6.2	
3	行財政改革・職員の意識改革・サービス向上に関する意見	32	18.0	1
4	市議会に関する意見	3	1.7	
5	産業振興・雇用対策に関する意見	6	3.4	
6	観光・イベント・レジャー・商業施設に関する意見	9	5.1	
7	都市基盤（道路・河川・水道等）・公共交通に関する意見	20	11.2	3
8	生活環境・住環境・景観保全に関する意見	11	6.2	
9	防災・防犯・交通安全に関する意見	4	2.2	
10	市役所庁舎・公共施設・公園の整備に関する意見	9	5.1	
11	住民自治・市民参画・地域活動に関する意見	6	3.4	
12	福祉・健康・医療に関する意見	14	7.9	
13	子育てに関する意見	9	5.1	
14	教育・学習・文化芸術・スポーツに関する意見	6	3.4	
15	情報通信・情報公開・市報に関する意見	1	0.6	
16	人権・同和教育に関する意見	1	0.6	
17	市民意識調査に関する意見	3	1.7	
18	その他	5	2.8	
	合 計	178	100	

# 倉吉市のまちづくりや行政サービスに関する自由記述の主な意見

## 1. まちづくり・市政全般に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	70-	後期高齢者になるにしたがい我々はこのままで良いにしても、子供や若者たちの今後は不安だと思いが、若者に自分達のまちがどうなって行くのがよいのかという気持ちを持ってもらい、自治会に参加し意見を出し、まちづくりを活性化するようになってほしい。高齢者として心配である。一人一人が「真剣」に考えて話し合い元気なまちにしてほしいと思う。若い人のやる気に期待したい。
男	50-59	市役所のスリム化及び行政機能の再編(職員・議員数・削減など)。
男	70-	隣の町と早く合併する事。
男	70-	議員、市の職員を減らす事。
男	50-59	自分の周りですうつ病がとて増えてきているように感じます。原因は様々でしょうが市役所自体ではない様に。楽しい生きがいのある職場がある様願っています。
女	60-64	暮らしやすく県外の子供たちが故郷に帰って住みたいと思えるまちづくりをしていきたいですね。
男	50-59	生活保護の中で働ける人はいます。働ける人は中止してください。現金ではなく現物支給(米、食料品)してほしい。
-	65-69	明治からの官公庁が霞ヶ関に集中しているままでは何も変わりません。交通網もITも格段に発達、飛行場はどの県にもある時代。カリフォルニア州位の大きさの時で一極集中する必要はなく、官庁を分散させるだけで地方へは人が動き人口集中も防げると思います。英断の出来ない政治に携わっている人達に不信感を持たざるを得ません。プレミアム商品券なんて一時的なことでは何の役にも立ちません。
男	20-29	地域の人々の生の声を聞くことをする。積極的な行動をする。沢山の人の知ってもらいたい情報を共有する。情報を共有することで団結する。
男	70-	友人たちと話に上がる事ですが、倉吉市は大企業が入ろうとしてもすぐに鳥取市の方に追い逃してしまう。それによって地方税等々がどこよりも高額徴収される(個人に)。倉吉市に税が落ちることを考えなければならない。
女	65-69	灘手地区の小学校統合問題について一言。市は安価に統合を進めようとしている。大谷茶屋、和田近辺に子供園、小学校(社に一部成徳明倫)、東中学校(小鴨川～天神川を対象)の学園集中と寺谷の山や工業団地を造成しインターを生かしたまち街づくりを行っていけば小鴨側西側が大きく変わり街づくりにもつながっていくと思う。
男	60-64	何でも相談課設置。
女	70-	選挙前に投票できる場所が増えたのはいい事だと思う
女	50-59	市は大きなテーマに基づいて進むのではなく市民全体(地域全体)の事を第一に考え自分達の地域は自分たちの力を合わせて一步一步邁進する事を考えるべきではないでしょうか？観光関係にしても中部地区は遅れていますね！
女	50-59	学校統合も仕方ないと思いますが統合の前にもっと努力すべきことがあるのでは。でないといくら統合してみても創生にならないのではないのでしょうか。
男	50-59	市職員に人材がない。他人事の職員ばかり(特に上部)で前向きな発想がなく許可もしない連中ばかりである。外部から優秀な人材を引っ張り揉んでいく必要があると思う。
男	50-59	無駄なことが多いです。
女	60-64	目の前だけでなく、離れた地区の事をもっと考えて欲しい。目に見える所は美しく、見えないところは見て見ぬふりをするということはどうかと思う。まるでどこかの国みたいです。
男	50-59	県外の生活から倉吉の生活に帰り2年弱となります。スポーツを通じて子供と接する機会が多いのですが、昔の自分にもあった倉吉気質＝控えめでおとなしいがあります。裏を返せば「自信・プライドが見えない」です。おれの術、私の術「倉吉人」としての心意気を持った子供を多く育てる必要があります。岡山も広島も田舎が多いですが心意気を感じる子供はいます。大人の発信・行政の発信が必要。「プライド オブ 倉吉」を是非！！子供が元気だと周りも元気になります。

男	50-59	過去に美術館を北栄町か倉吉で争いお互い譲らずお流れになったと聞きました。倉吉が太っ腹で前田寛治ゆかりの北栄町に譲っていれば、今の美術館の話は中部にできていたと思います。また、倉吉はもっと広い合併が出来ていると思います。
男	50-59	市の仕事が増えすぎると思います。これほど多くの課や係がなくとも必要な部署に絞って、「小さな行政区」を目指せばよいと思います。市の収入は減っても一方支出も減ります。必要以上の行政の介入は不要だと思います。※市役所等、公共機関に行くと、不必要や重複したパンフレットの多さ。あれで各部署仕事をしたとでも思っているのでしょうか。
女	30-39	ひとり親家庭、生活保護に対する支援、助成金等の見直しをすべきです。現在私はひとり親家庭ですが、できる限り支援、助成には頼ることなく自分の力で生活できるよう努めています。ですが周りにはどうすれば損をしないか、どうすれば助成金が貰えて得なのか手当が貰えるように考えながら生活しておられる方が多くいらっしゃいます。これが本当に支援なのでしょうか？先の事を考え、一生懸命働く者は所得制限により手当が出ず、働けるのに調整しながら仕事をして手当をもらって楽をすることを考える者、これははっきり言って墮落支援としか思えません。真面目に地道に頑張っている人にこそ与えられるべきです。税金が無駄無く使われるべきところへ流れていくこと、本当に困っている人へ助けになる使われ方であるようお願いいたします。早急に見直しされること、心より願っております。
女	60-64	市長の頑張り応援しています。
男	65-69	立派な戦略を立てても現行政の各部署(観光行政、建設、教育、総務、財務etc)が一体にならない限り変更は難しい。市長含めトップの強いリーダーシップが求められる。アンケートを求めまとめるだけの仕事をして何も変わりません
女	—	男性中心で利権にまみれた日本国会のひな型の様な地方議会では何も生まれない。沈滞するばかり。そういう倉吉の再生の為には市議会の構成にほとんど参加できなかった女性を参加させる事で変革を図りたい。「改革」「政治」は特別な権力者のものではない。普通の市民が毎日の平凡な暮らしの中で、みんなが安心して安全に暮らせる世の中を考える事。これは憲法の基本的人権の尊重に繋がる。生活者である女性議員が増えるほど倉吉は甦る。
男	65-69	市民の声を聞くのではなく聴くを実行していただきたい。あれもダメ、これもダメ、年寄りのいう事を聞かないで若い人たちだけで何を考えているか何をやるか行政が率先して行って下さい。
男	70-	北栄町の大型店の進出是非につき、相当な反対署名があり、且つ商工会議所も云々というような噂まで耳に入ったが、こうした村意識では創生も全くないと思います。
男	40-49	地方創生自体、今までとどう違うかがよく分からない。

## 2. 人口・若者の定住化に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	50-59	人口増は難しいことから過疎地に合わせた対策が必要だと思います。物言う市民より言わない市民の方が多いのであきらめたら市外へ転出していくので声なき声へ耳を傾けて頂きたいものです。市民から反対がないから賛成ではない。
男	60-64	若者の定住政策(企業誘致)。
男	40-49	他県の方を無理に移住させる必要はない。どこに移住しようと日本の総人口は変わらないので。
男	50-59	小中学生が将来も倉吉で暮らしていきたいと思う為に職場体験学習の実施がスムーズにできる様に窓口を市で整備するなどお願いしたい(市内にお願いできる企業が少なすぎる)。
女	40-49	出産・育児、若者の就職に手厚い支援を。
女	30-39	若者が都会に流れるのを食い止め、まず次世代の子供を増やす事。移住者を呼び込むやり方が整っていない(私も移住してきたが全く何ももらっていない、優遇されていない!)。若者を呼ぶ魅力的な街づくりをしてもらいたい。日本各地で成功している市を見習ってほしい。
女	50-59	高校までは倉吉で過ごしても、大学や就職などで倉吉を離れてしまわざるを得ない子供を持つ身としては、適した就職先があればと切に感じます。その充実が地方創生につながると思います。
女	30-39	もっと外から人を呼んでほしい。外人もありだと思ふ。農業人口を増やすべき
女	40-49	生まれも育ちも倉吉なので倉吉の人口減少は寂しく思う。倉吉の発展を切実に思う。

男	60-64	地域の問題を積極的に取り入れること。倉吉市は住民税が高いから市外へ出ていく。住民を増やすことで税金が増える。後手に回っている。地元の企業に補助金等で協力すること。
男	65-69	若者の定住には子供の教育施設が充実していることが望まれる。幼稚園から、大学、大学院まで、一流の教育を受けられる施設を充実させる必要がある。国内外から誘致して、次世代を育てる環境を作る。その他、英才教育も可能なことも必要。

### 3. 行財政改革・職員の意識改革・サービス向上に関する意見

#### ○行財政改革

性別	年齢	記述内容
男	30-39	手当をいただけるのはありがたいが、取った税金を市民に返すなら最初から取らない方がよい。
男	70-	無駄な行事(沢山あります)支出等を見直し地方創生に心してほしいです。
男	20-29	転入してすぐに地方選があったが、選挙権がなく参政権を行使する事ができなかった。しかし、転入した月から税金を取られている。権利は奪われ義務は押し付けられるこの状況を行政はそう思っているのか？
女	65-69	税金は安く、介護保険料も安く。
女	30-39	住民税、保育料の軽減をしてほしい。
女	40-49	倉吉は他と違って市民税が高いというイメージがあります。実際町から市に嫁いできたが、やはり税金が高いです。パートで働いて税金で取られ残り少ない手取りで生活しています。パートで働く人の為に税金の優遇をしてもらいたいです。企業でも無駄を取り省く行動しています。市ももっともっと無駄を取り省くことができるのではないのでしょうか？
女	70-	税金の使い道をもっと考えてほしい。徴収ばかりではなく。
女	70-	若い人の話を時々耳にしますが倉吉は税金が一番高いそうです
男	40-49	倉吉市の税金は青天井ですか？まず自らが身を切るべきでは？
男	50-59	市職員（パート等含む）が多い。市議会議員が多い。市職員、市会議員の給与を市報に入れてほしい。市民税が高い。
女	70-	後期高齢者のひとりです。年金生活者に対しても介護保険などに恐れを持っています。
女	40-49	子どもがいない夫婦、独身者にとっては扶養もなければ税金の控除もない、子育て支援も無関係だったりする。そういう人にとっては、中部のなかで倉吉は税金も高いから郡部に出て行ってしまったりしてしまう。誰にでも平等にメリットがあるという事は困難かもしれないけれど、湯命館で市民割引がある様に倉吉に住んでいてよかったという何かを作してほしい。

#### ○職員の意識改革

性別	年齢	記述内容
女	40-49	数年前だが、市役所の係りの人の対応が横柄で今でも市役所のイメージが悪い。
女	40-49	市役所の職員がもっと優しく愛想良く対応してほしい。融通が利かない。かなり事務的な態度としかとれない。市役所に行きづらい雰囲気を作るのはどうかと思う。
女	60-64	市役所での窓口対応、以前に比べて明るく親切になったと思います。
女	65-69	「住民の声を直接聞く」「住民に対して直接行政の思いが発信できる」行政職員を育ててほしい。
男	30-39	地方創生を掲げるのであれば、市としての管理はしっかり行ってほしい。道路の舗装は大きい所を何度も行くとか、トンネルの照明が切れていて、あまりにも酷いので問い合わせても調査中という訳のわからない答えが返って来るなど。一般企業であれば考えられない甘さで仕事をしているのであれば現状から変わる事はないと感じています。これは多くの若い人は感じていると思います。

女	50-59	市職員の皆様の意識改革に取り組んでいただきたい。あちこちで「サービスが悪い、湯梨浜はいいのに。」と言った声を聞きます。単なる事務に満足するのではなく活力あるまちづくり、中部のリーダーとしてどう動けばいいか、単にチャレンジ、市民(お客様)満足の為に努力されますよう切にお願いします。「イベントチケットを買わない」「商店のパンフを見てくれもしなかった」等、もっと身銭を切ってください。このままでは市民も湯梨浜等他町へ流れどンドン空洞化が進むと思います。もっと危機感を持つべきだと思います。
女	70-	2月の確定申告の初日の男性職員さんの丁寧な対応ぶりに感謝して帰りました。若い方ではないです。こんな職員さんを大切にしていきたいと思います。
女	40-49	子どもの進路のことで教育委員会に行ったところとても嫌な対応をされました。全ての方が同じ対応をされるとは思いませんし、数年前になるのでその方が変わっていることを願いますが、市役所には出来るだけ行きたくないです。
女	50-59	市役所の職員の対応が最近いいように思います。親切です。
男	70-	倉吉市職員の皆様の日常における活動には接遇と態度、事務処理能力等特筆すべき優秀なものが感じられます。役職者においても今後とも大いに期待いたします。
女	70-	数年前に比べ、行政に関わる人が大変親切で優しく清潔感があるようになり良かった。特に男性の方は、障がい者の困難な事に動いてくださり有難い。
男	40-49	市役所職員の意識改革。市職員(公務員)の給料は税金から出ていることを忘れないよう！自覚するように。全てが悪いわけではなく良い職員もいる。その人のイメージも何人かの職員の悪さで全体のイメージ低下。

#### ○サービス向上

性別	年齢	記述内容
男	30-39	盆の供物の捨て場所が街や地区の一部に立札をして設置してあるが、不公平行政である。供物を捨てる場所を設置するなら、ゴミステーションの様にすべての地区に設置するべきだと思います。そうでなければやめるべきです！！
男	70-	市に対してお願い事をしても何ヶ月経っても返事がない事がある。もっとスピーディーに対処するよう願っている。
男	65-69	住民票などの手数料は無料化すべきだ！！(市町民税を払っているのに！)
女	70-	高齢者が市役所に来て書き物をする時、いざ字を書こうとしても字を忘れることがある。ここに書いてと言われても迷う。もう少しわかりやすくお願いしたい。イベントがあっても車に乗らない方は遠くまでいけません。もう少し考えてほしいです。
女	50-59	市役所の職員は自分の部署の事だけで横のつながりでもう少し市民の身になって行政サービスを行ってほしい。
男	30-39	行政サービスにご提案。住民票など19時位まで土日なども発行してもらえるようにしてほしい。
女	70-	行政サービスについて市民に分かりやすくしてほしい。もっと行政は自信を持って時間をかけてやる、最終的には責任を持つと云った心強い職員を育てて下さい。
男	40-49	倉吉市も職員数が少ないため行政サービスの向上は大変だと思います。高齢者も多いのでなかなか難しいと思いますが、インターネットを活用した行政サービスを増やしていくべきだと感じています。倉吉市は比較的行政サービスを受けやすい環境だと思いますが、ネットを活用したサービスが増えれば便利になるかなと思います。

#### 4. 市議会に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	70-	議会の内輪もめはみつともない。
男	40-49	昨年度、某市議会議員の行動が問題になりましたが、そのようなくだらないことに無駄な時間とお金を使っている倉吉市政に根本的な疑問を持ちます。市民が選んだ代表とは言え、そのような輩(特に、俺は倉吉を一から十まで知っている的な年輩の…)にどのような望ましい市政を求めるのでしょうか？

女 70- 昨年末の議会の委員会中継を聞いていると、あまりにも職員と市会議員の平行線のやりとりが目にも余る。市の事をしっかりと持続させてほしい。

## 5. 産業振興・雇用対策に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	50-59	関金地区の耕作放棄地。「朝日があたり、黒ぼく、水が良い」の三拍子揃っているのに活かされてない！にんにく、エゴマ、大豆など人気のある野菜を本気で生産して全国区にして下さい。関金産野菜の色つやががいいのご存知ですか？
女	65-69	農業の6次産業をやるにしても、なかなか個人では施設、資金等早々には困難である。行政で助成し、JAの生産組合とタイアップし全国ブランドとなる様なヒット商品を考えましょう。
男	70-	高齢者の雇用対策ができていない。年齢制限をなくす事。
男	70-	国庁跡地整備、上井地区学園都市化、久米地区中心(農校を含め)産業充実工業団地化を進めるべき。旧市街地、観光起点とすべし。
女	70-	安心して働ける場所がほしい。年寄りでも安心した暮らしの出来る毎日が欲しい。
男	65-69	農業の成長産業化のためには、生産現場の強化も重要である。品質や価格面での競争力強化、ロボット技術やICT(情報通信技術)等の活用による生産性向上などが農業分野においても注目される。倉吉市の農業の力を結集させ、おいしい、栄養、長寿につながる食物連鎖を構築する。農林水産業を成長産業とするためには、農林水産品の高付加価値化が重要である。6次産業化することで消費者ニーズを捉えた、付加価値創出の機会を増やすことが必要であり、全国でその取り組みが始まっている。倉吉市では、すいか、梨、メロン、を重点的に、大原トマトなど、特徴ある野菜でアピールしていく。

## 6. 観光・イベント・レジャー・商業施設に関する意見

### ○観光・イベント・レジャー

性別	年齢	記述内容
女	50-59	打吹公園の「大江神社」に伝わる大江磐代君のエピソードをアピールして、もっと宣伝して下さい！若い女性はこういう話は好きはずです。打吹公園も3つも名所に選定されているのに観光客がいません。宣伝不足です。もっともっとアピールを！！
男	30-39	倉吉にすれば「これがある」「これができる」と思わせることができれば、他の町から人は集まってくる。歴史や伝統は大切だが、倉吉には姫路城があるわけでも金色掌があるわけでもない。であれば、これから日本の文化として残っていくことになる漫画やゲームなど早めに鳥取の文化に取り込んでしまった方がよい。
男	70-	わが町の庭、打吹公園が寂れ昔の面影が全く失われている。白壁土蔵群の観光エリアでもあるので、整備を考えてみては。
女	50-59	イベント、スポーツ、教室などなるべく土日開催してほしい。
男	65-69	これからの観光は、健康管理を加えたものが新しい。高齢化社会に対応した、泊まる施設に常設した、健康器具での診断、判定、相談できる人材を置いて、泊り客にはいつでも健康相談できるようにする、その他、フィットネスもできるようにする。

### ○商業施設

性別	年齢	記述内容
女	70-	倉吉にショッピングモールのような施設がないので買い物がしにくい。鳥取や米子に行ったりする。
男	70-	大型店の進出により地元の商店の消滅の問題がある。人口減などマーケットがもともと小さいので大型店はやがて閉店するという悪循環がある。地元商店、小規模商店が地域と共に生き抜くためにある程度大型店の進出は制限すべきではないだろうか。

女	30-39	企業を誘致するのなら中心市街地に本や古着のリサイクル店の大型店がいい。古着買取や本の買取店を見かけない。古本屋もわからない。どこかにあるのかもしれないけどどこにあって何を買い取ってくれるのかわからない。そういう店が既にあるのならゴミの上に明記してもらえると助かる。
女	65-69	倉吉のまちを全般的に見ると上井地区、清谷地区の方にお店が増えて旧市街地は店が少なく閑古鳥が鳴いているようです。サンピア、ホティ堂と大型店がなくなり衣料品を買うのも困っております。車を持っている人はいいでしょうが車がない中高年はとても不便です。旧たからやの跡地をまちおこしの場所としてあの周りを元気づけて欲しいと思います。

## 7. 都市基盤(道路・河川・水道等)・公共交通に関する意見

### ○都市基盤(道路)

性別	年齢	記述内容
男	40-49	他県からの移住世帯です。倉吉市の印象は自然とまちが身近で住みやすいという事でした。が、残念なのは、街灯が少なく夜は暗く、道路もあちこち陥没していて歩きづらく、水たまりの多さに驚きました。あまりインフラの整備が充実していないのかなと。お年寄り、子供たちが安心して活動する上でも改善されるべきでは？地方は車中心の生活になりがちですが、生活弱者(車に乗らない)にやさしい町づくりをしていただきたいです。
女	20-29	北栄から倉吉へ行く道の看板が不十分です。非常に分かりにくく、来ないのではなく、来られない人もいました。倉吉の表示はあるものの、西倉方面に行ってしまう。
男	60-64	全然除雪に来ない。
男	50-59	前の人と話しても人が変わるたびに違う。舗装が終わってから又掘り返している。わからない事ばかり。
女	50-59	自転車道の整備。
女	65-69	家の前の側溝のそうじ、特にコンクリートがはがれてしまったので困っている。

### ○公共交通

性別	年齢	記述内容
—	70-	倉吉のまちに新幹線が走るのが私の夢です。どうか県選出の国会議員に頑張ってください。スーパーはくとは大好きなので是非利用してください。
—	70-	バスの乗車人口の減少を防ぐ為、車の運転年齢制限(70~75歳?)をして乗車人口を増加、又、事故防止になる。バス代(学生、70歳以上は100円位)にする。
男	50-59	当地区では小学校再編、バス路線廃止の問題を抱えています。バスの乗客が少ないので存続を強く言えませんが、いざという時あるのとないのとは大きく違います。小学校も遠くになれば送迎が必要になり、不便さから地区外に転出も増加する可能性もあります。
男	50-59	自動車がないので公共交通機関が頼りです。バス路線を今のまま維持してください。
女	70-	バスを利用したい時もあるがバス停までが遠く本数も少なく利用しにくい。
女	70-	交通が不便になるためこれからは不安です。
男	70-	今後高齢化が進むと運転免許の返上者が増えて自家用車に奪われた「バス」が再び利用される時代がくると信じている。利用したくても利便性が悪いと老人は引きこもるしかなくなる。「老人社会」とは老人に優しい社会ではなく老人が元気に出掛け活動できる環境作りではないか？免許返上者にはバスの年間無料バスを配布する策もありと思う。バス会社支援だけではなく、利用促進支援が起爆剤にならないか？
男	65-69	高齢者がもっと車なしで動ける様にバス路線の充実とバス運賃をもっと安く利用出来る様に望みます。都会の市バスの様に市内はワン区間であろうと西倉~上井まで乗っても同一料金とか、バス会社に補助金(税金)をだしている割にほとんど空で走っている。バス賃がもっと安ければ高齢者の消費も進むのでは！
女	65-69	将来買い物難民になるのではと思っております。現在は車で行っていますが、乗れなくなった時、病院、買い物に行く交通機関がありません。
女	40-49	厚生病院にバスで行った時、横断歩道、バス停が近くにありません。玄関前に作って下さい。
女	70-	倉吉近辺はバス代が高いのではないかと。100円バスのある地域がうらやましい。

## 8. 生活環境・住環境・景観保全に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	20-29	ポイ捨て・不法投棄を防ぐ為の講演会やポスター(学生が作成したもの)の充実をして欲しい。地域のゴミ分別を住民がキチンとしているのかの調査又は分別を知らない人が聞きやすい・調べやすいようにしてほしい。
男	70-	環境破壊は防いでほしい。
男	70-	倉吉市には公営の墓地があるのか、他の市町村に比べ余りにもPR不足。
男	70-	住みなれた地域の中で、地域の住民が住み着いてよかったと思えるような地域活性化施策をお願いします。特に高齢化が進む中、地域の中で医療、福祉、心の充実、徒歩で活躍できるような生活圏の確保をお願いします。
男	65-69	庭の剪定で出た草木を、適宜投棄できる焼却処分可能な施設を、各町内(又は各小学校区)に一か所に設定する。ゴミ焼却量の減少、市内の環境美化、焼却灰を肥料として再利用等の利点がある。
女	70-	高齢者の買い物が(乗り物なし、大型店集中)不便。
女	40-49	街路樹の葉が沢山落ち排水口が詰まるため景観が悪い。街路樹を切った方がいい。
女	20-29	ゴミの分別が他地域よりも厳しくない。捨てるほうは可燃ごみとしてどんどんプラスチックも捨てていて楽ではあるが本当にこれで良いのでしょうか？自分の地元(東部)はもっと厳しい。
女	70-	市が使用しているゴミ袋の中サイズを作っていただきたいです。
男	65-69	ほうきりサイクルセンターへ直接搬入する粗大ゴミ等が有料なのは仕方ありませんが、問題はその搬入手段です。若い方や知人・友人がいらっしゃる方はそれに頼めば搬入できますが、年寄りだけで車も運転できないときはどうしたらいいですか。有料でも構いませんから市の方で運んでもらえる人を決めてもらえたら有難いし助かるのですがいかがですか？
女	50-59	倉吉は、自然環境的にはとても素晴らしいところだと感じております。開発だけが発展している証拠ではありません。壊れた自然は元には戻りません。自然を大切にしている倉吉を誇りにさえ思います。将来の子供の為に、自然を大切にまもり続けてほしいと思います。

## 9. 防災・防犯・交通安全に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	50-59	不審者出没のニュースが多いのにも拘らず、小中学校の外構があまりにも無防備すぎる。何かあってからでは遅いし、田舎だから大丈夫だという根拠のない安心感は行政として甘すぎる。
女	70-	市街地にある危険を伴う家屋の撤去を促進してほしい。
女	40-49	防災倉吉の放送はもっと身近な存在であるべき。災害、事故、地域活性に繋がるものであってほしい。病院も多くある割に専門的な医療が少なく思う
男	60-64	廃屋などの危険個所の早期整備を行ってください。事故が起きてからでは遅すぎます。人の命はあやまっても帰って来ません。

## 10. 市役所庁舎・公共施設・公園の整備に関する意見

### ○市役所庁舎

性別	年齢	記述内容
女	20-29	倉吉の市役所の坂が急すぎて、冬場は滑りやすいので、平地へ移転してほしいです。
女	50-59	市役所の移転(財源に難があるが)。今の場所は不便であり、駐車場不足の解消も必要。

### ○公共施設

性別	年齢	記述内容
女	50-59	図書館と未来中心が同じ休館日の時少し不便を感じます。

男	30-39	税務署をもっと広い場所に移転できませんか。
女	70-	公共設備の安全点検が出来ていないと思います。
女	60-64	温度が低くて市営プールに入れない方やぜんそく患者さん等の方の運動ができる施設の完備をしてほしい。
女	65-69	図書館、子育て支援センターは月曜日が休館ですが、開館して頂きたい。河北中学校旧校舎を高齢者、乳幼児のために一部を開放することを検討してください。

### ○公園の整備

性別	年齢	記述内容
女	70-	去る2015年5月25日の日本海新聞に掲載された「海潮音」を読み、打吹公園のサル舎の劣悪な飼育環境を知り、倉吉市の恥をさらしたような気持ちになりました。私も孫が保育園の頃からメインのサルには目をつけていたが、何十年以前のままでのサル舎、本当にサルがかわいそうです。どうか親身になってもっと良い打吹公園にしてください。

### 11. 住民自治・市民参画・地域活動に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	70-	高齢と共に病弱になって、公民館活動の免除を希望したくても申し出ることができなくて困っている。85歳での掃除等。
女	50-59	私の所は年に4回掃除があります。他の所は2回とか統一する事はできませんか。後、私の所は出なければ罰金なのに、ある所ではできればお金がいただける様な事を聞いたのですが(出なくても何も言わないとか)何だか納得できないのですが。
女	50-59	現在住んでいる所は、若者が極端に少なく、老人ばかり目立つ地域になり、地域の行事など(年2回の清掃、ごみ置場清掃、もちまわりの班長など)どうなっていくのかと心配です。空き家等に、若い世帯が入居できるとよいかと思います。空き家を市が把握し、解消する取り組みをお願いしたい。
男	70-	毎年各校区で敬老会が行われているが諸事情(個人的、家庭的)で欠席する人が多く該当者の出席率が悪い。敬老会の意義が半減している。敬老会を廃止してそれに要した費用は他の優先事項に充ててはどうか。例えば子育て支援事業、子供虐待防止事業等々。
男	65-69	地域にアパートが建ってくるが小学生の父兄は子供さんを通して交流があるが自治公に入っておられないので交流の機会がない。
男	50-59	敬老会廃止。

### 12. 福祉・健康・医療に関する意見

#### ○福祉

性別	年齢	記述内容
女	20-29	子育て支援も必要だけど、人口の多い高齢者への支援にもっと力を入れるべきだと思う。
女	65-69	年金だけは減らさないで下さい。減らすなら高齢者でも無理なく働ける(シルバーは大変重労働ばかりです)様に体制をとって下さい。いつでも仕事にできます。大勢いる高齢者を動かすことが倉吉のまちを活性化する元だと思います。
女	65-69	障がい者に必要な物の補助があればいいのにとと思います。
女	40-49	高齢化社会の不安は大きいですが、前向きに心身ともに健康で若者に迷惑をかけない様に啓蒙活動を行う。
女	65-69	ひとりになると家から出るのが遠のくようになる。そして不眠、人に会うのも大変と考えるようになりかねない。その人達の為にも声掛けがなによりも大事になってくると思う。
女	60-64	障がい者、難病者の働きやすい環境作りに支援、協力をしてほしい。

女 70- 少しばかりの年金でその日その日一日をやっとの思いで毎日苦しい生活をしていますので、なかなか大変な事です。生活の見直し相談を行いたいと思っています。市報で調査の事を知り、該当になればと思っておりました。知人にアンケートの話を話題にしたところ、年金で生活している人は一世帯で受給者が二名なら何とかやっていけますが、一人だととてもやりくりが大変で（他の人ともいろいろ話されているみたいで）声を大にしてお手紙を同封してほしいとの事です。上下の格差が大きいとの事です。下々の暮らしを理解していただきたくペンをとりました。

### ○健康・医療

性別	年齢	記述内容
女	60-64	その他高齢者(85歳以上)の方が今年は健康診断の本(いろいろ検診の日程が書いてあるもの)が配られていないので、それを見て検診の申し込みができないとお尋ねがありました。60代の私たちには封筒の受診券と一緒に案内の紙が入っていたのですが。
女	50-59	上井公民館で定期的に行われているまちの保健室がとてもいいと思います。市内のあちこちでも行われているのでしょうか？
男	70-	運転免許所の様に医療費を使わなかった割合に応じてゴールドカードの様な特典を設けて健康保持の意欲を上げる。
男	50-59	一週間に一回位、地区に出向き、生活習慣や健康指導を行い、病人の数を少なくしてほしい。
男	70-	人口減といいながら高齢者の健康診断がない(健康ガイドの送付もない)84歳迄は長寿健康、以降はない。
男	30-39	健康保険証を無くても、市民誰もが安心して医療が受けられる制度を作って欲しい。
男	30-39	とにかく厚生病院に頼り過ぎ。中部医師会の場所が暗くてよくないし、もっと小児を見るべき。

### 13. 子育てに関する意見

性別	年齢	記述内容
女	40-49	多子世帯へのサポートを手厚く。税金面の優遇。子供の多い世帯はたくさんお金を落とすので、倉吉で産み育てると安心して安全、そして他で育てるよりお得！！と思えるサービスをして下さい。
女	40-49	一人親家族がもっと過ごしやすくしてほしい。
女	40-49	今私は40代です。はっきり言って私たちの老後はどうなるのか今から不安です。(生きていけるのか不安です)私の娘も子供がいますが、この先の子育てを不安がっています。※子育て支援はとてもありがたいです。
女	50-59	児童手当を支給するのではなく、保育料の無償化をした方がいい。
女	40-49	子どもが少ないという割に保育施設が整っていない。近くの保育園に入れず遠くに行かせられている人もいます。少子化なのになぜ待機児童がいるのでしょうか。
女	30-39	産休、育休をとっています。上の子を保育園に行かせて産休の時間は標準時間、育休になると短時間になると言われましたが、2ヶ月の子どもと2歳の子どもの世話を短時間で迎へに行くのはとても大変です。何故こんなことにしたのか分からず、とても困っています。市民税も高く、子育てに集中できる環境ではないと思います。町の方が支援が充実しているから若い人が町に住む気持ちがよく分かります。もっと若い人を大事にしないと人口減少は進んでいくと思います。倉吉に住むメリットは何でしょうか。もう少し若い人目線でサービスを行ってもらえませんか。保育短時間制度は止めて下さい。安心して次の子どもを産むことができません。
女	40-49	アンケート記入後「子ども・子育て支援事業計画」が回覧で回ってきました。色々な事業が行われているのですが、残念ながら知らなかった事業もあり、行政側の発信がもっとあってよいと思う。障がい児を育てながら仕事をしている母親も増えているが、どうしても夕方6時には学童、施設等に迎へに行かなければならず、残業の対応が難しい現状がある。障がい児の病後保育の年齢の引き上げ(18歳程度)。障がい児の放課後、児童デイ、施設預かり時間の延長(19時)を希望します。

女 50-59 倉吉には自然がたくさんあり、自然に親しんで育つと想像力ある人に育っていくのでは？と思うのですが…。心と想像力を育てる教育に力を入れていただくことを切望します。倉吉の今後に期待します。孫、ひ孫達の時代が安心して暮らせるまちでありますように…。孫、ひ孫達が想像力と知恵をいかして、倉吉の自然を活かしつつ暮らしやすい、かつ経済的にも安定したまちに発展させてくれることを楽しみにしております。市役所の皆さま、大変な要望ですが、よろしく願い申し上げます。

女 50-59 学校現場が治外法権状態で、保護者の切なる願いも届きにくいと感じます。スクールソーシャルワーカーの更なる登用、学校の意識改革でインクルーシブ教育を推進して頂きたいと思えます。

#### 14. 教育・学習・文化芸術・スポーツに関する意見

##### ○教育・学習

性別	年齢	記述内容
女	65-69	人生100歳、先は長いので(短いかもしれない)集落の70歳以上の割合が増加。介護は充実したが元気な人の社会教育も必要かもしれない。私も含めて。
女	50-59	小学校合併の話ですけど、それぞれの地域性も有り、合併しないで今までと変わらず、上小鴨は特に地域と密着しているので独自でやってほしいと思います。遠い5km位もある距離を小学1年生入学時から通学するのはかわいそうです。お願いします。
女	50-59	「教育」はとても大事だと思います。点数のみではなく、心を育てながらの教育が。何が良い、悪いと2極してとらえるのではなく、ファジーに物事をとらえる先生を、特に低学年にも、心と勉強をみていただける先生を配していただきたく希望します。鳥取で勉強して、さあこれから鳥取の為につくしてくれるかな？と思った時に、Uターンしないで都会に留まる…。なぜだと思われませんか？私は、小中学生の頃にいじめにあっていたから倉吉に帰りたくない、といっている人を何人も知っています。難関国立大学を卒業されていてです。勉強をするといじめられる、また、家族の愛情をうけてすくすく育っているようにみえる人を動物的本能でいじめたくなる人がいる、と聞いたことがあります。そんな時こそ先生の出番だと思うのですが、悲しいかな、そういう先生にあたらなかった人たちは悲劇です。倉吉の素晴らしさを感じながら、家庭でも、地域でも、学校でも気持ちよく育ったら、そして故郷を大事にする心を育くまれて育ったら、大学卒業後、倉吉に、鳥取県に恩返しする大人に成長するのではないのでしょうか？

##### ○文化芸術・スポーツ

性別	年齢	記述内容
女	65-69	創作文華展など、誰でも作品を出展できるこの取り組みは生きる一つの糧となるから続けてほしい。
女	70-	もっと伝統文化的な事に力を入れ、それに関わった人だけに終わらず、倉吉市全体が興味を持てる様に後押ししてほしい。(当事者はもちろん頑張りますから)
男	70-	老若男女を問わず何時でも触れ合える社交場、例えばボウリング場の誘致等を考えてほしい。

#### 15. 情報通信・情報公開・市報に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	65-69	訪日外国人の35%以上が日本に対する不便・不満として無料公衆無線LANが整備されていないことを挙げている。ICTを活用し、観光、生活、仕事などにおいて都会と同じように快適に過ごせる環境づくりがもとめられる。倉吉市では、wi-fiの整備を充実させることが必要であろう。

## 16. 人権・同和教育に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	40-49	色々ありますが、人権侵害かなと思うことがあります。私は仕事をやめちゃいましたが、残っている人たちは大変だろうと思います。今、これを読まれているあなた。そうあなた。あなたも思い当たる節があるのでは？引越してきて10年経ちましたが以前住んでいた所よりも悪いです。就職活動が大変だろうと思います。よそ者には働くところはあてず、あっても掘り葉掘り。そんな会社ばかりです。50代後半から60代、その上の方に人権の話をしなとね。

## 17. 市民意識調査に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	—	同じ様な質問があり無駄です。
女	50-59	アンケート記入するのに時間がかかったので今後はアンケートに記入はしたくないです。
男	60-64	いかにもお役所が考えるようなつまらない設問内容と考えます。倉吉市に若者が定住したくなるような市の魅力とは何でしょうか。

## 18. その他

性別	年齢	記述内容
女	70-	市の少子化対策についてお願いします。毎日仕事仕事と追われ、いつの間にか歳をとってしまい結婚などのチャンスを逃してしまう人がどこの職場でも沢山おられるとおもいます。特に40歳を過ぎれば本人の気持ちも決まり「結婚」はしないと人が沢山出てきます。子供だけでなく親も頭を痛めています。40歳を過ぎた人の出会い、それも沢山の人の出会いではなく少人数5~10人位の個人的な組み合わせを作ったらと思います。よろしくをお願いします。
男	70-	地方の声が届く国、県でありたい。国会をテレビで拝聴していると「全力」という発言がどんな場合でも出てくる。ごまかしにしか聞こえない。我々庶民に全力は一回しかないものではないでしょうか。特に総理の全力発言はどうか？信頼のできる庶民わかる政治でありたい。
女	50-59	くらすけくんの活躍が少ないように思います(動きにくいのでしょうか)。
男	—	最近テレビ等で報じられた借家の問題。人口減少に異常な借家増と不動産業者に言葉巧みに誘われている。埼玉県などの様に規制すべきだと考える。私の知人オーナーは返済で泣いている。
男	60-64	ゆっくり、たのしく、ゆたかにくらすための最も必要なものは平和です。現在、政府が出している戦争法案は人が平和で文化的に生きていく事を否定しています。平和で文化的な生活を守るために戦争法案に市として反対してください。